



始



61
230

日本港灣衛生誌

海軍省醫務局

61-230



本誌ハ本邦沿岸各地ノ衛生事項ヲ載録セルモノナリ
本誌列記事項ハ各地方廳警察部ニ依囑シ大正六年七月現在ニ就キ調査セル
處ナリ

沿岸部落ノ多數ナル到底本誌ノ如キ小冊子ノ網羅シ得ル處ニアラス唯艦船
ノ行動上比較的重要ナル關係ヲ有スル港灣部落ノ衛生概況ヲ調査記載セ
ニ止マルノミ
其他重要ナル港灣都市ニシテ鎮守府、要港部所在地竝之ニ接續セル地方ハ
特ニ省略セリ

大正
7. 2. 20
内交



日本港灣衛生誌

目次

本州南東岸及南岸

東京府	一
小笠原島父島二見港	三
神奈川縣	一
小田原町 鎌倉町 藤澤町大庭羽鳥辻堂 浦賀町	三
千葉縣	一
船橋町 木更津町 北條町 館山町 勝浦町	三
靜岡縣	一
下田町 沼津町 清水町、江尻町、辻村 焼津町	三
愛知縣	一
名古屋港 武豐町	三
三重縣	一
目次	一

鳥羽町 濱島村 的矢村 津市 四日市市 桑名町、赤須賀村

和歌山縣

田邊町 田邊港 湯淺町 和歌浦町 湊村 三輪崎町 宇久井村 勝浦町 太地村 下里村

本州北東岸

福島縣

小名濱町

宮城縣

鹽釜町 石卷町 萩濱村 氣仙沼町

巖手縣

宮古町 鍛ヶ崎町 山田町 釜石町、大槌町

本州北岸及北西岸

青森縣

青森市 野內村 大字 淺蟲 野邊地町

秋田縣

能代港町 船川港町 土崎港町

山形縣

酒田町

新潟縣

兩津町 相川町 柏崎町 直江津町及湊灣續有田村 春日新田 新潟市

富山縣

伏木町 新湊町

石川縣

七尾町 端村字和倉 穴水町 輪島町

福井縣

三國町 敦賀町 小濱町

京都府

宮津町 久美濱町

島根縣

西郷町 杵築村 濱田町

鳥取縣

境町

内海沿岸

大阪府 一三七

堺市 一四三

兵庫縣 一六〇

神戸市 御影町 尼崎市 明石町 洲本町 岩屋町 由良町 一六〇

廣島縣 一七一

嚴島町 尾道市 宇品町 玖波村 鞆町 糸崎町 一七一

山口縣 一七二

安下庄町 麻里布村 柳井町大字柳井津町 室積町 防府町大字三田尻 長府町 日置村、菱海村、宇津賀村、向津具村 萩町 下關市 灘村字藤生 由宇村 一九二

四國沿岸

德島縣 一九三

德島港 一九五

香川縣 一九六

高松市 丸龜市 多度津町 二〇三

九州沿岸

愛媛縣 二〇三

宇和島町 長濱町大字長濱 三津濱港 新居濱町 二二二

高知縣 二二六

須崎町 高知市 二二六

大分縣 二二七

大分市 別府町 杵築町 東村 中津町 櫻洲村今津 長洲町 佐伯町 蒲江町 臼杵町 津組村 下江村 佐賀關町 二二七

福岡縣 二二九

門司市 三川町 大牟田市 若松市、戸畑町 福岡市 二二九

佐賀縣 二五〇

唐津村 唐津町 伊萬里町 牧島村 黒川村 波多津村 二里村 東山代村 西山代村 呼子村 二五〇

宮崎縣 二六四

細島町 延岡町 東海村 伊形村 油津町 二六四

鹿兒島縣 二七三

鹿兒島市 谷山村等 東南方村枕崎 串木野村下名字島平 中出水村下鯖淵字米ノ津港 志布志町 名瀬村 東方村古仁屋

長崎 長崎縣.....二八九.....三〇七

長崎市 江ノ浦村 湊港 大村町 嚴原町 平戸町 小濱村本村名 口ノ津村 茂木村 福江村

熊本 熊本縣.....三〇七.....三一一

三角町 長洲町 八代町 日奈久町 津奈木村 本渡町 富岡町 牛深町

沖繩 沖繩縣.....三二二.....三三七

沖繩群島中城灣 那霸區

臺灣 臺灣沿岸.....三三九.....三四一

基隆街 淡水街 卑南街 安平街 打狗 花蓮港街

朝鮮 朝鮮沿岸.....三四三.....三六三

鎮南浦府 仁川府 群山府 龍岩浦 馬山府 城津 釜山府 木浦府 清津府 元山府

北海道沿岸.....三六五.....四一〇

函館區 室蘭町 浦河町大字浦河村 釧路町 根室町、斜古丹村 厚岸町 泊村 網

走町 紋別村 稚内町 天鹽村 羽幌村 頓別村、枝幸村 留萌町 増毛町 石狩町

小樽區 壽都町 岩内町 江差町 福山町 留別村

樺太 樺太沿岸.....四二二.....四二九

豊原町 榮濱 大泊町 真岡町 敷香

附錄 大連及青島.....四三二.....四三七

大連 青島

本州南東岸及南岸

本州南東岸及南岸

日本港灣衛生誌

本州南東岸及南岸

東京府

小笠原島廳(大正六年七月十二日調)



東京府小笠原島父島二見港
 人口四百八十七戸 人口二千二百十六人
 三、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテハ特ニ認ムヘキモノナシ
 最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
虎列刺					
赤痢					
腸窒扶私					
チフス					
痘瘡					
發疹					
猩紅熱					
實布	一	二	三	三	三
ベスト					
摘					
要					

本州南東岸及南岸 東京府

本年ハ傳染病ノ發生ナシ

- 三、郵便電信局、鳥廳、稅務署、東京區裁判所出張所、測候所、警部巡查在勤所等アリ
- 四、湯屋營業者一戸共同浴場二戸アリ各戸一時ニ約五名ヲ收容スルヲ得毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等一戸收容概數十人二等ナシ三等六戸收容概數六十九名計七十九名但シ一人ニ付疊三枚ノ割合ナリ、料理店ナシ、妓樓二、公娼七人、檢査毎週一回(木曜日)私娼ナシ、藝妓營業ナシ
- 五、村立醫務所二收容人員大村醫務所三名位、扇村醫務所ニハ收容ノ設備ナシ、入院料一日金壹圓五拾錢迄、避病院ナシ、大村醫務所ハ埠頭ヨリ約四丁、扇村醫務所ハ海岸ヨリ約一丁、車馬ナシ、他ニ開業醫ナシ
- 六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス下水ハ街路ノ兩側ニコンクリート及石ヲ疊ミタル渠ヲ通シ直ニ海ニ放流スルモノト市街ノ中央ナル小川ニ放流スルモノトアリ

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	硝酸	有機物	亞硝酸	飲料適否
井水	大正五年警部巡査 四月廿三日在勤所附近	色ナシ	ナシ	弱アルカ	ナシ	中量	少量	少量	少量	少量	中量	微量	飲料ニ使 用ス
井水	大正五年警部巡査 四月廿三日在勤所	色ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	中量	少量	ナシ	ナシ	少量	ナシ	適	

七、市外ニ屠場一箇所アルモ屠牛屠豚ハ稀ニシテ容易ニ生肉ヲ供給スル能ハス尤モ軍艦等ノ入港ノ際ハ

需メニ應ジ屠殺スルコトアリ其ノ質良好ニアラスト雖モ價格ハ比較的廉價ナリ野菜ハ冬季ハ稍供給スルニ足ルモ夏季ハ常ニ缺乏セリ價格ハ頗ル高價ナリ、清涼飲料水ノ製造所ナシ請賣營業者十二戸アリ

八、乗合馬車、人力車ノ類更ニナシ、舢舨十艘以上アリ

九、公園ハ狹隘ナルモノ一箇所アリ、劇場活動寫眞ノ如キ觀物場ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ質朴ニシテ物價ハ凡テ高價ナリ

神奈川縣

神奈川縣足柄下郡小田原町

小田原警察署(大正六年七月二十日調)

一、戸數四千六百八十二戸 人口二萬一千三百七十三人

(大正六年六月三十日現在)

二、小田原町ハ近來著シク各種ノ傳染病蔓延シタル事實ナキモ常ニ少數ノ患者アリ地方病トシテハ特ニ認ムヘキモノナシ最近五箇年間に發生シタル患者ヲ病名別ニ擧クレハ左表ノ如シ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	質布	ベスト	摘	要
大正元年	四	一	一〇	一	一	一	一	七	一		
同二年	一	一	二三	一	一	一	一	九	一		

本州南東岸及南岸 神奈川縣

同 三年	一	七	一	一	九	一
同 四年	四	六	一	一	二	一
同 五年	一	一三	一	一	一五	一

備考 目下腸チフス患者二名 (大正六年七月二十日現在)

三、裁判所、稅務署、度量衡檢定所、郡役所、警察署、郵便局アリ同局ニ於テ電信事務ヲ取扱フ電話ノ設備アリ巡查駐在所二ヶ所アリ救護所等ノ設備ナシ

四、浴場十二軒アリ一時ニ約二十名入浴スルコトヲ得大體ハ毎日午前八時頃ヨリ開始スルヲ例トスルモ其内二三ハ午後一時頃ヨリ開始スルモノアリ、旅館一等十戸ニシテ收容人員ハ三疊ニ對シ二人ノ割合ヲ以テ計上セハ約五百七十四人ヲ收容スルコトヲ得、同二等十戸收容人員亦前者ニ準シ計上セハ約三百七十二人ヲ收容ス、同三等十一戸アリテ收容人員一、二等ニ準シ計上セハ約二百五十人ヲ收容スルコトヲ得、料理店一等十一戸、二等五十二戸、三等七十一戸、料理店一、二等ハ大體ハ宿屋兼業ニシテ全然兼業ヲ爲サ、ルモノハ僅ニ五六戸ニ過キス、妓樓七軒ニシテ娼妓六十名(現在)アリ娼妓ニ對シテハ毎週一回金曜日ニ於テ檢査ヲ行フ廓内ニハ料理店二戸アリ又同所ニ藝妓十七名居住シ各樓ニ於ケル客ノ需メニ應シツ、アルモ別ニ健康診斷及檢査等ヲ行ハス、小田原町ニ於ケル藝妓百二十四人ニシテ料理店及飲食店ニ於ケル雇人ノ内特ニ警察上注意視察ヲ要スヘキモノハ(密淫賣ノ虞アルモノ)十名内外ニ過キスシテ目下私娼蔓延ノ虞アルヲ認メス

五、私立病院二、此收容人員六十三名、(内譯小田原病院四十名、足柄病院二十三名)

設備ハ何レモ完全ニシテ入院料ハ壹圓以上參圓以下トス之ヲ等級別ニスレハ左ノ如シ

一 等	二 等	三 等	甲	乙
三,〇〇〇	一,〇〇〇	一,五〇〇	一,三〇〇	一,三〇〇
一,八〇〇	二等甲一,五〇〇	二等乙一,三〇〇	三等一,〇〇〇	

避病舎一、收容人員約百名設備不完全ナルモ收容ニハ隨時差支ナシ、小田原病院ハ海岸ヲ距約十町、足柄病院ハ約四丁、何レモ車馬ノ便アリ、開業醫二十八名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ十一名收容人員計約百十三名

六、飲用水トシテハ水道ノ設備ナキモ非常用トシテ町ノ中央ヲ通スル國道上ニ引用セル水道アリ飲料水ハ堀井戸ヲ「スキコ」仕掛トシテ使用或ハ鑽井ヲ使用シツ、アリ町内一般井水ニ對シテハ大正三年七月及八月ニ涉リ水質檢査ヲ施行セルモ特ニ船舶ニ對シ給水設備ナシ而シテ水質檢査ノ結果ハ其ノ成績比較的佳良ノモノ少シ、下水道ハ完全ナリト稱スルヲ得サルモ街路取締規則施行準用地ナルヲ以テ略ホ完備セリ

七、小田原町ニ屠獸場一箇所ヲ有シ冬夏ヲ通シテ各日屠殺ヲ行フ冬季ハ比較的多數ノ屠殺ヲ爲スモ夏季ハ鮮シ冬季ハ牛二頭豚二頭平均位ニシテ馬ハ一箇月約十三四頭ニ過キス之ニ反シテ夏季ハ牛豚平均一頭弱ニシテ馬ハ皆無ナリ是等ハ何レモ生肉ヲ供給スルモノニシテ其ノ質ハ良好ナルモ土地附近ニ生産鮮ク爲メニ價格餘リ廉ナラス、野菜及果物ハ遊覽保養ノ地ト稱セラル、土地ノ關係上京濱方面ヨリ移

- 入セラル、モノ多クシテ單ニ野菜ノ一部ノミ附近村落ヨリ生産ヲ有スルニ過キサレ状態ナリ
- 八、交通機關ノ重ナルモノヲ舉クレハ小田原町ヨリ國府津ニ通スル電車アリ又静岡縣熱海町ニ通スル輕便鐵道アリ其ノ他乘合馬車營業者一名車輛四輛、人力車九十臺アリテ舩船ト稱スルモノナシ
- 九、不完全ナルモ小峯公園ト稱スルモノアリ、劇場二何レモ活動寫眞ヲ興行セリ他ニ休業中ノ觀物場一(活動寫眞)アリ、足柄下郡圖書館ト稱スルモノ一アリ住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニシテ物價ハ比較的高價ナリ

神奈川縣鎌倉郡鎌倉町

鎌倉警察署(大正六年七月二十三日調)

- 一、戸數三千三百九十六戸 人口一萬五千九十九人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	發疹室	猩紅熱	實布	貝利亞	ベスト	痘瘡	摘	要
大正元年	—	六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同二年	—	四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同三年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同四年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同五年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

本年七月二十三日現在神奈川縣師範學校寄宿舎内ニ赤痢患者六十九名町内ニ同患者十三名發生シ何レモ避病舎ニ收容學校寄宿舎内ハ稍々終熄ニ至リタルモ町内ニ於テハ尙續發ノ疑アリ

三、郵便、電信局アリ、電話設備アリ、警察署アリ、巡查駐在所アリ

四、浴場九軒毎戸一時ニ男女共二十二名收容スルヲ得毎日午後三時ヨリ午後十一時迄開始スルヲ例トス旅館一等五戸收容概數三百六十六名二等七戸收容概數三百十八名三等十八戸收容概數五百四十五名、料理店一等五戸二等十五戸三等十四戸、妓樓ナシ、公唱ナシ、酌婦及藝妓ハ何レモ健康診斷ヲ行ヒタル事ナシ其ノ他私娼ト認ムル程ノモノナシ

五、私立病院三、町立避病舎一、鎌倉病院普通患者三十三名傳染病患者十名鎌倉養生院傳染病患者五名普通病患者十七名鎌倉産科婦人科病院八名ヲ收容スルヲ得、鎌倉病院特等四圓三十錢一等甲三圓八十錢乙三圓六十錢二等甲二圓八十錢乙二圓六十錢三等一圓九十錢鎌倉養生院一等二圓五十錢二等一圓八十錢三等一圓二十錢鎌倉産科婦人科病院特等四圓五十錢一等三圓三十錢二等二圓三十錢三等一圓、町立避病舎ハ收容人員十二名設備完全ニ近シ海岸マテ約十町餘鎌倉病院ヨリ海岸マテ約五丁鎌倉養生院ヨリ約十五丁鎌倉産科婦人科病院ヨリ約八丁鎌倉養生院ハ設備完全ト認メラレサルモ鎌倉病院及鎌倉産科婦人科病院ハ設備完全ナリ何レモ皆車馬ヲ通ス、開業醫二十二名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ一名收容人員計三名

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ何レモ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ石製又ハ土管等ノ開渠ヲ通シ市街ヲ流ル、滑川ニ放流ス

水質検査成績

大正三年鎌倉町役場ニ於テ水質ヲ検査シタルコトアル(縣技手出張)モ當署ニ於テハ之カ検査ヲ爲シタルコトナク從テ其ノ成績表ナク各事項ノ記載ヲ爲スヲ得サルモ町内一般ニ於テハ飲料ニ適スル井戸種ニシテ相當濾過スルニアラサレハ飲料水トシテ使用不可能ノモノ大部分ヲ占ムル模様ナリ

七、野菜ノ供給潤澤ナラス町内ニ於テ多少ノ生産アルモ其ノ多クハ高座郡藤澤町ヨリ之カ供給ヲ受ク、獸肉等ハ屠場ナキ爲メ横濱市、藤澤町、横須賀市ヨリ供給ヲ受ケ其ノ質良好ナラス、肉類野菜何レモ高價ナリ

八、乗合馬車六臺人力車百三十六臺アリ艇舟ナシ

九、公園ナシ劇場一アリ、活動寫眞常設館ナシ、共同便所一アリ又鎌倉小學校内ニ圖書館アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

神奈川縣高座郡藤澤町大庭羽鳥辻堂(舊明治村)

藤澤警察署(大正六年七月二十五日調)

一、戸數六百六十七戸 人口三千九百四十七人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	大正五年
虎列刺	1	1	1	1	1
赤痢	1	1	1	1	1
腸炎	1	1	1	1	1
腸炎扶私	1	1	1	1	1
チフス	1	1	1	1	1
痘瘡	1	1	1	1	1
發疹	1	1	1	1	1
室扶私	1	1	1	1	1
猩紅熱	1	1	1	1	1
實布	1	1	1	1	1
比利亞	1	1	1	1	1
ベスト	1	1	1	1	1
摘	1	1	1	1	1
要	1	1	1	1	1

年次	同二年	同三年	同四年	同五年
赤痢	1	1	1	1
腸炎	1	1	1	1
腸炎扶私	1	1	1	1
チフス	1	1	1	1
痘瘡	1	1	1	1
發疹	1	1	1	1
室扶私	1	1	1	1
猩紅熱	1	1	1	1
實布	1	1	1	1
比利亞	1	1	1	1
ベスト	1	1	1	1
摘	1	1	1	1
要	1	1	1	1

本年七月赤痢患者二名發生隔離病舎ニ收容爾來續發患者ナシ

三、郵便局、鐵道停車場アリ、電報ノ取次ヲナス、巡查駐在所二ヲ有ス

四、湯屋一軒ニシテ一時ニ十五名ヲ收容スルニ足ル毎日午後四時ヨリ開始ス、旅館ナシ料理店四、及客

席ヲ有スル飲食店三ヲ有シ其ノ設備等何レモ同様ノ程度ニシテ等級ヲ付スル能ハス皆低級ニアルモノ

トス、公娼私娼ナク料理店ニハ各二名位ノ酌婦アルモ風俗ヲ亂スノ虞ナシ

五、病院隔離病舎ナシ開業醫一名ヲ有スルノミ、但シ隣接藤澤町ニハ病院隔離病舎各一ヲ有シ距離一哩

ニシテ交通至便ナリ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ街路

ノ兩側ニ木製開渠ヲ通シ多クハ吸込ナリ、大正四年中飲料水全部四百六十九ノ水質ヲ検査シタルニ其

成績左ノ如シ、(飲料適甲一乙七三丙八八丙ノ二七八丙ノ三三六濾過後飲料適一〇一)飲料不適九二

七、隣接藤澤町ニ常設屠場一アリ一日牛一豚二十内外ノ屠殺ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其ノ質良好ニシテ價格

比較的廉ナリ野菜類ハ生産地ニシテ潤澤附近町村ニ搬出ス清凉飲料水モ隣接藤澤町ニテ生産シ日々荷

車ヲ以テ配送セリ

- 八、人力車一二ヲ有ス馬車舩舟ノ設ナシ
- 九、村内辻堂ハ一般民家ニ軍隊宿舍ノ設備アリ、遊覽觀物等其ノ他公共的設備ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ質朴ニシテ物資ハ總テ比較的廉ナリ

浦賀警察分署(大正六年七月廿日調)

- 一、戸數三千三百六十二戸 人口一萬八千六十二人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナカリシモ大正五年ニ於テ横濱港内ニ「コレラ」病發生續テ縣下各沿岸ニ蔓延シタリ地方病トシテハナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸管扶私	チフス	痘瘡	チフス	猩紅熱	實利亞	ベスト	瘧	要
大正元年	—	—	三九	—	—	—	—	一五	—	—	—
同二年	—	—	一五	—	—	—	—	八	—	—	—
同三年	—	—	一三	—	—	—	—	八	—	—	—
同四年	—	—	一二	二	—	—	—	二	—	—	—
同五年	—	九	六	—	—	—	—	二	—	—	—

大正六年七月實布埵利亞患者貳名發生爾來續發患者ナシ

- 三、郵便局、電話設備、税關監視署、遞信省海事部、登記所アリ
- 四、浴場十六軒各戸一時ニ四十名(男女トモ)ヲ收容スルヲ得毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館

十一月(一二三等ノ區別ナシ)一戸平均十名收容合計百十名、料理店十二戸(一二三等ノ區別ナシ)妓樓四軒公娼三十二名檢微毎週一回(月曜)料理店十二軒、藝妓十七名(内一本一三半玉四)年二回警察署ノトラホーム病及健康診斷ヲ受クルモ檢微ヲ行ハス其他私娼ト認ムルモノ約十名アリ

五、公私立病院ナシ、避病院一、收容人員廿名設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、開業醫六名患者收容ノ設備ヲ有スルモノ一名收容人員五名ナリ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス(浦賀船渠會社ニ入渠スル汽船ニ對シテハ會社附屬ノ水船ニ唧筒裝置ヲ爲シ之ニヨリ汽船ニ給水ス)

水質検査成績

検査井水總數五百廿五個内適二百六十一個不適二百六十四個ナリ、下水ハ道路兩側(目下片側ノ箇所モアリテ著々町役場ニ於テ新設及修繕ノ等)ニ極メテ不完全ナル木製或ハ角石開渠ヲ通シアリ何レモ浦賀港内ニ流下ス

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
湧出	大正四年十月十六日	三浦郡浦賀町西畑ニシテ來ル雑物ヲ認メス	無色透明	異常ナシ	弱アルカリ性	四・三三	痕跡	檢出セス	微量	檢出セス	檢出セス	一・四三	飲料ニ適ス

- 七、屠獸場ナシ、清涼飲料水(ラムネ)製造者一名アルモ生産微々タルモノ、野菜ノ供給ハ稍ヤ潤澤ニシテ近隣久里濱村北下浦村ノ二ヶ村ニ於テ相當生産ス
- 八、乗合馬車ハ横須賀市ニ向ケ間斷ナク往復シ乗合自働車四、人力車五九、舩船四艘アリ

九、公園一(愛宕公園ト稱ス)劇場一、活動寫真館ナシ公共團體ノ事業トシテ設備シタルモノナシ、共同便所ナシ、住民ノ氣風近時一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ著シク高價ナリ

千葉縣

千葉縣東葛飾郡船橋町

船橋警察署(大正六年七月十三日調)

一、戶數二千八百六十五戶 人口一萬五千三百九十人

二、既往數年間ニ著シキ傳染病ハ虎列刺病ナリ地方病トシテ特ニ認ムルモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸チフス	バラチ	痘瘡	發疹	猩紅熱	實扶挫	ベスト	摘	要
大正元年	五三	四	三二	七				一五			
同二年		二	一四	一				二二			
同三年		三	三六	三		二五	一	一一			
同四年		一八	三六	六				三四			
同五年	一四九	九	三一					一六			

本年一月腸チフス患者五名四月痘瘡患者一名腸チフス患者一名五月バラチフス患者二名六月腸チフス一名七月腸チフス患者二名赤痢患者一名ヲ發生シ何レモ入院實扶挫利亞患者ハ一月以降八名發生シ現

在患者腸チフス一名アリ

三、郵便電信局アリ電話設備アリ區裁判所出張所アリ鹽專賣出張所アリ警察署及巡査派出所ニアリ

四、浴場十軒各戸一時ニ約四十名ヲ收容スルコトヲ得午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等二戸收容概數百二十七名二等一戸同五名三等二戸同十五名、料理店一等二戸二等六戸三等三戸、妓樓八軒公娼四十四名檢査毎週一回(土曜日)料理店十一軒藝妓十八名酌婦二十名毎月二回組合醫師ノ健康診斷ヲ受ク其他私娼ト認ムルモノナシ

五、私立病院一、横山眼科病院收容人員二十二名設備不完全入院料一等一圓二十錢、二等一圓、三等六十錢、避病院一、收容人員二十名設備完全ニシテ收容支障ナシ横山眼科病院ハ停車場ノ傍ニ在リテ海岸ヨリ約八町避病院ハ町北西隅塚田村ニ通スル里道左側ニ建設シアリテ海岸ヨリ約二十町ノ距離ヲ有ス、開業醫九名ニシテ内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ三名收容人員計八名ナリ

六、水道ノ設備ナク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ下水ノ設備殆トナク只國道ノ兩側ニ木製下水溝ヲ通シ海老川ニ放流スル設備アルモ停滯スル所アリテ不完全ナリ、明治四十四年以降水質檢査ヲナサス

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日ニ豚十二三頭夏季ハ六七頭ヲ屠殺シ屠牛ハ稀ニシテ多クハ軍隊所在地ノ津田沼町大久保へ搬出ス屠肉ノ質良好ナルモ價格比較的高價ナリ野菜ノ供給潤澤ニシテ近隣町村ヨリ多量ニ生産ス清涼飲料水製造業者ニアリ品質良好ニシテ千葉印旛ノ二郡へ多ク搬出ス

八、人力車十六臺アリ

九、公園一、劇場一、住民ノ氣風ハ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

千葉縣君津郡木更津町

木更津警察署(大正六年七月十四日調)

- 一、戸數千八百拾六戸 人口九千百六拾人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行及地方病ナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
虎列刺	—	—	—	—	—
赤痢	—	—	—	—	—
腸室扶私	二	—	—	—	—
チアラ	—	—	—	—	—
痘瘡	三	—	—	—	—
室扶私	—	—	—	—	—
猩紅熱	—	—	—	—	—
質扶	—	—	—	—	—
埤利亞	—	—	—	—	—
ベスト	—	—	—	—	—
摘	—	—	—	—	—
要	—	—	—	—	—

本年未タ收容患者ナシ

- 三、郡役所、警察署、稅務署、登記所、郵便電信局及電話ノ設備アリ
- 四、浴場八軒各戸一時ニ約三十名ヲ收容スルコトヲ得毎日午後四時ヨリ開始ス、旅館一等四戸收容概數百五十名二等三戸收容概數四十六名三等四戸收容概數六十二名、料理店一等四戸二等一戸三等十三戸、妓樓三軒公娼三十名檢徵毎週一回月曜、料理店十八軒藝妓二十七名毎月二回地方開業醫ヲシテ健康診斷ヲ爲サシムルモ檢徵ハ行ハス其他酌婦十五名アリシモ同様健康診斷ヲ行ヒツ、アリ
- 五、私立病院二天野病院ハ收容人員三十二名入院料一等一圓二十錢普通一圓、多田病院ハ收容人員十五

名入院料金八十錢設備ハ何レモ稍ヤ完全ナリ、傳染病院一收容人員十名設備完全ニシテ收容ニハ毫モ支障ナシ天野、多田ノ兩院ヨリ埠頭へ約五丁トス、開業醫九名ニシテ内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ二名ニシテ收容人員計二十二名ナリ

六、水道ノ設備ナク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス下水ハ稍ヤ完全ニシテ各街路ノ兩側ニ石材又ハ木製ノ開渠ヲ通シ町ノ南端矢那川ニ放流ス

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清潤色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモ	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
堀井戸	大正六年七月十三日	木更津町	無色透明	微臭	弱アルカリ性	四・六〇	微量	微量	微量	—	—	—	適

- 七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日豚五六夏季ハ四五日目一頭乃至二頭牛馬モ時々屠殺ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其ノ品質ハ稍ヤ良好ニシテ價格ハ比較的廉ナリ野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近村ニ於テ生産ス
- 八、人力車一六、客船四、寄航汽船一
- 九、公園一、劇場一、活動寫眞常館一、共同便所一、住民ノ氣風ハ純朴ナルモ近來多少奢侈ニ流ル、傾向ヲ生セリ物價ハ土地ニ比シ相適ナリ

千葉縣安房郡北條町

北條警察署(大正六年七月十二日調)

- 一、戸數千四百二戸 人口六千八百人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	チフス	實扶	猩紅熱	ベスト	摘	要
大正元年	一	二	五	一			六				
同二年			三								
同三年		二	一				七				
同四年			四				一				
同五年		一三		一			三				

本年四月二十日腸室扶私患者一名發生死亡シタル後傳染病發生セス

三、警察署、稅務署、郡役所、區裁判所、郵便電信局アリ又電話設備アリ

四、浴場一戸一時ニ約二十名ヲ收容シ得毎日午後二時開始スルヲ例トス設備稍完全、旅館一等三戸收容

客數百二十名二等三戸同七十名三等(下宿木賃宿)十四戸約百四十名ヲ收容シ得、料理店一等一戸二等

一戸三等五戸、藝妓屋五戸、現在酌婦十二名藝妓九名ニ對シ毎月一日警察署ノ自衛的健康診斷ヲ行フ

公娼ナク私娼ノ蔓延スル虞ナシ

五、私立北條病院一北條町汽船發着所ヨリ約十二町設備完全ニシテ一時ニ患者二十六名ヲ收容シ得入院

料一等一圓二等八十錢三等六十錢トス傳染病院ハ館山町ト組合ニシテ汽船發着所ヨリ十四丁設備不完

全ナルモ田園ノ風景ヲ賞スヘク位置良好收容上差支ナク一時ニ二十四名ヲ收容シ得北條病院ハ縣道ニ接

スルモ傳染病院ハ交通ニ不便ナリ開業醫十名内齒科醫三名アリ普通醫ニシテ患者ヲ收容シ得ルモノニ

シテ各十名ヲ收容シ得

六、飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ナシ海岸ノ一部約二十戸ハ其井水鹽分アルヲ以テ他

ヨリ運搬シツ、アリ下水ハ概シテ不完全ニシテ街路ノ兩側ニ溝渠ヲ設ケ川又ハ水田ニ放流ス、近時水

質試験ヲ行ヒタルコトナシ

七、町ニ屠獸場アリテ冬季ハ一日ニ二頭乃至三頭夏季ハ一週間ニ一、二頭ヲ屠殺(豚十ニ對シ牛一ノ割

合)シ生肉ヲ供給ス價格ハ比較的廉價ナリ魚肉ハ牛產地ナルニ比シ高價ナリ野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ

近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス、清涼飲料水ハ「ラムネ」製造者二名アリ「サイダ」類ハ東京橫濱地方ヨリ

購入販賣シ牛乳搾取營業者三戸町内ニ供給ス

八、乗合馬車三、同自働車一、人力車四二、艇舟五

九、公園二、私立北條文庫一、住民ノ大半ハ商業ニシテ農業三分漁業二分トス一般ニ質朴ナルモ近時夏

季都人士ノ避暑スルモノ多ク從テ善良ナル氣風ヲ害セラレツ、アリ

千葉縣安房郡館山町

北條警察署(大正六年七月十二日調)

一、戶數千五百五十七戸 人口七千九百九十七人

二、傳染病流行病ハ既往數年間著シキ流行ナシ又地方病トシテ特ニ認ムルモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	實扶	猩紅熱	ベスト	摘	要
大正元年		三	八						四		

同二年	一	二	六
同三年	一	五	一
同四年	一	三	一
同五年	一	四	一
外 同五年	六三	二	八

本年四月二十五日腸窒扶私發生以來十名内全治五名死亡三名現在二名、同年一月四日赤痢患者發生以來十名内全治六名死亡三名現在一名、七月四日猩紅熱患者一名發生全治セス

三、郵便電信局アリ電話設備アリ測候所出張所税關出張所救難所アリ

四、浴場三ヶ所各戸約二十人一時ニ收容シ得午後二時ヨリ毎日開始ス、旅館一等一戸收容客百二十四人、二等四戸、同二百七十五人三等三戸同七十七人料理店二等四戸同二百二人、三等九戸、同二百三十三人、料理店酌婦三十九人、藝妓四人ニ對シ毎月一日警察醫ノ自衛的健康診斷ヲ行フ私娼ト認ムヘキモノナク公娼ナシ

五、私立病院二、館山病院收容患者百名館山汽船發着所ヨリ約七町空氣流通良好位置適當ノ場所ニシテ設備完全患者ハ多ク自炊ニシテ入院料八十錢乃至一圓二十錢ナリ、鈴木病院ハ館山汽船發着所ヨリ約十餘町ニシテ二階建ノ建物ニテ設備完全ナラス入院料特等一日八十錢一等七十錢二等七十錢三等六十五錢何レモ縣道ニ接シ居ルヲ以テ車馬ノ便アリ、開業醫三人内齋藤眼科醫院ハ患者十名收容ノ設備アリ、隔離病舎ハ北條町ト組合設備ナシ

六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ニシテ旱天ト雖モ不足ヲ來スコトナク船舶ニ對シ給水設備ヲ有セ

七、下水ハ不完全ニシテ斜面ナル土地ヲ貫通セル數條ノ川ニ流出ス、近年水質ヲ検査シタルコトナシ北條町ニ屠獸場アリテ同所ニ於テ冬季ハ一日二頭夏季ハ一週間ニ一頭ノ屠豚(牛ハ稀)ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其實良好ナラサルモ價格廉ナリ魚肉ハ常ニアリ野菜ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス清涼飲料水ハ北條町ヨリ「ラムネ」「東京横濱地方ヨリ」「サイダー」ヲ請賣ス

八、乗合馬車五、人力車三十五

九、公園二(館山公園豐澤公園)共同便所一、住民ハ漁業多ク農業之ニ次キ商業三分トス氣風ハ質朴ナルモ數年前ヨリハ不良ニ傾キタル感アリ

千葉縣夷隅郡勝浦町

千葉縣勝浦警察分署(大正六年七月十三日調)

一、戸數千四百五十五戸 人口八千六百六十一人

二、大正五年九月十四日當町ニ虎疫發生僅カ二週日ノ間ニ患者九名ヲ出セシ外地方病トシテ特記スヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸窒扶私	バラチ	痘瘡	發疹	猩紅熱	實扶亞	ベスト	摘	要
大正元年	一	一	一	一	一	一	一	七	一	一	
大正二年	二	一	二	一	一	一	一	二	一	一	
大正三年	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一	

大正四年	一	三	一	一	一	一	四
大正五年	九	三	二	一	一	一	三

本年三月二十八日ニ至ル間實扶垣利亞患者二名發生自宅治療ニテ何レモ全治セリ六月二十七日ニ至リ勝浦町料理店淺野八五郎方酌婦タリシ植村よしカ千葉縣長生郡一宮町ニ轉住後間モナク腸窒扶私ニ罹リタル旨通報アリシヲ以テ同家ニ對シ豫防消毒ヲナシ注意中ノ處其ノ後患者ノ發生ヲ見ス目下傳染病患者ナシ

三、郵便電信局アリ電話設備ヲ有ス水難救護所アリ警察分署アリ

四、浴場六軒各戸一時ニ約八名乃至十四名收容スル事ヲ得毎日午後四時ニ開始シ同十一時終了スル者トス旅館一等二戸收容概數百四十人二等四戸約百十五人三等六戸約八十三名料理店一等三戸二等七戸三等二十四戸内一等一休業中及三等五戸目下何レモ休業中妓樓ナシ藝妓屋二軒藝妓三名現在料理店二十九軒酌婦約五十四名毎月二回(五日二十日)ニ初メ一回ハ組合雇入レノ醫師後ノ一回ハ警察醫ヲシテ健康診斷並ニ檢微ヲ行フ其ノ他私娼ト認ムルモノナシ

五、私立病院三、内(眼科病院一)收容人員約四十名眼科病院ハ設備不完全ナルモ他ハ稍々完全セリ入院料ハ一定セス患者ノ多クハ自炊ナルヲ以テ普通藥價等ニテ五六十錢内外ナリ避病院一收容人員約八名設備不完全ナルヲ以テ目下新築工事中ニ屬ス加藤病院ハ埠頭ヨリ約四丁餘鳴鹿眼科病院及ヒ申濱病院ハ何レモ十數丁餘アリ此等ノ病院ハ車馬ノ便ヲ利用スルコトヲ得患者收容ノ設備ナキ開業醫五

名アリ

六、水道ノ設備ナク各戸ニ有スル井水ハ飲料水トシテハ盡ク不良ナルヲ以テ勝浦町東部ニ位スル岡嶺覺翁寺山麓ヨリ湧出スル清水ヲ二箇所ノ鐵管ヲ以テ簡易水道式ニ設備シアリ此ノ湧出水ニテ全町民ノ大部分ノ飲料ニ供セリ下水ノ排水設備不完全ニシテ街路ノ兩側開渠アリテ町ノ中央ヲ流ル、ニヶ所ノ河川ニ流出シツ、アリ

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	ニアモ	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	七月七日	勝浦町	微黃濁	—	アルカリ性	二・八	少	少	多	ナシ	中	七・六	不適
同	同	同	同	—	同	三・〇	多	多	多	ナシ	甚多	五・六	同
同	同	同	同	—	同	三・〇	多	多	多	ナシ	中	一〇・二	同
同	同	同	同	—	同	二・八	少	ナシ	多	ナシ	少	四・四	適

七、屠獸場ナシ冬季ニ向ヘハ大多喜町及鴨川町ヨリ取次販賣スルモノアルモ夏期テアリテハ之カ販賣ヲナス者ナシ清涼飲料水ヲ製造スル者ナシ魚類ハ比較的豊富ナルヲ以テ價格敢テ高價ニアラス野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ日々近村ヨリ搬出シ朝市場ニテ取引シツ、アリテ比較的安價ナル方ナリ

八、乗合馬車營業者四、車體二十四臺、人力車十四臺、舢舨三艘アリ

九、覺翁寺岡嶺一帶ハ眺望絶佳ナルヲ以テ同所ヲ公園地トシ勝浦公園ト稱ス劇場一、寄席一、活動寫眞常設館ノ設ケナシ町實業團體ニ於テハ毎年夏季海水浴場ヲ設備シ無料ニテ海水浴客ニ對シテ斡旋スル

本州南東岸及南岸 千葉縣

コトトナレリ、住民ハ概シテ淳朴ナリシモ數年前汽車開通以來都人士ノ來往繁ク爲メニ幾分カ之感
化ヲ受ケ華美ニ流レシヤノ傾向アルモソハ小部分ニシテ概シテ活氣横溢ノ風アリ生活ハ敢テ奢侈ニ流
ル、コトナク物價概シテ高價ト認メラル

静岡縣

静岡縣加茂郡下田町

下田警察署(大正六年七月二十三日調)

一、戸數一千三百七戸 人口五千五百八十八人

二、既往數年間ニ著シキ傳染病ノ流行ナシ又地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五ケ年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺赤	痢	腸室扶私	實布埵利亞	摘要
大正元年	九	一	二	三	虎列刺患者ハ系統ヲ千葉東京ニ發ス
同二年	七	一	一	二	
同三年	一	一	一	一	
同四年	一	一	一	一	
同五年	一	一	一	一	

本年七月腸室扶私一、赤痢一、發生隔離病舎ニ收容治療中ナリ

三、郵便局アリ電信電話ノ設備アリ區裁判所、郡役所、警察署、町役場、稅務署、稅關アリ

四、浴場十一戸アリ各戸約十名ヲ容ル、ニ足ル毎日午後四時又ハ五時ニ開始スルヲ例トス旅舎二十五戸
アリ内十六戸ハ旅客三十名位ヲ收容シ得其他ハ設備不完全ニシテ多クノ客ヲ收容シ得ス旅舎ニハ一等
二等等ノ區別ナシ、料理店八戸アリ一等二等ノ區別ナキモ一戸約三四十名ヲ收容スルニ足ル、藝妓二
十二名毎月一回醫師ノ健康診斷ヲ受ク、部内ニハ公娼ナシ飲食店雇女約六十名アリ目下減策ヲ講シ
居ルヲ以テ蔓延セス一ヶ月二回ハ必ス健康診斷ヲ行フ健康診斷ハ組合ニ於テ醫師ト契約シ身體ノ上下
全部ヲ檢診シ有病者ハ組合費ヲ以テ治療セシメ居レリ

五、私立病院ナシ、傳染病隔離病舎一、收容人員二十五名設備完全ナリ該病舎ハ埠頭ヨリ約十町ヲ隔ツモ

車馬通ス、開業醫八名内一般患者收容ノ設備ヲ有スルモノ五收容人員約二十名内外ヲ收容スルニ足ル

六、水道ノ設備ヲ缺ク食料水ハ井水ヲ用ユルモノアルモ此等ハ町一部ノモノニ止マリ多クハ某一ヶ所ノ
淡水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ナキモ給水器ニハ差支ヲ生スルコトナシ下水ハ各路ノ兩側石造ノ渠
ヲ通シ町ノ東端ヲ流ル、河海ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	透明度	臭味	反應	クロール	石灰	アムモ	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
溪水	大正四年十月十八日	下田町武ヶ濱	透明	無	微弱アルカリ性	四・〇	微	無	微	無	無	〇・六三	適

本州南東岸及南岸 静岡縣

七、市外ニ屠場一ヶ所ヲ有シ冬季ハ一日一二頭夏季ハ一ヶ月一二頭ヲ屠殺シ生肉ヲ供給ス質良好價格亦廉ナリ野菜ノ供給ハ甚タ少ナク近隣村落ニ於テ多量ニ生産セス故ニ其ノ種類モ少ナク價格モ品質ニ比シ高價ナリ

八、乗合馬車六十人力車五、艇舟十艘餘、自動車三臺アリ大仁松崎ト交通ス

九、公園ナキモ下田公園ト稱スル城山アリ活動寫眞常設ノ寄席二、共同便所二、其他消防組ノ設備アリ住民ノ氣風質朴ニシテ漁業並ニ商業ヲ精勵ス物價ハ東京地方ヨリ供給ヲ受ケ概シテ高價ニシテ三割又ハ五割ノ利ヲ見ル

静岡縣駿東郡沼津町

沼津警察署(大正六年七月二十四日調)

一、戸數三千百〇四戸 人口一萬五千九百二十七人

二、既往數年間ニ於テ大正四年中腸窒扶斯ノ流行シタル外傳染病ノ流行ナシ又地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナキモ日本住血吸蟲病ナルモノ沼津町及其近隣ニアリ

最近六年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸窒扶斯	チフス	痘	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘要
大正元年										火災アリタル爲メ帳簿燒失ニ付不明
同二年		八	四	四						
同三年		五	七	四			四	一		
同四年			三	三七	五			一	三	

同五年	同六年
一八	五
二	七
二	九
二	二

腸窒扶私患者本月發生シタルモノ四名六月七月發生シタルモノ「バラチフス」患者二名ハ目下傳染病院ニ收容治療中ナリ

三、郵便電信局アリ電話設備アリ郡役所、警察署、稅務署、測候所アリ船舶碇泊地ニハ巡查派出所アルモ救難所ナシ

四、浴場十六軒平均各一戸一時ニ約三十五名ヲ收容スルヲ得内毎日午前六時ニ開始スルモノ十二戸午後四時ニ開始スルモノ四戸ナリ、旅館ハ一等三戸收容概數一一二名同二等一〇戸同三三八名同三等三二戸同四六〇名收容概數計九一〇名木賃宿ト同等ト認ムヘキ旅人宿ハ計上セス、料理店一等四戸二等七戸三等三戸料理店ニ準スヘキ飲食店四二戸其他ノ飲食店ヲ計上セス、妓樓五軒公娼二十名檢査毎週一回(月曜)料理店一四戸藝妓七九名健康診斷ハ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院一、二百人ヲ收容スルヲ得設備稍完備セリ入院料一等一圓七十錢二等一圓四十錢三等一圓、私立駿東病院ハ沼津町下河原埠頭ヨリ約十二丁ニシテ車馬ヲ通ス、傳染病院一、收容人員二十二名設備不完全ナルモ收容スルニ差支ナシ、開業醫二十二名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ八名收容人員計八十名ナリ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク堀抜井打込井及井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ缺ク、下水ハ不

完全ニシテ一部ニ下水道トシテ街路ノ中央ニ暗渠ヲ通スルモ疏通不良ナリ最近ニ於テ水質ノ検査ヲナシタルコトナシ

参考 近時鐵井シタルモノ數ヶ所アリ湧出量亦多量ナリ
水質検査成績

種類	濁	色臭味	反應	クロール	ニウム	亜硝酸	硝酸	硫酸	有機質	有害金屬	適否
鐵井	清	異狀ナシ	中性	二〇	ナシ	ナシ	微	微	二、五二八	適	適

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ每週火木土ノ各三曜日ニ屠畜ヲナシ冬季ハ一日四頭夏季ハ一日三頭位ノ屠牛ヲナシ其他ノ屠獸ハ冬季ハ一日平均四頭夏季ハ一日平均二頭ヲ屠殺シ以テ生肉ヲ供給ス其ノ質稍良好ニシテ價格比較的高價ナリ野菜ハ潤澤ニシテ近隣村落ニ於テ比較的多量ニ産出ス

八、乗合馬車沼津町ニ五五人力車同一九九艘舟ノ數不定小蒸汽船二艘アリ戸田松崎下田等ヲ往復ス

九、海濱ニ千本濱公園一アリ劇場一、寄席二、活動寫眞常設館一アリ公共團體ノ事業等ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ノ傾アリト雖モ甚シカラス物價ハ比較的高價ナリ

静岡縣安倍郡清水町、庵原郡江尻町、庵原郡辻村 江尻警察署(大正六年七月二十五日調)

一、戸數三千百二十二戸 人口一萬五千五百二十二

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ
最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チバチ	痘瘡	チチ	猩紅熱	實利亞	ベスト	摘	要
大正元年		一	八					二			
同二年			三					九			
同三年			五					五			
同四年		一	二					一			
同五年		一	八					二			

本年五月ヨリ七月ニ至リ辻村ニ腸室扶私四名江尻町ニ七月疫痢一名發生ス

三、郵便電信局アリ(一)電話設備アリ警察署(一)巡查派出所(二)郡役所(一)アリ電話設備アリ

四、浴場江尻町六戸辻村一戸(清水町不明)アリ一時ニ一戸約十七八名ヲ收容スルコトヲ得(但シ男湯ノミ女湯ヲ使用セハ此ノ二倍ヲ收容スルコトヲ得)各戸午後三時頃ヨリ開始スルヲ例トス旅館江尻町十戸辻村四戸清水町九戸外ニ木賃宿一戸アリ收容概數五百四十五人、料理店江尻町九戸飲食店六十三戸辻村料理店ナシ飲食店十八戸清水町江尻町ニ妓樓九戸娼妓四十九人檢査一週一回(月曜日)、藝妓屋十

三戸藝妓五十四人健康診斷ヲ行ハス

五、私立病院一、收容人員ハ九名ニシテ設備完全ナリ入院料ハ一等二等ノ區別ナク一日金六十五錢、私立病院ハ海岸ヨリ約十丁ニシテ直ニ車馬ヲ通スルヲ得隔離舎ハ江尻町ハ海岸ヨリ約十丁辻村ハ約十三丁清水町ハ港ノ南岸ニシテ直接船艇ヲ以テ着スルヲ得、隔離舎江尻町一、辻村一、清水町一、收容人員約五十八名設備稍ヤ完全ナリ、開業醫ハ清水町ニ四名江尻町ニ六名辻村ニ一名アルモ患者收容ノ設

備ナシ

六、飲料水供給不完全水道ノ設備ナシ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シテ給水設備不完全ナリ、下水ハ不完全ニシテ溝渠ヲ通シテ巴川ニ放流ス、一般的ニハ水質検査ヲナシタルコトナシ

日本製氷清水分工場原料水試験成績書

種類	清潔	色臭味	反	クロール	硫	酸	硝	酸	ニ	ア	ム	ア	モ	亞	硝	酸	有	機	質	適	否	
鐵	井	清	異	狀	ナ	シ	中	性	ハ	〇	僅	微	微	ナ	シ	ナ	シ	二	、	八	四	四
																						適

七、屠獸場ハ江尻町ニ一アリ冬季ハ一週間ニ四五頭夏季ハ一ヶ月ニ一頭位ヲ屠殺ス品質價格共ニ普通ナリ野菜果實ハ附近三保村不二見村ニ於テ多量ニ産出ス、清涼飲料水製造家五戸アルモ其ノ生産力充分ナラス

八、乗合馬車三臺人力車四十九臺艇舟三十艘

九、江尻町ニ劇場一、辻村劇場一、活動寫眞常設館一、アリ

静岡縣志太郡燒津町

一、戸數二千九十九戸 人口一萬三千八百三十七人

藤枝警察署(大正六年七月二十日調)

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

大正元年中 虎列刺二 赤痢一 腸室扶私六 バラ一 實布酌里一
 同 二年中 虎列刺一 赤痢一 チフス十九 チフテリ三
 同 三年中 腸室扶私十九 實布酌里九
 同 四年中 同 六 同 六
 同 五年中 赤痢五 チフス七 バラ五 チフテリ三
 本年ハ未傳染病患者ナシ

三、郵便局アリ電信電話アリ巡查部長派出所アリ

四、湯屋八十戸ニシテ各戸一時ニ二十名ヲ收容スルヲ得毎日午後五時開始ス、旅館ハ一等二戸收容數約二十四人二等三戸收容數約四十名三等五戸收容數約五十八名ナリ、料理店ハ一等四戸二等五戸アリ、妓樓公娼等ナシ料理店九戸藝妓四十四名アリ毎年一回健康診断ヲ行フモ上半身ノ檢診ナリ私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院ナシ傳染病院アリ收容人員十六人ニシテ設備完全ナリ海岸ヨリ約五町車馬ノ便アリ、開業醫七名アリ患者ヲ收容スル設備アルモノナシ、又齒科醫二名アリ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ハ不完全ナルモ地下ニ土管ヲ埋メ市街ノ中央ヲ流ル、河川ニ放流ス、水質検査ヲナスクロール多量ナル由海水ノ浸入ニ基因スルモノナルヘシ

參考

本州南東岸及南岸 静岡縣

日本製氷燒津工場井水試驗成績表

種類	清潔	色臭味	反應	クロール	硫	硝	酸	アムモ	亞	硝	酸	有機質	適	否
井水	清潔	異狀ナシ	微弱アル カリ性	一六・〇	微	微	ナ	シ	ナ	シ	二・八四四	適		

七、屠獸場ナシ生肉販賣者ハ冬季ニ營業スルモノアルモ至テ少シ且ツ價格高價ナリ、野菜ノ供給亦潤澤ナラス近隣町村ニ於テモ生産少シ、清涼飲料水製造場一ヶ所製氷所一ヶ所アリ清涼飲料水製造ハ年々四月ヨリ九月マテトス

八、乗合馬車四臺人力車三十五臺アリ舢舨ナシ

九、公園ナシ劇場一、寄席一アリ、住民ノ氣風逐年奢侈ニ流ル、傾ナシトセサルモ有數ナル漁港トテ豊漁ノ際之ヲ認ムルノミ常時ニ於テハ甚シキコトナシ物價亦比較的高價ナリ

愛知縣

名古屋市南區築地名古屋港

一、戸數四百四十一戸 人口千九百十五人

名古屋水上警察署(大正六年七月二十日調)

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ
最近六年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	大正五年	大正六年
虎列刺						
赤痢						
腸炎						
腸炎扶私						
チフス						
痘						
發疹						
室扶私						
猩紅熱						
實布						
ベスト						
摘						
要						

備考 太字ハ陸上普通字ハ入港船舶内ニ發生セシモノナリ、又名古屋港所在地ハ舊熱田市街ヲ

距ル約一里(電車アリ)

三、郵便局(電話、電信事務ヲ取扱フ)名古屋水上警察署及巡查派出所ノ二個所名古屋港務所、名古屋税關支署臨港鐵道名古屋港驛

四、浴場四、一戸一時ニ平均二十名位ヲ收容シ得毎日午後三四時頃ヨリ開始スルヲ例トス、旅館十(料理店ヲ兼業ス)一戸平均六十名餘ヲ收容シ得何レモ二等ニ位ス、港ノ西方十四五丁ヲ距ル處ニ稻永新田遊廓アリ妓樓二十戸娼妓二百人餘アリ、藝妓三人アルノミ公娼檢徴ハ月六回ナリ

五、病院避病院共ニナシ開業醫二名アリ患者ハ何レモ海岸ヲ距ル一里乃至三里ノ縣立私立病院ニ收容ス市立傳染病院ハ市外千種町ニ在リ設備完全ノ域ニ達セス

六、上水ヲ以テ飲料水、船舶、罐水等ニ供給シアリ水質検査ハ四十一年以降施行セス、下水ハ木製及陶

器製土管ヲ以テ開渠ヲ通シ海水ニ放流ス

七、市外ニ市營屠場一アリ本年一月以降六月迄ニ二千二十八頭ノ牛ヲ屠殺セリ(一日平均十一頭)夏季ニ於テモ一日平均八頭ヲ屠殺シ生肉ヲ供給ス野菜ハ附近農村ニ於テ多量ニ生産シ供給潤澤ニシテ廉價ナリ

八、市街到ル處電車ノ便アリ、解ハ三十餘隻アリテ陸上船舶間ヲ連絡往復ス

九、公園ハ市ノ東北海岸ヲ距ル二里餘ノ處ニアアルノミニシテ劇場、活動寫眞其他圖書館等何レモ海岸ヨリ二里以上ヲ距ル市ノ中央部ニアリ、市ノ中央部ニ至ル行程約二里海岸ヨリ電車ノ便アリ

愛知縣知多郡武豐町

愛知縣半田警察署(大正六年七月二十日調)

一、戸數一千四百一十一戸 人口四千六百九十五人

二、大正四年ニ於テ赤痢病ハ多少流行ノ傾向アリシモ大正五年及本年ニ入ルモ四年ニ比シ漸次減少シ豫防法施行ノ效果見ルヘキモノアリ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	披	要
大正元年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	表中赤痢患者ハ疑似赤痢患者ヲ含ム
同 二年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
同 三年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
同 四年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
同 五年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

同 四年	同 五年
三六	一六

本年五月下旬ヨリ赤痢病患者七月十九日迄ノ發生九名内五名死亡、三名全治、現在患者一名皆疑似赤痢患者ナリ九名ノ内隔離病舎ニ收容セルモノ四名ナリ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查駐在所ニアリ、水難救護所ノ設備ナキモ公設消防組アリテ水難救護等ノ非常事變ノ場合ハ之ニ任ス

四、浴場二軒ニシテ各戸共ニ一時ニ十四五名ヲ收容スルヲ得、毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館ハ地方ニ於ケル一等ト認ムヘキモノ四戸、一戸ニ五十名ヲ收容ス、二等以下十戸ニテ收容概數三百名(是等ハ料理店ヲ兼業トス)、料理屋二等ト認ムヘキモノ一戸、旅館兼料理屋十四戸、料理屋ノミヲ營ム者一戸、藝妓四名、酌婦十四名是等ハ毎月二十五日組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢査ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ(妓樓公娼ナシ)

五、病院ハ公私立共ニナシ開業醫二名内病室ノ設備アルモノ一、患者收容力約三十名、設備ハ完全ナラス病室ハ借料金一ヶ月五圓位ニテ炊事ハ各自ニ爲ス突堤ヨリ約一丁ヲ隔ツ、傳染病隔離病舎一、收容人員五十名餘突堤ヨリ約五丁車馬ヲ通ス

六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス、船舶ニ對スル給水設備トシテハ特大ナル井戸アリ且貯水池ヲ設ケ鐵管ヲ布設シ一時ニ給水船ニ送水スルコトヲ得、下水ハ小溝渠アルノミニテ設備不完全

ナリ、水質検査ハ明治十九年ニ施行シタルコトアルモ其後之ヲ爲シタルコトナシ
 七、生糧品トシテ屠獸場ナキモ一里餘ヲ隔ツル半田町ヨリ供給ヲ受クルコトヲ得(半田町ニハ屠獸場アルモ夏期五ヶ月間ハ殆ト屠殺ヲ休止ス然レトモ必要ニ應シ何時ニテモ需用ニ應スルコトヲ得)、清涼飲料水ノ製造所ナシ前同様半田町ヨリ供給ヲ受ク、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ヨリ多量ニ生産ス
 八、乗合馬車八、人力車二一、艇舟二五艘アリ
 九、公園、劇場、活動寫眞常設館、共同便所、圖書館ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ質朴ニシテ奢侈ニ流レズ物價ハ比較的廉價ナリ

三重縣

三重縣志摩郡鳥羽町

鳥羽警察署(大正六年七月二十日調)

- 一、戸數一千七百十九戸 人口九千七百七十五人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ヲ見ス地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	大正五年
虎列刺	一	二	一	一	一
赤痢	一	一	一	一	一
腸室扶私	一	一	一	一	一
バラチ	一	一	一	一	一
痘瘡	一	一	一	一	一
室扶私	一	一	一	一	一
猩紅熱	一	一	一	一	一
實布埜	一	一	一	一	一
バスト	一	一	一	一	一
摘	一	一	一	一	一
要	一	一	一	一	一

同二年	同三年	同四年	同五年
五	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
一	一	一	一
二	三	七	二
一	一	一	一

自本年一月至七月腸室扶私患者六名發生セルモ即時隔離病舎ニ收容一名ハ死亡セルモ他ハ總テ全治目下一名現患者アルノミ

- 三、志摩郡役所、鳥羽警察署、山田區裁判所鳥羽出張所、税關支所、鳥羽町役場、鳥羽造船所、鳥羽郵便電信局アリ又町内ニハ公衆電話ノ設備アリ
- 四、浴場六軒、各戸一時ニ約二十名ヲ收容スルヲ得毎日午後三時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館ハ一等二戸收容概數二百五十名、二等二戸同百七十名、三等三戸同百八十名、四等五戸同百二十名計七百二十名、料理店(普通ノモノ)一戸、妓樓十一軒、公娼五十二人、檢査毎週一回(水曜)各貸座敷内其他ニ藝妓ヲ置ク其數二十四名ニテ健康診斷及檢査等ヲ行ハス、其他私娼ト認ムヘキモノナシ
- 五、鳥羽町ニハ病院ノ設備ナシ、傳染病隔離病舎一アリ約二十名ノ患者ヲ收容スルコトヲ得其設備ハ餘リ完全シ居ルモノト認メ難キモ一時患者ノ收容ニ際シテハ差支ナシ、開業醫七名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ三名收容人員計二十名
- 六、水道ノ設備ナク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス然レトモ軍艦入港ニ際シ飲料水等ヲ要スル場合ハ海軍側ニ請負ノ契約者アリテ何時ニテモ給水スルコトヲ得ルコトナリ居レリ

下水溝ハ客年來改築ヲ施シ現今ニ至リテハ汚水ノ疏通便ニシテ汚水ハ當港灣ニ放流ス

井戸所有者	色	夾雜物	臭味	反	應	アムモニア	亞硝酸	硝酸	クロール	過マンガン酸	飲料適否	
御酒本徳松	清澄	僅微	異狀ナシ	哈	中	性	檢出セス	檢出セス	微痕跡	二三・八五九六	一・六一二二	適
官有地	清澄	微量	異狀ナシ	微	弱	アルカ	性	同	痕跡	二三・八五九六	一・二三九六	適
志摩郡役所	同	同	同	微	弱	アルカ	性	同	少量	三〇・六七六五	二・六二〇〇	同

七、鳥羽町大字鳥羽町ヲ距ル十二三町ノ所ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ニ至レハ各日ニ一頭ノ屠牛ヲ爲シ生肉ヲ販賣ス其ノ質餘リ良肉ナラス價格モ亦高價ノ方ナリ、野菜類ハ宇治山田方面ヨリノ輸入ヲ受ク、清涼飲料水ノ製造者一アリ毎年四月ヨリ九月頃迄ノ間製造ス、此ノ期間中ニ於ケル生産高ラムネ、サイダ、三十五六石位

八、乗合馬車二、人力車二八、艇舟九艘アリ

九、公園ナシ、劇場一、共同便所六、公共團體ノ事業トシテ何等ナシ、住民ノ氣風ハ浮薄ニテ公共心ナク唯々目前ノ利益ヲ得ルコトノミヲ考フ諸物價ハ比較的總テ高價ナリ

三重縣志摩郡濱島村

鳥羽警察署(大正六年七月十七日調)

一、戸數五百三十戸 人口二千九百四十七人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ又地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	バラチ	痘	癩疹	猩紅熱	實布亞	ベスト	摘	要
大正元年											
同 二年											
同 三年											
同 四年											
同 五年											

本年六月赤痢患者二名發生セルモ何レモ全治シ其後患者ノ發生ヲ見ス

三、濱島郵便電信局、巡查駐在所、濱島村水産試驗場、濱島村役場

四、浴場四軒各戸一時ニ約二十名ヲ收容スルヲ得毎日午後五時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等三戸收容九十名二等四戸收容百廿名三等二戸收容四十名計二百五十名、料理店ナシ、妓樓ハ十軒公娼三十八名檢査毎週一回(金曜日)アリ藝妓八名健康診斷又ハ檢査ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、病院避病院ナシ

六、水道ノ設備ナク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對スル給水設備ナシ、下水ハ不完全ニシテ各街路

兩側ニ一尺ノ小溝アリ之ヨリ三尺位ノ下水溝ニ流レ而シテ灣内ニ放流ス

七、屠獸場ナシ野菜ノ類ハ其生産高越ク近村ヨリ多少ノ供給ヲ受クルモ尙不足ノ爲メ宇治山田方面ヨリ

多量輸入ス

八、乗合馬車ナシ人力車四アリ艇舟ナシ

九、公園ナシ、劇場一、共同便所一アリ公共團體事業トシテ何等ノ見ルヘキモノナシ、住民ニシテ漁業専門ノモノハ多クハ質素ヲ守リ居ルモ其ノ他ノ諸營業者ニ在リテハ多ク奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

三重縣志摩郡の矢村

鳥羽警察署(大正六年七月十七日調)

一、戸數三百二十二戸 人口千六百十一人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ又地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	バラチ	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布埜	ベスト	摘	要
大正元年											
同二年											
同三年											
同四年											
同五年											

三、郵便電信局、巡查駐在所、的矢村役場

四、浴場二軒各戸一時二十五人ヲ收容スルヲ得毎日午後三時頃ヨリ開始スルヲ例トス、旅館五戸一等ト認ムヘキモノナシ二等二戸收容概數各戸十五人三等二戸各戸十人計五十名、料理店及藝妓ナシ、妓樓

七軒公娼二十二名アリ檢徹ハ每週(木曜)一回行フ私娼ト認ムヘキモノナシ

五、病院避病院ノ設備ナシ

六、水道設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ水質檢査ヲ行ハス船舶ニ對シ給水設備ナシ下水ハ不完全ニシテ各道路ノ兩側若クハ土中ニ「ドカン」ヲ埋メ海岸ニ放流ス

七、屠獸場ナシ野菜類ノ如キハ土地ニ需用スルノ類サヘ不足スルノ狀況ニシテ鳥羽山田地方ヨリ輸入ヲ受ケ隨テ他ニ供給スルカナシ

八、乗合馬車ナシ、人力車五、小船(漁舟)二百十一艘

九、公園ナシ、劇場ナシ、共同便所ナシ、公共團體事業トシテ見ルヘキモノナシ、住民ハ農漁及商ノ三ニ分レ古來ヨリ貸座敷ノ在ル地ニシテ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

津警察署(大正六年七月十九日調)

一、戸數九千四戸 人口五萬二千八百六十八人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近六年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	バラチ	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布埜	ベスト	摘	要
明治四十五年											
大正元年		一八	九	一			二	四六			
大正二年		四七	一九	二			一	四五			

同三年	一六	一七							
同四年	五〇	一九	四						
同五年	三一	二八	一						
同六年自一月至六月	九	五							

- 三、縣廳、稅務署、郵便局(電信電話アリ)、測候所、市役所、警察署、地方、區、裁判所、巡查派出所
- 九ヶ所、鐵道停車場二ヶ所、縣立工業試驗場、蠶病豫防事務所、縣立商品陳列館、憲兵分隊アリ
- 四、浴場四十五、一戸ニ付一時ニ約二十名ヲ收容スルコトヲ得毎日午後四時ヨリ同十一時迄開始スルヲ例トス、旅人宿八十戸内一等二戸二等六戸其他參等收容人員一等約百人二等約百五十人三等約千人、
×貸座敷業十七戸娼妓八十三人毎週月曜日ニ警察醫ノ健康診斷ヲ受ク他ニ私娼ト認ムヘキモノナシ
- 五、市立病院一、私立病院一、避病院一、收容人員六十名設備完全ナラサルモ收容ニ支障ナシ、津市立病院ハ津港埠頭ヨリ約二十町、避病院ハ約十四町共ニ車馬ヲ通ス、開業醫四十八名收容ノ設備ヲ有スルモノナシ
- 六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス下水ハ完全ナラス各街路兩側木製又ハ石製ノ開渠ヲ通シ市街ヲ横斷セル安濃川及岩田川ニ放流スルモ河口高ク排水不充分ナリ大正四年水質検査ノ結果ニ依レハ津市榮町縣廳附近津市西町市役所附近及大門町藏町ノ一部ヲ除クノ外水質不良ニシテ飲料水ニ適セス即チ全市ヲ通シテ約五分ノ四ハ飲料水ニ適セス

七、市内ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日ニ四五頭夏季ハ毎日牛一頭位ヲ屠殺シ生肉ヲ供給ス其ノ質不良ナラス價格モ比較的廉價ナリ、野菜ノ供給ハ市内附近農家ニ求ムルモ亦愛知縣下其他ヨリ移入スルモノ多シ

八、乗合馬車三人力車三百艘舟七渡船十四アリ

九、公園二、劇場三、活動寫眞常設館一、共同便所二十三個アリ住民ノ氣風温順ニシテ活動ノ氣象ニ乏シ物價モ比較的廉價ナリ

三重縣四日市市

四日市警察署(大正六年七月十日調)

一、戶數六千八百二十七戸 人口三萬三千六百十四人

二、最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘	瘧疾	猩紅熱	實扶	ベスト	摘	要
大正元年	—	二	一三	—	—	—	—	九	—	—	—
大正二年	—	九	一四	—	—	—	三	二二	—	—	—
大正三年	—	二一	一五	—	—	—	二	二六	—	—	—
大正四年	—	一三	一八	—	—	—	—	二一	—	—	—
大正五年	—	八	一四	—	—	—	—	一一	六〇	—	—

大正六年四月中痘瘡患者十名、同四月以來腸室扶私九名、同年一月以來實扶的利亞二十名、同七月中赤痢(疫痢及疑似)二名アリ

本州南東岸及南岸 三重縣

- 右ノ内私立病院隔離室ニ收容中ノモノ腸窒扶私三、赤痢一ニシテ目下發生患者ナシ
 - 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查派出所アリ
 - 四、浴場三十三戸各戸一時ニ約五十名ヲ收容スルヲ得毎日午後三時ヨリ開始ス、旅館一等二戸收容數約二百四十名二等六戸約二百名三等二十戸約二百名、料理店一等二戸二等二戸三等二十三戸、妓樓四十八戸公娼百七十六名檢査毎週月曜日、藝妓百十四名アリテ健康診斷ヲ受クルコトナシ
 - 五、私立病院三、收容人員木村病院七十名、津田病院九名、鈴木病院三十名右ノ内鈴木病院ハ眼科専門ナリ入院料一等一圓五十錢二等一圓三十錢三等五十錢設備完全ナリ、避病院一、收容人員三十名、木村病院津田病院鈴木病院ハ何レモ埠頭ヨリ約五町、避病院ハ約八町ノ距離アリ、開業醫二十七名患者ヲ收容スル設備ヲ有スルモノナシ
 - 六、水道ノ設備ナク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シテハ給水ノ設備有リ下水ハ稍完全ナル設備アリ飲料水ノ水質檢査ハ全市ニ亘リテ施行セサルニ付不明
 - 七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日五、六頭ノ屠牛ヲ爲シ夏季ハ屠牛ヲ爲スコト稀ニシテ冬季ハ生肉ヲ給供シ其質良好ニシテ價格普通ナリ野菜ハ供給充分ニシテ近隣村落ニ於テ多量ニ生産ス
 - 八、人力車二百十臺、艇舟二十一艘、乗合馬車ナシ
 - 九、公園アリ、劇場三、活動寫眞常設館一、四日市々立圖書館アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ質素ニシテ物價ハ比較的高價ナリ
- 三重縣桑名郡桑名町、同縣同郡赤須賀村
- 三重縣桑名警察署(大正六年七月三十一日調)

- 一、桑名町戸數四千八十四戸 人口一萬八千二百六十人、赤須賀村七百二十八戸 三千四百四十一人
- 二、大正元年赤痢流行シ患者三十六名ヲ出シタル外他ニ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	赤痢	腸窒扶私	チバチ	痘	疹	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	虎列刺	摘	要
大正元年	三六	一五	二				二	一六				
同二年	四	一五						三七				
同三年	五	二三					一	九				
同四年	一七	一六	一					七				
同五年	一八	一七	二					二三				

備考 本表中太字ハ赤須賀村ニ於ケル患者數ニテ内數ヲ記ス

- 本年四月桑名町腸窒扶私患者發生以來三名ニシテ現在患者二名、赤痢病患者桑名町ニ本年六月發生以來五名ニシテ現患者三名何レモ桑名町隔離病舎へ收容治療中、實布埜利亞本年一月桑名町ニ發生以來六名ニシテ現患者ナシ、バラチフス本年四月赤須賀村ニ一名發生以來現患者ナシ
- 三、桑名町ニ郵便局アリ、電話設備アリ、巡查派出所アリ、赤須賀村ニ郵便局アリ、巡查駐在所アリ
- 四、桑名町浴場二十五軒各戸一時ニ約男十名女十名ヲ收容スルコトヲ得、赤須賀村浴場三軒各戸一時ニ約男十名女十名ヲ收容スルコトヲ得毎日午後三時ニハ開始スルヲ例トス、旅館一、二等ノ區別ナシ

十一戸收容概數五百八十七名、料理店一、二等ノ區別ナシ十戸、妓樓四十九軒、公娼百四十二名檢徽每週一回(木曜日)料理店十戸藝妓百八名毎年四回(三月、六月、九月、十二月)組合ニ於テ醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢徽ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、桑名町私立病院一、收容人員桑名病院四十名、設備完全ナリ入院料一等三十錢、二等二十錢、三等十五錢但シ藥價及食費外科治療費ヲ含マス、桑名町避病院一、收容人員二十四名設備完全ナリ、桑名町桑名病院ハ埠頭ヨリ六町車馬ヲ通ス、開業醫桑名町二十名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ
六、水道ノ設備アリ桑名町赤須賀村ノ住民ハ飲料水トシテ水道ヲ使用ス、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ完全ト云フニアラサルモ各街路ノ兩側ニ石若クハ敲ニテ開渠ヲ通シ市街堀川ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クローレル	硬度石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
水道	明治三十年六月二十日	桑名町大田田村字東ノノ	清透	無シ	弱アルカ	二・六	一・四三	無シ	無シ	無シ	少量	10000	適

備考 水一リートル中ニ含有スルミリグラムナリ、硬度ノ項ニ掲ケタル度數ハ獨逸法トス、明治三十六年二月十六日

検査成績

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ隔日約二頭(夏季ハ屠牛稀ナリ)ノ屠牛ヲ爲シ生肉ヲ供給ス、其實良好ニシテ價格モ比較的廉價ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ隣地尾張、美濃二國ヨリ多量ニ生産シ桑名町ニ移入ス、清涼飲料水製造業四戸ラムネ、サイダー、ミカン水等ノ製造ヲナス
八、桑名町乗合馬車七、人力車百三十六輛、解舟ナシ

九、公園ナシ、劇場二、活動寫真常設館ナシ、共同便所二十八、圖書館ナシ、住民ノ氣風ハ一般質ニ素ニシテ物價ハ比較的廉價ナリ

和歌山縣

和歌山縣西牟婁郡田邊町田邊港

田邊警察署(大正六年七月十七日調)

一、田邊町ハ田邊港ニ接近ス戸數二千三百十八戸 人口九千六百八十五人
二、田邊港ニ於テ最近五ヶ年間に傳染病發生シタルコトナク何レモ田邊町内ニ於テ發生セルモノヲ左表中ニ記入ス此地方ニ多ク發生スルハ赤痢腸チフス病ナリ特ニ地方病トシテ記入スヘキモノナキモ腸チフス病ハ全ク地方病トモ言ヒ得ヘキモノナリ

年次	疑似コレラ	赤痢	腸チフス	バラチフス	チフテリヤ
大正元年	二	二	一		
同 二年	一	三	一		
同 三年	一	二	七		二
同 四年	一	一	六		一
同 五年	一	三	一		一

- 三、田邊郵便局アリ、電信設備アリ而シテ田邊區裁判所、西牟婁郡役所、田邊小林區署、田邊警察署、和歌山監獄田邊分監、稅務署等ノ所在地ナリ
- 四、田邊港ニ接近セル田邊町ニハ湯屋十五軒アリ一時ニ約二十人位入浴スルヲ得午後三時開始ヲ例トス旅人宿三十七軒アリ一、二、三等ノ區別ナキモ一等旅舎ト認メ得ヘキモノ八戸約五十人位宿泊スルヲ得其他八十名以上約三十名位宿泊シ得テ比較的何レモ設備完全ナリ、料理店トシテハ二十三戸何レモ相當設備ニテ區域内約八十名内外ノ藝妓アリ料理店モ一、二、三等ノ區別ナシ、公娼ナシ、藝妓ハ二ヶ月一回自衛的健康診斷ヲ行フ私娼ト認ムルモノナシ
- 五、田邊町ニ隔離病舎一(傳染病患者用)アリ患者約十名ヲ收容ス、田邊町ハ開業醫十八名アルモ患者ヲ收容シ得ル設備ナシ
- 六、田邊町民ハ井水ヲ以テ飲料水ニ充テ他ヨリ供給ノ設備ナシ水質試驗ヲ行ヒタルコトアルモ其成績不明ニ屬シ分析ノ成績ヲ記入スル能ハスト雖モ飲料ニ不適ノモノ少ナシ下水溝ハ不完全ナルモ石材ヲ以テ道路ノ兩側ニ開渠ヲ通シ町ノ北方ニ流ル、會津川ニ放流ス
- 七、田邊町ニ接近セル湊村ニ屠場一ヶ所アリ冬期一日屠殺數五、六頭夏季ハ全ク屠殺セス稀ニ一ヶ月一、二頭屠殺スルコトアリ品質良價格一貫目四圓位近隣ノ村落ニ野菜ノ生産多シ清涼飲料水ノ製造所ナキモ比較的便利ノ土地ニ付供給ニ支障ナシ
- 八、特ニ設備スルモノナキモ田邊町ニハ人力車約五十臺、馬車五臺、舳舟二十艘位アリ
- 九、田邊町ニハ西牟婁郡公園一、劇場二、郡圖書館一アリ住民稍々奢侈ニ流レ物價比較的高シ

和歌山縣有田郡湯淺町

湯淺警察署(大正六年七月三十一日調)

- 一、戸數二千〇二十九戸 人口九千八百九十七人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	買利亞	ベスト	攝	要
大正元年		一									
同二年		八									
同三年			四	一							
同四年			二〇					一九			
同五年	四		六					五			

本年五月腸室扶私患者一名發生避病院ニ收容爾來續發患者ナシ

- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、警察署アリ、郡役所アリ、役場アリ、稅務署アリ
- 四、浴場十軒各戸一時ニ約十五名ヲ收容スルヲ得毎日午後三時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等二戸收容概數百名二等二戸六十名三等十六戸同百三十名計二百八十名、料理店一等三戸二等二戸三等十戸、妓樓ナシ、公娼ナシ、料理店十五軒、藝妓二十四名、酌婦九名年六回(二ヶ月毎)檢査ヲ行フ其他私娼ト認ムヘキモノナシ

- 五、病院避病院ナシ、開業醫十一名アルモ患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ
 - 六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ木製開渠ヲ通シ市街ノ西南北海岸ニ放流ス、最近水質検査ヲ行ハス
 - 七、市外ニ屠獸場ナシ果物野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス、清涼飲料水製造場ニアルモ「ラムネ」、蜜柑水等ニシテ其ノ製造量僅少ナリ
 - 八、乗合馬車ナシ、人力車二十二、艇舟五艘アリ
 - 九、公園一、劇場一、活動寫眞常設館ナシ、公共團體ノ事業トシテ有田郡立圖書館アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ順朴ニシテ物價ハ平價ナリ
- 和歌山縣海草郡和歌浦町
- 一、戸數一千三百七十一戸 人口六千九百一十一人
 - 二、昨年九月ヨリ十一月中ニ七人ノ虎列拉患者アリ内六名ハ陸上發見一名ハ舟内發見ニシテ其後流行セス又地方病ナシ

和歌山警察署(大正六年七月三十一日調)

最近五年間傳染病患者發生表

年次	コレラ	赤痢	チフス	チバチフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	ジリヤ	ベスト	摘	要
大正元年	1	1	1	1	1	1	1	4	1		
同二年	1	1	1	1	1	1	1	1	1		

同三年	同四年	同五年
1	1	7
4	2	1
1	1	1
1	1	1
1	1	1
1	1	1
3	1	2
1	1	1

- 三、町役場アリ、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查派出所アリ
- 四、浴場五アリ一時ニ二百二十人ヲ收容スルヲ得毎日午後三時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等四戸收容概數五百五十七人、二等十一戸收容概數三百七十八人、三等二戸收容概數十九人、妓樓ナシ、料理店ニ在ル酌婦等ノ檢査ハ毎年四回之ヲ行フ其他私娼ト認ムヘキモノナシ、當町ノ料理業ハ總テ旅人宿兼業ナリ
- 五、私立病院ナシ、傳染病舎ニアリ目下患者收容力四十八人ニシテ海岸ヨリノ距離ハ直徑十五丁ナリ設備ハ稍々完全ナリ、開業醫ノ數ハ三名アリ内病室ノ設備アルモノ一名收容力二十人ナリ
- 六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス船舶ニ關シテハ何等給水設備ヲナサス、下水ノ設備ナシ、水質ノ検査ナシ
- 七、當町ニ屠獸場ナキモ毎日岡町村ヨリ牛肉片ヲ販賣シ來ル其質良好ニシテ價格モ亦高價ニアラス、清涼飲料水ノ製造所ニアリテ毎年二百四十三石九斗八升三合ヲ造ル野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣村ヨリ多量ニ生産ス
- 八、乗合馬車ナシ、人力車ナシ、艇舟七アリ

九、公園一アリ、劇場一アリ、共同便所四アリ、其他住民一般ニ奢侈ニ流レス物價ハ比較的高價ナリ
和歌山縣海草郡湊村
和歌山警察署(大正六年八月一日調)

一、戸數四百八十戸 人口二千三百三十六人
二、昨年八月ヨリ十月中舟内發見虎列刺患者四名陸上發見患者二名アリタルノミニシテ其他著シキ傳染病ノ流行ナシ又地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	チフス	チフス	痘瘡	疥癬	猩紅熱	ジリヤ	ベスト	摘	要
大正元年			一								
同二年			一								
同三年											
同四年			五					九			
同五年	六		二				一				

本年二月發生ノジフテリヤ一名三月全治以來患者ナシ

- 三、電話設備アリ、巡查駐在所アリ、水難救濟所アリ
- 四、旅館一戸收容三十人等級ナシ、浴場、料理店、藝娼妓等ナシ
- 五、傳染病隔離舎一、收容人數四人、設備不完全ナルモ收容ニ差支ナシ、私立病院設備ナシ、隔離舎ハ

海岸ヨリ約二丁其間車馬不通、開業醫ナシ

六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シテハ給水設備ナシ、下水設備ナシ、近年水質ノ検査ヲ行ハサルニ依リ其成績不明

七、屠獸場ナシ同郡岡町村ヨリ生肉ハ販賣シ來ル其質良好ニシテ價モ廉ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣村ニ於テ多量ニ生産ス

八、乗合馬車、人力車、艇舟ナシ
九、當村民ハ奢侈ニ流レス物價ハ廉ナリ

和歌山縣東牟婁郡三輪崎町
新宮警察署(大正六年七月二十三日調)

一、戸數九百四十七戸 人口四千二百十三人
二、既往數年間傳染病ノ著ルシキ流行ナシ又地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	腸	窒	扶	私	バラ	チ	フ	ス	實	布	埴	利亞	摘	要
大正元年				七										
同二年														
同三年								二						
同四年								一						

同 五年

同	五年								
---	----	--	--	--	--	--	--	--	--

- 三、郵便局電信局ノ設アリ、巡查駐在所アリ
 - 四、浴場三軒アリ一時ニ約五、六名收容シ毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館三軒アリテ收容ハ一戸ニ對スル二十人位ニシテ一等、二等ノ區別ナシ但シ木賃宿一戸アリテ毎日三四名收容セリ、藝娼妓等ナシ
 - 五、隔離病舎ノ外他ニ病院ナシ而シテ同舎ハ四十名位收容シ得ル設備アリ同病舎ハ海岸ヲ去ル約三丁ニシテ當町ノ中央ニ位シ新宮町及宇久井村ニ通スル車道大邊路道路アリ
 - 六、水道設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス船舶ニ對シ供給設備ヲ有セス水質ハ検査シタルコトナシ、大字木ノ川ニテハ谷水ヲ以テ飲料水ニ使用ス
 - 七、季節ニヨル夏蜜柑及甘藷ハ相當ニ産出シ魚類モ不足ニ漁獲アリ
 - 八、乗合馬車ナシ、人力車一輛、漁船トシテ發動機十三艘、小舟漁船四十艘
 - 九、住民ノ氣風ハ怠惰ニシテ物價最モ高價ナリ
- 和歌山縣東牟婁郡宇久井村
新宮警察署(大正六年七月廿三日調)
- 一、戸數四百六十一戸 人口二千七百七十五人
 - 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、又地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ
- 最近五年間傳染病患者發生表

年次	赤痢	腸窒	扶私	バラチフス	實布	埜利亞	摘	要
大正元年								
同 二年								
同 三年		一						
同 四年			二					
同 五年				一				

- 三、郵便局及電話ノ設ケアリ、巡查駐在所アリ
 - 四、浴場一戸アリ約十名ヲ收容ス毎日午後五時開始ス毎年六、七、八、九月ニ亘リ休業ス、病舎一等二等ナシ三戸アリ收容概數三名位ニシテ外ニ木賃宿一戸アリ收容概數二名位ナリ
 - 五、隔離病舎ハ一ヶ所ノ設ケアリ一時ニ約十名許リ收容シ得ルナリ海岸ヨリノ距離一丁餘ニシテ設備完全ナリ
 - 六、飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス水質検査ナシ
 - 七、野菜ハ村内ニテ多量ニ生産シ供給潤澤ナリ果實、清涼飲料水等ナシ
 - 八、艇舟五艘アリ車馬ナシ
 - 九、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價高價ナリ
- 和歌山縣東牟婁郡勝浦町
新宮警察署(大正六年七月廿三日調)
- 一、戸數六百九十三戸 人口二千四百六十七人

本州南東岸及南岸 和歌山縣

二、大正五年中猛烈ナル虎列拉病ノ發生ヲ見タル外流行病地方病等ナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	コレラ	瘧疾	私實	布	的	利亞	摘	要
大正元年								
同 二年								
同 三年								
同 四年								
同 五年	一〇							虎疫十名發生十名死亡セリ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查部長派出所及巡查駐在所及水上巡查派出所アリ、警察電話ノ設ケアリ

四、浴場六戸アリ各戸約八名ヲ收容スルコトヲ得、温泉ニハ外ノ湯、越ケ湯、赤島温泉、辨天温泉、カワセ温泉ノ設ケアリ浴客常ニ絶ヘス、毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、但温泉ハ晝夜間斷ナシ、旅舎十軒アリ一、二等ノ區別ナシ收容人員二百四十三人投宿シ得ル見込ナリ、料理屋六戸、藝妓四名、酌婦五名アリテ二ヶ月毎ニ一回醫師ノ健康診斷ヲ受ク

五、私立東病院ノ分院一戸アリ收容約五名本年四月中旬ヨリ休業中、避病院一戸アリ收容人員約十名分院ハ海岸ニ設立シ避病舎ハ同所ヲ距ル約一丁半ノ所ニ位ス、設備稍ヤ完全ニシテ以上ノ人員ナレハ收容差支ナシ

六、水道ノ設ケナシ井戸ハ共同井水ヲ使用ス、船舶ニ對シテハ港内ニ共同井水一戸アルノミ之ヲ給水設備ト爲ス、下水ハ不完全ニシテ街路ノ側ヲ流レ港内ニ放流ス、水質検査ハ施シタルコトナキモ井水ハ

七、野菜ノ供給潤澤ニテ隣村ヨリ産出ス魚類ハ豊富ナリ又氷製造所アリ

八、人力車四アリ、艇二隻アリ、新宮町迄汽車ノ便アリ

九、公園一、劇場一、住民ハ一般ニ狡猾ニシテ奢侈ニ流レ物價頗ル高シ、大阪商船會社ノ汽船急行船及定期船各毎日一回アリ巡行船ノ便アリ、港灣良好ニシテ時々水雷艇巡洋艦ノ入港スルコトアリ、此地風景絶佳ニシテ縣下第一ノ港灣ナリト云フモ過言ニアラサルヘシ

和歌山縣東牟婁郡太地村

新宮警察署(大正六年七月二十三日調)

一、戸數七百六十一戸 人口三千六百五十五人

二、大正三年中病名不詳ノ病發生シ患者總數五六十名ニ達シ多ク死者ヲ出ス又同五年中ニ猛烈ナル虎列拉流行シタリ

最近五ヶ年間傳染病患者發生表

年次	虎列拉	瘧疾	私實	布	的	利亞	摘	要
大正元年								
同 二年								
同 三年								
同 四年								
同 五年								

同	同	同
三	四	五
年	年	年
七	二	一

- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡査駐在所アリ、水難救難所アリ
 - 四、浴場二戸アリ各戸一時二十名收容スルヲ得毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅舎四戸一等等ノ區別ナク約五十名ヲ收容スルヲ得、料理屋四戸、藝妓二名、酌婦二名アリ、二ヶ月毎ニ醫師ノ健康診断ヲ受クルナリ
 - 五、東病院太地分院一ヶ所アリテ約十名ノ患者ヲ收容シ得ルナリ、隔離病舎ノ設ケアルモ稍ヤ不完全ナリ故ニ收容人員十名ニ過キス、何レモ海岸ニ設備アリ
 - 六、井水及谷水ヲ飲料水ニ使用ス、水質検査ナシ
 - 七、野菜ノ供給ハ隣村太田村ヨリ移入ス、魚類ノ産出豊富ナリ
 - 八、人力車五アリ、巡航船二アリ航海ニ便ニス
 - 九、住民ハ氣風一般ニ奢侈ニ流レ物價高シ、本年ハ捕鯨多クアリテ蠅ノ發生多ク、目下驅除督勵中ナリ
- 和歌山縣東牟婁郡下里村
 一、戸數七百八十一戸 人口四千二十八人
 二、既往數年間著シキ傳染病及地方病ノ流行ヲ見ス
 新宮警察署(大正六年七月二十三日調)

最近五ヶ年間傳染病患者發生表

年次	赤	痢	腸	室	扶	私	實	扶	垣	利	亞	摘	要
大正元年													
同 二年											二		
同 三年													
同 四年													
同 五年													

- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡査駐在所アリ、新宮區裁判所下里出張所アリ
- 四、浴場二軒アリ各戸一時約二十人ヲ收容スルヲ得毎日午後二時ヨリ開始スルヲ例トス、旅舎四戸アリテ一等、二等ナシ約四十名ヲ收容スルヲ得、藝妓等ナシ
- 五、避病院ニアルモ設備不完全ナリ收容十名位ハ差支ナシ、海岸ヲ距ル約五丁餘ナリ
- 六、水道設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス、水質検査ナシ下水設備ナシ
- 七、野菜ハ供給潤澤ナラス
- 八、人力車十一、船舟ナシ
- 九、住民ハ奢侈ニ流ル、傾向アリ物價高シ

本州北東岸

The right page of the book contains a faint grid or table structure. The grid is composed of several vertical and horizontal lines, creating a series of rectangular cells. The lines are very light and the overall appearance is that of a ghosted or faded print. The grid is roughly rectangular and occupies the central portion of the page.

福島縣

福島縣石城郡小名濱町

平警察署(大正六年七月十五日調)

- 一、戸數千四百三十八戸 人口七千七百二十四人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
虎列刺					
赤痢					
腸室扶私	一		六	一	五
チフス					
痘瘡					
チフス疹					
猩紅熱					
實布利亞		一			五
ベスト					
摘					
要					
チフスノ内死亡			二	三	二
チフスノ内死亡					
チフスノ内死亡					

本年七月十五日腸室扶私一名發生隔離舎ニ收容ス

- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、水産試験場アリ、巡査駐在所アリ
- 四、浴場七軒各戸一時ニ約十名ヲ收容スルヲ得毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス内二軒ハ朝ヨリ開始ス、旅館一等四戸收容概數二百人二等二戸同八十人三等五戸同百三十人計四百十人、料理店一等一戸、

二、等一戸、妓樓ナシ料理店二軒飲食店十九軒藝妓屋六軒、酌婦十三人藝妓十八人毎月二回藝妓ニ對シテハ健康診断酌婦ニ對シテハ檢査ヲ行フ(警察醫)其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院ニ收容人員ハ中村病院十名久保田病院約八名設備不完全ナリ入院料トシテハ徴收セス等級ノ區別ナク座敷料トシテ一日八錢ヲ徴ス、隔離舎一收容人員十五名設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ私立久保田病院ハ埠頭ヨリ約三丁、中村病院ハ約四丁中村病院ハ軌道馬車ノ側ニシテ久保田病院ハ軌道ヨリ約一丁ヲ距ツ、開業醫七名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ二名(之ヲ私立病院トシテ計上シタリ)

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ木製開渠ヲ通シ市街ノ北方ヲ流ル、小名川ニ放流スルハ市街三分ノ一ニシテ三分ノ二ハ木製開渠ナク海岸ニ放流スル様ナシアルモ甚タ不完全ナリ

水質檢査成績

所在地	種類	外觀臭味	反	應	硫酸	クロール	硝酸	亞硝酸	アムモニア	有機質	石	灰
小名濱町	井水	無色透明	微弱アル	微量	七・七・九・九	微量	檢出セス	檢出セス	九・七・二三	痕		

七、屠獸場ナシ肉類ハ多ク平町ヨリ供給サレアルモ肉類ノ需用多カラス、野菜ハ潤澤ニシテ當町ヨリ每年約二萬五千圓以上ノ輸出ヲナシアリ、果物ハ近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス、清涼飲料水ハ平町ヨリ供給ヲ受ケアルモ平町ニ於テハ製造不足スルカ如キコトナシ

八、軌道馬車二十五、人力車ナシ、解舟百八十八艘アリ

九、公園ハ計畫中、劇場一、共同便所ナシ、公共團體ノ事業トシテノ設備ナシ、住民ノ氣風ハ漁夫多ク從テ質素動モスレハ蠻勇ヲ振フ風アリ

宮城縣

宮城縣宮城郡鹽釜町

鹽釜警察署(大正六年七月二十一日調)

- 一、戸數一千九百九十四戸 人口九千八百十三人
- 二、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五ヶ年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チバチ	痘瘡	發熱私	猩紅熱	實利亞	ベスト	摘	要
大正元年	一	一	八	一			一				
同二年			一								
同三年			六								
同四年			一								
同五年	一							八			

大正六年一月以來實布埵利亞患者十一名發生目下ナシ、二月以來腸窒扶私及同疑似患者四名發生目下ナシ、二月以來バラチフス及同疑似患者十八名發生目下ナシ、六月以來發疹チフス及同疑似患者二十一名發生目下隔離病舎ニ收容中ノモノ四名アリ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、警察署、町役場、登記所、鹽專賣派出所アリ

四、旅館一等二戸收容人員百五十人二等二戸收容人員六十五人三等三戸收容人員九十五人計三百十人、浴場(湯屋)七軒各收容人員二十名毎日午前六時ヨリ午後十時迄公開ス、料理店一等三戸二等三戸三等

九戸、妓樓五戸公娼三十五人檢査毎週一回(木曜日)、料理店十五戸藝妓十名健康診斷ハ組合ニ於テ行ハサルモ隨時警察署ニ於テ行フコトアリ但シ檢査ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノ十五名アルモ漸次

收縮ノ模様ナリ

五、公私立共ニ病院ナシ、避病院一收容人員十五名設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、避病院ハ埠頭ヨ

リ約四丁ニシテ車馬ヲ通ス、開業醫十三名患者收容ノ設備ヲ有スルモノ八名收容人員七十三名

六、水道ノ設備ヲ有ス井水ヲ使用シ居ルハ鹽釜町トシテモ人家輾轉シ居リテ村落ニ接近シ市街ヲ爲サ、ル一部分ニ過キス、船舶ニ對スル給水ノ設備アルモ多少料金ヲ拂ハサルヘカラス、下水ハ不完全ニシ

テ各街路ノ兩側ニ殆ント木製ノ溝渠ヲ通シ間々土管ヲ使用シアル處アリテ市街ノ東端ニアル港灣ニ放

流ス

七、屠獸場ノ設ケナク隨テ生肉ノ供給不完全ナリ然レトモ鮮魚ハ各沿岸ヨリ漁船直接又ハ其他ノ船舶ニ

テ日々輻湊シ魚類ノ供給充分ナレトモ價格ハ比較的高價ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於

テ多量ニ生産ス然レトモ同町八百屋商連ハ陸中釜石方面ニ輸出スルヲ以テ比較的高價ナリ

八、人力車十四輛、遊覽和船二十五艘、モータ四艘、遊覽汽船三艘アリ

九、公園二、共同便所三、住民ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

宮城縣牡鹿郡石巻町

一、戸數三千七百八十戸 人口一萬九千七百五十人

二、傳染病トシテハ數年來腸窒扶私病流行シ年中殆ト絶ユルコトナシ、實布埵利亞、バラチフス、赤痢

等種ニ發生スルコトアルモ流行スルニ至ラス其他ノ傳染病ハ殆ト皆無ナリ又流行病トシテハ麻疹、百

日咳等ナルモ大流行ト云フ程度ニ至ラス終熄セル狀態ナリ、地方病トシテハ「トラホーム」位ノモノニ

シテ他ニ特記スヘキモノナシ

石巻警察署(大正六年七月二十日調)

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸窒扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布埵利亞	ベスト	摘要
大正元年	1	1	22	1	1	1	1	4	1	
同二年	1	1	52	1	1	1	1	1	1	
同三年	1	3	13	1	1	1	1	9	1	
同四年	1	1	56	8	1	1	1	20	1	
同五年	1	1	86	3	1	1	1	9	1	

本年一月腸室扶私發生以來五月六月ニ於テ一時絶エタルモ本月初旬ヨリ又々發生總患者三十二名現在患者十八名アリ

三、裁判所、警察署、稅務署、小林區署、郡役所、北部遞信局海事部、測候所、郵便電信局（電話設備アリ）町役場、米検査所等アリ

四、浴場（湯屋）一等三軒各戸一時ニ六十名、二等十軒各戸一時ニ三十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前六時（朝湯）ヨリ午後六時迄公開スルヲ例トス、旅館一等三戸收容概數百八十名二等十戸收容概數四百名計約六百名、料理屋一等九戸二等三十一戸計四十戸待合茶屋二戸、妓樓（貸座敷）四戸公娼二十三名每週一回（木曜日）驅梅院長ノ檢査アリ料理屋四十戸藝妓屋七戸、藝妓三十名時宜ニ依リ健康診斷、檢査ヲ行フ其他料理店雇女（酌婦炊婦等ノ如キ）ニシテ私娼ヲ爲スノ疑アリト思料セラル、モノ約百四十名、毎月二回（五日、二十日）組合囑託醫師ノ健康診斷ヲ受ケシメアリ

五、町村組合公立病院一、收容人員八十名、設備稍ヤ完全、入院料一等金五十錢、二等金三十五錢、三等二十錢、四等十五錢、私立病院一、收容人員約三十名設備稍ヤ完全、入院料一等金四十五錢、二等三十五錢、（何レモ自炊入院料ニシテ公立病院ハ希望ニ依リ各等相當ノ賄仕出ノ設備アリ）隔離病舎一收容人員約四十名、設備稍ヤ完全ニシテ收容上支障ナシ、汽船發着所ヨリノ距離隔離病舎ハ約十五丁公立病院、私立病院へ各四丁位ニシテ何レモ車馬ノ便アリ、町内開業醫十名内患者收容ノ設備アルモノ八名收容人員計約八十名外ニ患者收容病室設備計畫中ノモノアリ

六、本町ニハ水道ノ設備ナク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ漸ク需用ニ充ツ船舶ニ對シテモ給水設備ヲ有セ

ス故ニ出入船舶ハ他ノ港灣ニ於テ採水シ來ル狀況ニシテ愈々缺乏ノ場合ニハ町内一二ノ井水ヲ汲ミ取リ一時ヲ補充スルコトアリ（該供給水ノ檢査成績左表參照）下水ハ不完全ニシテ市街各所ニ滯留シ僅カニ土製樋管ニヨリ北上川ニ放流セシメアル狀態ナリ

水質檢査成績

種別	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	明治四十三年十二月	石巻町門脇町	清			多量		〇・三〇		痕跡	多量	八・六九	否
同	同	同町野山	同			同		痕跡		同	同	五・六九	否

七、市外村落ニ屠獸場一ヲ有シ屠牛ハ稀ナルモ冬季ハ一日平均三四頭ノ屠豚ヲ爲シ生肉ヲ供給シ其質良好ニシテ價格亦普通ナリ夏季ハ屠獸稀レナルモ鮮魚及野菜ノ供給潤澤ニシテ魚類ハ附近海濱及金華山沖合野菜ハ近隣村落ニ於テ多量ニ生産ス、果實清涼飲料水等ハ概ネ輸入ナルモ果實中梨、林檎、桃ハ近隣村落ニ於テ相當生産アリ又市内ニハ清涼飲料水製造所一アリテ他郡町村ニ迄供給シ居ル狀況ナリ

八、乗合馬車一、（車數五ヲ有シ軌道ヲ用フルモノニシテ石巻渡波間ヲ一時間毎ニ運轉ス）人力車數六十

二、舢舨ナシ、鹽釜、牡鹿半島方面定期航行ノ汽船發動機船アリ

九、公園二、劇場一、活動寫眞常設館一、郡立女學校一、町立商業學校一、小學校四、同分教場二、町立圖書館一、町經營ノ海水浴場一、貸席一、共同便所（公設）三、及内務省仙臺土木出張所石巻工場同機械工場等アリ、住民ハ概シテ質朴ニシテ進取ノ氣象ニ乏シキ嫌ヒアリシカ漸次進化シ稍ヤ奢侈ニ流

レントスル傾向ヲ示シ來レルカ如カリシモ近時ニ至リテハ自省シ種々地方發展ヲ畫シツ、アルモノ、如シ、物價ハ交通關係上比較的高價ナリ

宮城縣牡鹿郡荻濱村

石卷警察署(大正六年七月十九日調)

- 一、戸數七百七戸 人口四千三百九十八人
- 二、大正五年六月ヨリ同年十二月迄ノ間ニ腸室扶私患者二十九名發生セシモ本年ニ至リテハ皆無ニシテ豫防注射施行ノ效果ト認メラル流行病、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ、傳染病患者發生シ蔓延ノ徵アル場合ハ隔離病舎ニ收容スルノ措置ヲ執リ居レリ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
赤痢	一	一	一	一	一
腸室扶私	二	八	一	一	二九
痘瘡	一	一	一	一	一
發疹	一	一	一	一	一
猩紅熱	一	一	一	一	一
實布	一	一	一	一	一
ベスト	一	一	一	一	一
摘要	一	一	一	一	一

本年三月實布埵利亞發生以來患者八名トナリシモ現患者ナシ

- 三、郵便電信局、巡查部長派出所、巡查駐在所二、村役場及縣立燈竿等ノ設備アリ其他田代島ニハ無集

配郵便局一アリ

- 四、浴場(湯屋)一戸一時ニ約五十人ヲ收容スルヲ得、毎日午後五時頃ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等一戸收容概數百五十名、二等二戸二百四十名(荻濱村荻濱)外ニ同村小部落濱ニ二等三戸各五十人位ツツヲ收容スルヲ得、料理屋三等二戸其他ナシ、公娼ハ勿論私娼等モナシ
- 五、隔離病舎一、收容人員六十名、設備稍ヤ完全ニシテ收容ニ支障ナシ、而シテ埠頭ヨリ距離約三十間ニシテ車馬ノ便ナキモ通行自由ナリ、開業醫二名アルモ患者收容ノ設備ナシ、外ニ同村田代島ニ隔離病舎一アリ收容人員三十名、設備不完全ニシテ收容不可能ノ狀態ニ在リ改修ヲ要ス、同島ニ開業醫一アルモ患者收容ノ設備ナシ
- 六、飲料水ハ井水及流水ヲ用シ水道ノ設備ナシ船舶ニ對シ給水設備ナキモ給水ハ充分ナリ、下水ハ不完全ニシテ軒下ノ小溝ヨリ小川ニ放流ス(村内各部落濱同然ナリ)

水質検査成績

種別	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	明治四十四年一月	荻濱村	清	無	中性	微量	一	一	一	一	一	微量	適

- 七、生産ハ殆ト皆無ナリ然レトモ汽船、帆船等ノ便アルヲ以テ急速ニアラサル限リハ購買供給スルヲ得其程度モ相當需用ニ應スルコトヲ得
- 八、車馬ナシ、舢舨ハ平常數十艘アリテ至便ナリ

九、村内ニ小學校七、分教場二アリテ殆ント各部落濱ニ在リ然レトモ高等小學校ハ萩濱ニ在ルノミ他ハ尋常小學校ナリ、住民ハ一般ニ質朴ニシテ専ラ漁業ニ従事シアリ、物價ハ交通關係上比較的高價ナリ

宮城縣本吉郡氣仙沼町

氣仙沼警察署(大正六年七月二十日調)

一、戸數一千五百八十三戸 人口八千二百八十八人
 二、既往大正元年以來大正四年三月三十日ノ大火災ニテ本町市街地ノ大部分燒失後不衛生的ノ衣食住ヲナシタルタメ左表ノ如ク多數ノ腸チフス及其他ノ傳染病患者續發シ隔離病舎ニ收容シ同年末ニ至リ漸ク終熄シタルモノニシテ其前後即チ大正元年、二年、三年、五年ノ四ヶ年間に著シキ傳染病及地方病ノ流行ナク僅カニ散發的ニ發生シタルニ過キス

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
赤痢	1	1	3	7	3
腸チフス	1	16	16	60	20
バチラ	1	1	1	6	1
痘	1	1	1	1	1
發疹	1	1	1	4	1
猩紅熱	1	1	2	1	1
質布	2	1	3	10	11
ベスト	1	1	1	1	1
捕					
要					

一、大正三年中ノ腸チフス患者十六名中四名ハ氣仙沼町外七ヶ村組合病院外四名ハ町隔離病舎へ收容シ其他ハ自宅ニ隔離治療シタリ、二、大正四年五年中ノ赤痢、腸チフス、バラチフス、發疹チフス、猩紅熱患者ハ全部町隔離病舎及同上組合病院へ收容治療セシメタルモノナリ

三、一、氣仙沼郵便局(電信取扱局)電話設備ナシ、二、同上警察署(警察専用電話設備ス)、三、氣仙沼町役場(電話設備ナシ)、四、氣仙沼區裁判所(警電枝線)

四、(イ)湯屋八軒一戸一時ニ男女二十名(各十名宛)全部一時ニ百六十名ヲ收容シ得ヘク毎日午後三四時(一定セス)開始スルヲ例トス、(ロ)旅館ハ等級ヲ定メサルモ設備待遇等ヨリ區別セハ左ノ如シ、一等二戸收容概數六十一名、二等五戸收容概數八十五名、三等七戸收容概數五十三名、(ハ)料理店一等二戸、二等九戸、三等十八戸(以上モ等級一定セス設備其他客ノ種類ニ依リ區別ス)(ニ)貸座敷一軒、公娼四名、毎週木曜日一回檢査ス、料理店二十九軒藝妓六名酌婦四十七名炊婦二十一名此等ニ對シテハ傳染性疾患ノ疑アリト認ムルモノハ何時ニテモ健康診斷書ノ提出ヲ命シ同業組合囑託醫又ハ他ノ醫師ノ健康診斷ヲ勵行セシムル外檢査セス其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、一、飯田私立病院收容人員三十人設備完全ス入院料一日賄付一等金一圓、二等同上金七十五錢其他ノ三等ハ貸室自炊セシム室料無料、二、氣仙沼私立病院收容人員十五人設備不完全入院料等級ナク貸室自炊セシム一日十五錢、三、氣仙沼町外七ヶ村組合病院收容人員八十人設備稍完全ス病室ハ貸與自炊セシム一日一等金二十錢、二等十二錢、三等六錢、傳染病室ハ等級ナク一日一圓五十錢ヲ徴ス、四、氣仙沼隔離病舎收容人員三十人設備稍々完全收容ニ支障ナシ、(一)私立飯田病院ハ港口三陸汽船

會社棧橋ヨリ二丁ヲ距ル市街地、(二)私立氣仙沼病院ハ同上ヨリ八丁ノ市街地高臺、(三)氣仙沼町外七ヶ村組合病院ハ港口東南岸何レモ車馬ヲ通スルニ便ナリ、(四)氣仙沼町隔離病舎ハ同上ヨリ十七丁ノ市外山間、開業醫四名患者收容ノ設備ヲ有スルモノ二名收容人員二十名ニ過キス

六、水道ノ設備ナシ、飲料水ハ井水及泉水ヲ使用シ居リ良井水百二十個、不良ニシテ煮沸ヲ要スルモノ六十個良泉水(簡易竹樋水道即チ引水)六十七個、不良ニシテ煮沸ヲ要スルモノ一個、船舶ニ對シ給水設備ヲ有セサルモ石油發動漁船ノ給水ハ海岸通市街地ノ共同井水ヲ以テス、下水ハ市街地下中央ヲ貫流港口ニ放流スル大堀ニ各町下水(石垣溝渠下水)流下シ稍々完全ニ近ク當時着々改善中ナリ、水質検査成績ハ大正四年三月三十日ノ火災ノ際關係書類全部焼失ニ付掲記スルヲ得ス

七、一、町内外ニ屠獸場ヲ有セサルヲ以テ冬季ニ限り遠ク岩手縣一ノ關町及盛町地方ヨリ豚牛生肉ヲ輸入販賣スルモノ十名内外アリテ隔日ニ豚肉二、三頭位ヲ供給ス而シテ牛肉ノ如キ肉質何レモ不良且ツ價格比較的高價ナリ、二、清涼飲料水製造者一名ラムネ、シヤンピンサイダーヲ製造販賣ス、三、野菜ノ供給ハ稍々潤澤ニシテ隣村新月村ニ於テ多量ニ生産ス

八、一、乗合馬車六臺(自氣仙沼町至岩手縣千厩町、自氣仙沼至本吉郡御岳村津谷)二、人力車十臺、三、石油發動渡船(自氣仙沼至松岩村尾崎及大島村、自氣仙沼至唐桑村)

九、(イ)公園設備ナシ、(ロ)劇場一觀客人員一千五十人、(ハ)共同便所ハ町役場管理三ヶ所、個人管理三十三ヶ所アリ、(ニ)氣仙沼町立圖書館一アリテ同町小學校内ニ設置町費ヲ以テ維持經營ス、(ホ)一般人民ノ氣風ハ奢侈ニ流ル、ニアラサルモ一攫千金の漁民氣質ニシテ酒色ニ消費シ蓄財觀念ニ乏シ

且ツ物價ハ一般高價ナルモ漁獲アレハ何等之ヲ顧慮セサルモノ、如シ

岩手縣

巖手縣下閉伊郡宮古町

宮古警察署(大正六年七月九日調)

- 一、戶數 戶 人口 人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ、地方病トシテ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	チフス	猩紅熱	瘧疾	實扶	ベスト	摘	要
大正元年	一											コレラ隔離病舎へ收容 其他自治療
同二年												赤痢發疹チフス病舎ニ 收容其他自宅治療
同三年		七										赤痢發疹チフス病舎ニ 收容其他自宅治療
同四年												自宅治療
同五年		二										赤痢隔離病舎ニ收容其 他自宅治療

本年ニ入りテハ三月實扶瘧疾一名發生シタルノミナリ

本州北東岸 岩手縣

- 三、警察署一、巡査派出所一、區裁判所一、稅務署一、小林區署一、郡役所一、町役場一、測候所一、郵便局二、電話ノ設備アリ
- 四、浴場四軒各軒一時ニ約二十五名位ヲ收容セシムルヲ得、毎日午後三時開始スルヲ通例トス、旅館一
等一戸收容概數六十名二等一戸收容概數四十名三等七戸收容概數百八十五名計二百八十五名ヲ收容シ
得ヘシ、料理店二等二戸、三等八戸、計十戸、各料理店酌婦十六名ニ對シテハ毎月二十日ノ一回相互
保健組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢査ヲ行ハス公娼ハ勿論私娼ト認ムヘキモノナシ
- 五、公私立病院共ニナシ、隔離病舎一アリ設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ約四十名ノ患者ヲ收容シ得
歟ケ崎町埠頭ヨリ約十丁車馬ヲ通ス、開業醫二名、漢法醫一名アリ、開業醫一名ハ收容人員十名ノ設
備アリ
- 六、水道ノ設備ヲ有セス飲料水ハ悉ク井水、引水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス下水ハ不完全
ニシテ各街路ノ兩側或ハ片側ニ木製又ハ石垣等ノ開渠ヲ通シ宮古灣ニ放流ス、水質檢査ハ明治三十四
五年頃行ヒタルコトアリト云フモ其ノ後水質檢査ヲ行ヒタルコトナキヲ以テ目下成績不明ナリ
- 七、市外ニ屠畜場一戸アリ冬季ハ三十四、五頭ノ屠牛ヲナシ夏季一頭モナシ、野菜ノ供給ハ近在ヨリ町
内ヘ持チ來リ甚タ不足ニシテ近隣ノ生産少量ナリ、昨年五月ヨリ九月ニ至ル清涼飲料水(ラムネ、サ
イダー)ハ十六石九斗五升六合ニシテ年々ノ製造高之ニ比例ス
- 八、自動車一臺、人力車三臺、舢舨一艘アリ
- 九、公園ナシ、劇場一、共同便所五、公共團體ノ事業トシテハ見ルヘキモノナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ

質朴ニシテ物價ハ總テ比較的高價ナリ

岩手縣下閉伊郡鐵ヶ崎町

宮古警察署(大正六年七月十八日調)

一、戸數八百七十八戸 人口四千四百四十一人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實利亞	ベスト	摘	要	
同	一	二	四	九	一七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	コレラ隔離病舎ニ收容 其他自宅治療	
同	一	一	二	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	赤痢隔離病舎ニ收容其 他自宅治療	
同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	自宅治療	
同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	自宅治療	
同	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	隔離病舎ニ收容	

本年ハ傳染病患者ノ發生ナシ

三、郵便局一、町役場一、巡査派出所一、電話ノ設備アリ

四、浴場三軒各戸一時ニ約二十名ヲ收容セシムルヲ得毎日午後三時開始スルヲ例トス、旅館三等一戸收
容概數約三十名、料理店一等二戸二等四戸三等十一戸計十七戸ヲ有ス、妓樓十二軒公娼四十一名其ノ
檢査毎週一回料理店十七軒藝妓五十五名毎月一回組合醫師二名ノ健康診斷ヲ受クルモ檢査ハ行ハス其

ノ他私娼ト認ムヘキモノナシ

- 五、私立官立病院及避病院等ノ設備ナシ、隔離病舎一アリ設備不完全ナルモ收容ニ支障ナク約四十名ノ患者ヲ收容スルコトヲ得海岸ヨリ距離約四丁アリ、開業醫二名アルモ何レモ患者收容ノ設備ヲ有セス
- 六、水道ノ設備ヲ有セス飲料水ハ悉ク井水引水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側或ハ片側ニ木製及石垣等ノ開渠ヲ通シ市街ノ中央或ハ片側ヲ流レテ宮古灣ニ放流ス水質ノ検査ハ明治卅四、五年頃之ヲ行ヒタルモ其ノ後水質ノ検査ヲ行ヒタルコトナキヲ以テ目下成績不明ナリ
- 七、野菜ノ供給ハ甚タ不足ニシテ近隣町村ニ於テモ亦生産少量ナリ
- 八、人力車四、艇舟五艘アリ
- 九、公園、劇場、活動寫眞常設館等ノ設備ナシ又公共團體ノ事業トシテ設備シタルモノ更ニナク共同便所二ヶ所アリ住民ノ氣風ハ一般ニ純朴ニシテ奢侈ニ流レヌ物價ハ總テ高價ナリ

岩手縣下閉伊郡山田町

宮古警察署(大正六年七月十四日調)

- 一、戸數九百廿八戸 人口四千九百十六人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	チフス疹	猩紅熱	瘧疾	實利亞	ベスト	摘	要
大正元年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 二年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 三年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 四年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 五年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

本年七月三名ノ腸室扶私患者發生シ自宅治療ヲナシタルニ續發ノ傾向ナシ

- 三、郵便局一、裁判所出張所一、町役場一、警部補派出所一アリ、警部補派出所ニハ管内ニ通スル警察電話アリ
- 四、浴場四軒各戸一時ニ約五十名ヲ收容スルヲ得毎日午前六時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館二等二戸收容概數各五十名三等四戸收容概數各五十名計三百名、料理店二等四戸三等六戸、妓樓四軒、公娼十七名檢査毎週一回(土曜日)料理店十軒、藝妓四名、酌婦二名毎月一回(廿日)保健組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢査ヲ行ハス、其ノ他私娼ト認ムヘキモノナシ
- 五、病院避病院ノ設ケナク開業醫三名アルモ患者收容ノ設備ナシ埠頭ヨリ約二三丁ヲ隔ツ
- 六、簡易水道ノ設備アリ主トシテ全町飲料水ニ供シ井水及泉水ヲ使用スルモノ少ク單ニ夏季ノ候ニ於テ需用ニ充タサル場合ニ泉水或ハ井水ヲ用ユルコトアリ水源豊富ナラス、下水ハ街路兩側ニ設ケアルモ完全ナラス市街ノ中央ヲ流ル、西川ニ放流シ或ハ直ニ山田灣ニ注ク

水質検査成績

(採取年月日ハ大正四年一月十七日)

種類	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	石灰	飲料適否
井水	山田町	透明	無	中性	少量	痕跡	微量	無	無	微量	痕跡	適
泉水	山田町	同	同	同	痕跡	無	同	同	同	痕跡	微量	同
水道	山田町	同	同	同	同	微量	痕跡	同	同	同	同	同

七、屠畜場ナク冬季ニ於テ僅カニ宮古町ヨリ仕入レ請賣ヲ爲スモノニ、三アルニ過キスシテ供給量少ナシ魚類ハ時期ニ從ヒ需ムルモ至リテ潤澤ナラス清涼飲料水ハ主トシテ東京市或ハ仙臺市等ヨリ輸入スルモ豪商ナク從テ供給能力他地方ニ比シ著シク劣レリ

八、車馬船舟ナシ

九、公園ナシ、假設劇場一アルモ演劇ノ開カル、事稀ニシテ其ノ他ニ於テモ慰安ヲ能フヘキ設備ナシ、住民ハ氣風一般ニ質朴ニシテ外來ノ客ヲ喜フモ好遇スル途ヲ知ルモノ少ク客人ヲシテ倦カシムルコトアリ、物價ハ交通不便ノ結果比較的高價ナリ

岩手縣上閉伊郡釜石町、同縣同郡大槌町

釜石警察署(大正六年七月二十日調)

一、釜石町戸數四千二百九十五戸 人口二萬〇九百二十二、大槌町戸數壹千三百九十二戸 人口九千二百二十五人

二、釜石町ハ明治四十三年ヨリ傳染病流行繼續シテ本年ニ至リタルモノニシテ腸壁扶私ハ殆ント絶ハス

シテ地方病タルノ憾アリ大槌町ハ釜石町ニ比シテ傳染病患者少シ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	町別	赤痢	腸壁扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	瘧疾	ペスト	虎列刺	摘	要
大正元年	釜石	二二	二八									
	大槌	七	八									
同二年	釜石	三	六七									
	大槌	一	四三									
同三年	釜石	一	八〇	一		七八						
	大槌	一	一二三									
同四年	釜石	六	四二			三〇						
	大槌	一	一七									
同五年	釜石	二	一三五	三			一					
	大槌	一	一三									

本年七月釜石町腸壁扶私ノ隔離病舎ニ收容患者二十二名、大槌町ニハナシ

三、郵便電信局一、警察署一、町役場一、巡査派出所三、救護所ナシ(以上釜石町)、郵便電信局一、巡査派出所一、町役場一、救護所ナシ(以上大槌町)

四、釜石町浴場十一戸各戸一時二十五名ヲ收容ス毎日午後三時ヨリ開始ス(朝湯三)、旅館一等二戸、收

容概數三十五人二等三戸收容概數五十人三等七戸收容概數八十二人外ニ下宿屋四收容概數三十人、料理店一等二戸二等一戸三等二十戸、妓樓六戸娼妓四十人毎週一回十曜日檢徵ス料理店二十三戸娼妓十五人診斷ハ毎月一回受クルモ檢徵セス其他私娼ト認ムヘキモノナキモ疑ハシキモノ酌婦雇人四十人位アリ

大槌町旅人宿一、二等ナシ三等五收容概數四十五人、料理店一二等ナシ三等五戸、妓樓二娼妓六人毎週十曜日一回檢徵ス、藝妓四人毎月一回診斷ヲ受クルモ檢徵ヲ受ケス其他私娼ト目スヘキモノナキモ酌婦雇人ニシテ疑ハシキモノ七名位アリ

五、私立病院一、醫學士三、得業士四、其他三

六、釜石町ノ一部(澤村)ニ水道ノ設備アルモ昨年七月ノ大火ノ爲メ破損目下使用中中止中飲料水ハ概ネ堀抜井戸ヲ使用シ深水ヲ使用スルモノハ其ノ一部分ニ過キス船舶ニ對シテハ公的ノ給水設備ヲ有セス只僅カニ私的關係ノ給水設備ノ小規模ナル設ケアリ

大槌町ニハ水道ナシ下水ノ設備アリ給水設備ナシ水質檢査ハ試藥ナキ爲メ記入スルヲ得ス、但シ昨年檢査ノ結果ハ何レモ飲料水ニ適ス

七、當縣下ニハ屠獸場ナシ四季ヲ通シテ遠野町屠獸場ヨリ供給ヲ受ケ販賣ス其實ハ頗ル良好價格ハ比較的安價ナリ野菜ノ供給潤澤ト云フニハアラサルモ普通ナリ大槌鶴住釜石町ノ幾部及甲子村ニアリテハ將來移入防止ノ目的ニテ本年ヨリ熾ンニ獎勵シアリテ廉價ナリ特ニ本年ヨリ人造製氷所アリテ頗ル便宜ナリ

八、釜石町人力車七臺、舩舟三アリ(但シ營業者ノミ)、大槌町人力車ナシ、舩舟十アリ

九、釜石町公園ナシ、劇場一、活動寫眞常設館二、共同便所一、圖書館ナシ住民ノ氣風概シテ身分不相應ノ憾アルモ奢侈ト云フ程ニアラス物價比較的高價ノ方ナリ、大槌町公園一、劇場ナシ、活動常設館ナシ、共同便所ナシ、圖書館ナシ、氣風質朴ニシテ何等弊風ナク物價頗ル安價ノ方ナリ

本州北岸及北西岸

青森縣

青森縣青森市

青森警察署(大正六年七月二十三日調)

- 一、戸數一萬〇四百五十二戸 人口五萬一千八百九十四人
- 二、

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	室扶私	痘瘡	室扶私	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年	一	五三	四八	一	一	一	三	一五	一		
同二年	一	四八	一〇五	二五	一	七三	二	一四	一		
同三年	一	五	一〇五	二五	一	七三	三	四二	一		
同四年	一	九	五一	二六	一	五七	二	六六	一		
同五年	一	四	二九	二七	一	一	二	四〇	一		

本年度六月迄發生ノ分腸室扶私七、バラ室扶私一、實扶埤利亞二九、猩紅熱四、其他ナシ、腸室扶私病現患者ハ全部市内ノ公私立病院傳染病室ニ收容中

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、水上巡查派出所救難所アリ

四、浴場二十三軒各戸一時ニ約四百名ヲ收容スルヲ得毎日午前六時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等六

本州北岸及北西岸 青森縣

戸收容概數二百四十名、二等十戶同三百十名、三等十五戶同三百五十名計九百名、料理店一等二戶、二等二十一戶、三等三十二戶、妓樓二十一軒、公娼九十三名檢徽每週一回(金曜日)、料理店五十五軒、一等藝妓百〇四名、四等藝妓四十九名健康診斷及檢徽ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、縣立病院一、私立病院二、收容人員縣立病院普通患者九十八名、傳染病患者十二名、私立長尾病院普通患者十六名、傳染病患者八名、同神病院普通患者二十七名、傳染病患者ナシ入院料縣立病院特等二圓、一等一圓五十錢、二等一圓、三等六十錢、長尾病院一般入院料一圓二十錢、傳染病一圓八十錢、神病院一等一圓六十錢、二等一圓三十錢、三等一圓、避病院一收容人員二十七名設備完全ナリ、縣立病院ハ埠頭ヨリ約十町、長尾病院ハ約十四町、神病院ハ約三町、避病院ハ約二十町何レモ車馬ヲ通ス開業醫三十一名、内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ十二名、收容人員計百〇八名ナリ

六、水道設備アリ飲料水ハ悉ク水道ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有ス下水ハ各街路ノ兩側ニ木製又ハ石材ヲ以テ開渠ヲ通シ市街ヲ流ル、河川ニ放流ス

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	濁濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモ	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
水道水	六月廿三日	水源池	透明	無	アルカリ	微量	無	無	無	無	無	無	適

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日平均二乃至四頭夏季ハ隔日ニ一頭弱平均ニ屠牛ヲ爲シ生肉ヲ供給シ其質良好ニシテ價格モ比較的廉價ナリ、清涼飲料水ラムネハ一日平均製造高三千五百乃至三千八百

本サイダー約一千本ストロベリー約三百本ニシテ供給能力充分ナリ、果物及野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス

八、乗合馬車十一、人力車百六十五、舢舨九十一艘アリ

九、公園一、劇場一、活動寫眞常設館三、公共便所十八、公共團體ノ事業トシテ青森市立青森圖書館アリ、住民ノ氣風ハ質朴ナルモ物價ハ地位上比較的高價ナリ

青森縣東津輕郡野内村大字淺虫

青森警察署(大正六年七月十九日調)

- 一、戸數二百九十一戸 人口一千百九十二人
- 二、

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
虎列刺					
赤痢					
腸管扶私			一〇		
チフス					
痘瘡					
發疹					
猩紅熱					
質布					
ベスト					
摘					
要					

大正四年四月實布埜利亞患者一名發生後爾來續發患者ナシ

- 三、三等郵便局アリ、電信及特設公衆電話ヲ取扱フ、巡查部長派出所アリ
- 四、旅館一等一戸收容概數百名、二等四戸同二百名、三等三戸同六十名計三百六十名、公開溫泉浴場十九戸各戸一時ニ約五百名ヲ收容スルヲ得開閉時間ニ制限ナシ、料理店一等一戸、二等三戸、三等三戸妓樓ナシ、藝妓二等二名、四等七名健康診断及檢微ヲ行ハス其他私娼ト認ムルモノナシ
- 五、公私立病院ナシ、開業醫一名患者收容ノ設備ヲ有セス、避病院一收容人員十名設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、避病院ハ埠頭ヨリ四町車馬ヲ通セス
- 六、飲料水ハ簡易水道ヲ使用シ居ルモ辛フシテ住民ニ給水シ得ルニ過キスシテ船舶ニ對スル給水設備ヲ有セス、下水ハ市街ヲ流ル、河川ニ放流シ其設備完全ナラス

水質検査成績

種類	採取月日	清濁色	採取場所	臭味	反應	クロール	石灰	アモニアム	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
簡易水道	大正三年十一月二日	透明	水源池	ナシ	ナシ	二四・〇	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	八・二〇	適

- 七、屠獸場ナシ、清涼飲料水ハ青森市ヨリ果物、野菜類ハ近隣村落ヨリ生産スルモ物價ハ比較的高價ナリ
 - 八、乗合馬車人力車舢舨等ナシ
 - 九、公園劇場共同便所公共團體事業等ナシ住民ノ氣風ハ質朴ニシテ物價ハ一般ニ高價ナリ
- 野邊地警察分署(大正六年七月二十一日調)
- 青森縣上北郡野邊地町

- 一、戸數一千五百五十四戸 人口一萬四百五十人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
年次	同	同	同	同	同
虎列刺	一〇	三	七	一	二
赤痢	一	一	一	一	一
腸室扶私	一	一	一	一	一
チフス	一	一	一	一	一
痘瘡	一	一	一	一	一
發疹チフス	一	一	一	一	一
猩紅熱	一	一	一	一	一
質布	一	一	一	一	一
ベスト	一	一	一	一	一
摘	一	一	一	一	一
要	一	一	一	一	一

- 本年一月腸チフス患者一名發生セルモ二月一日ニ於テ全治爾來續發患者ナシ
- 三、郵便局、小林區署、帝室林野管理局東京支局野邊地出張所、登記所等アリ、電話ノ設備アリ
 - 四、浴場二軒各戸一時ニ約三十名ヲ收容スルヲ得毎日正午十二時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館十戸收容概數百七十四名ニシテ等級ノ區別ナシ、料理店四戸等級ノ區別ナシ、妓樓十軒、公娼二十九名檢微每週一回(土曜日)料理店四軒、藝妓五名ニシテ健康診断及檢微ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ
 - 五、私立病院ナシ、避病院一收容人員十二名稍ヤ完全ニシテ收容ニ支障ナシ而シテ海岸ヨリ約三町ノ距離ヲ有シ車馬ヲ通ス、開業醫三名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ一名收容人員六名

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ木製開渠ヲ通シ居ルモ水不足ノ爲メ流水セス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正四年七月十五日	野邊地町	無色透明	ナシ	中性	一〇二		ナシ		ナシ		五・三七	適
同	同	同	同	同	同	八二		ナシ		ナシ		三・一六	同

- 一、酒造業野坂與次兵衛²ハ野村安太郎ノ井水ニテ船舶ニ供給シアルモノナリ
- 七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日三四頭ツ、ノ屠殺ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其質稍ヤ良好ニシテ價格モ他地方ニ比シ割合ニ廉價ナリ而シテ毎年五月頃ヨリ十月頃迄ノ間ハ毎月一、二頭ヲ屠殺スルニ過キス野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣部落ニ於テ多量ニ生産ス
- 八、乗合馬車二、人力車十一、艇舟四艘アリ
- 九、公園一、共同便所二、劇場及活動寫眞常設館ナシ、公共團體ノ事業ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ質素ニシテ物價ハ他地方ヨリ比較的高價ナリ

秋田縣

秋田縣山本郡能代港町

能代警察署(大正六年七月十三日調)

- 一、戸數三千三百七十七戸 人口一萬六千五百三十九人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	摘要
大正元年		一一	一〇	二			五七	四六	
同 二年			七六	六			一六	二八	
同 三年		二	六二	一七		三四		四三	
同 四年			二三	一				三五	
同 五年	二		九六	八	一	九		二八	

- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ
- 四、浴場九軒各戸一時ニ約三十名ヲ收容スルヲ得毎日午前六時ヨリ午後九時迄開始スルヲ例トス、旅館一等二戸收容概數百六十名、二等三戸收容概數六十名、三等二戸收容概數三十名、料理屋八戸内一等三戸六十名、二等三戸四十名、三等二戸八名、妓樓十八戸、公娼八十名檢査毎週二回(二、七日)藝妓十七名毎月組合ニ於テ自衛健康診斷ヲ受ク、其他私娼ト認ムヘキモノナシ
- 五、私立病院三、收容人員百五十名、松野病院約四十名設備完全ナリ、入院料特等二圓、一等一圓五十

錢、二等一圓二十錢、三等一圓、避病院一、收容人員八十名設備完全ニシテ收容ニ支障ナシ、松野病院ハ埠頭ヨリ約十五町車馬ノ交通支障ナシ、開業醫五名何レモ收容ノ設備ヲ有スルモノナリ收容人員計百五十名

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ街路ノ兩側ニ木製開渠アルモ不完全ナリ汚水ハ米代川ニ放流ス、水質検査成績ナシ

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日平均四頭位夏季ハ殆ント無シ冬季ハ馬肉多ク牛肉ハ殆トナシ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣村ニ於テ多量ニ生産ス

八、乗合馬車二、人力車五五、舢舨一三艘アリ

九、公園アリ、劇場一、活動寫眞常設館一、共同便所八、山本郡圖書館アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的廉價ナリ

秋田縣南秋田郡船川港町

船川警察分署(大正六年七月十四日調)

一、戸數九百三十九戸 人口六千二百八十二人

二、既往數年間著シキ傳染病流行ナシ唯大正三年中腸室扶私流行シタルコトアルモ甚タシキコトナク特ニ地方病ト認ムルモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
虎列刺					
赤痢		二			
腸室扶私	一		一五	三	一
チフス			二	一	
痘瘡					
發疹			六		
猩紅熱					
實利亞					四
ベスト					
摘					
要					

三、郵便局一、(電信ノ設備アリ)警察分署一、町役場一、小學校一、停車場一、築港事務所一

四、浴場(湯屋)三軒各戸一時ニ五十人ヲ收容スルコトヲ得、毎日午後三時ヨリ開始スルヲ通例トス、旅館十軒各戸ニ收容概數平均約七十名位、料理屋九軒、飲食店三軒、藝妓屋一軒、藝妓二名、公娼ナシ酌婦及料理屋下女三十七名是等ハ毎月三回組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモノトス

五、病院避病院ナシ、開業醫三名患者收容ノ設備ナシ

六、水道ノ設備ナク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ居ルト雖モ、夏季ニ至レハ飲料水殆ト缺亡シ町民ノ需用ニモ足ラヌ狀況ナリ故ニ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス水質亦不良ノ方ナリ、下水ハ不完全ナルモ各街路ノ兩側ニ石又ハ木ノ開架ヲ設ケ直チニ海中ニ放流ス

七、市外ニ屠獸場其ノ他生肉ヲ供給スル所ナシ果物清涼飲料水等ノ生産モ尠ナク生糧品ノ購求ニハ甚タ至難ノ處ナリ、野菜ハ近隣町村ヨリ生産シ比較的廉價ナリ

八、乗合馬人力車ナシ、舢舨二十三艘位、漁船八艘アリ

九、公園、劇場、活動寫真常設館、共同便所、文庫圖書館等ノ設備一切ナク未開地タリ、住民ノ氣風ハ一般質朴ノ方ナリ物價比較的高價ナリ

秋田縣南秋田郡土崎港町

土崎警察署(大正六年七月二十二日調)

一、戶數三千七百七十五戶 人口一万五千三十六人

二、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	發疹	猩紅熱	實布	摘	要
大正元年	—	四	三九	二	—	—	三六		
同二年	—	—	九一	—	—	—	四九		
同三年	—	—	六三	—	—	—	—		
同四年	—	一	八八	二	一八	—	四九		
同五年	—	—	—	—	—	—	—		

自大正六年一月至六月迄ノ間ニ於テ腸室扶私患者八名發生セルモ避病院ニ收容ノモノナク爾來續發患者ナシ

三、郵便電信局(電話設備アリ)、警察署、郡役所、秋田區裁判所出張所、水産試驗場、山形鹽專賣支局、輸出米検査土崎支所、鐵道院土崎工場、鐵道院土崎驛、役場、小學校、圖書館アリ

四、浴場八軒各一時ニ約四十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前六時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等一戶收容概數七十八名其他九軒二百〇四名、料理店現在數一等二戶收容概數三百五十名其他二十一戶收容概數五百名、貸座席五軒、公娼九名檢徵毎月六回二七ノ相當日トス藝妓屋二十戶一種藝妓二十八名、二種藝妓十二名年一回位自衛的健康診斷ヲ受クルモ檢徵ヲ行ハス其ノ他私娼ト認ムヘキ酌婦十五名アリ之ハ組合規約ニヨリ毎月三回自衛的健康診斷ヲ受クルモ日時一定セス

五、私立土崎後藤病院收容人員三十二名ニシテ設備ハ內科外科眼科ニ別チ看護婦七名病室十間アリ入院料特等三圓四十錢、一等二圓二十五錢、二等一圓四十錢、三等一圓五錢、避病院ナシ、私立土崎病院ハ埠頭ヨリ十二町車馬ヲ通ス、開業醫九名何レモ患者收容設備ナシ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ目下改善ニ努メツツアルモ未タ完全ト謂ヒ難ク總テ街路ノ兩側ヲ通シ町ノ西方ヲ流ル、御物川ニ放流ス、水質検査成績ハ完全ナル調査ナク細密ニ記載シ難キモ水質不良ナラス井水ハ鹽分ヲ含有シ飲料ニ供シテ害ナシ

七、屠獸場ナキモ一里半ヲ距ル秋田市ヨリ供給ヲ受ケツ、アリ其肉質良好ニシテ價格ハ他ト比較シ高價ナラス野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多ク生産シ清凉飲料水ハ當町ニ於テ製造セラレ品質優良ナリ目下供給ノ狀況良シ、

八、鐵道馬車ハ當地秋田市間毎日午前七時ヨリ午後七時マテ三十分間毎ニ往復ノ便アリ、人力車四十二艘舟三十二アリ

九、郡公園一、劇場一、共同便所三、住民ノ氣風ハ從來航海其ノ他漁業等ニ依リ多ク衣食スルカ如キ慣

習ナレハ概シテ勤儉ノ美德ニ乏シク遊惰ニ流レ易キ風アリ古時ヨリ港子氣性ト稱ス一般氣性猛シク動
モスレハ鬪論ヲナスノ傾キアリ之ニ加ヘテ近頃一般奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

山形縣

山形縣飽海郡酒田町

酒田警察署(大正六年七月二十日調)

- 一、戸數四千四百十四戸 人口二萬一千六百九十七人
- 二、地方病トシテ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	チフス	猩紅熱	買扶	ベスト	摘要
明治四五年										
大正元年		七	三一					八		
同二年		三	五二				一	五		
同三年		六	三八					八		
同四年			四五	三				一五		
同五年		二	五六	五			一	二二		

大正六年腸チフス患者六名、實扶控利亞九名、赤痢一、發疹チフス六名、バラチフス五名發生シタル

モ患者ヲ避病院ニ收容シ一面健康診斷ノ結果續發ヲ見ス

- 三、郵便電信局(一等)公衆電話ノ設備アリ、三等郵便局三、區裁判所一、稅務署一、小林區署一、郡役所一、高等女學校一、巡査派出所四、救難所一アリ
- 四、浴場十五軒各一戸ニ付一時ニ四十名乃至五十名毎日午前五時ヨリ午後十一時迄、旅館一等五戸收容數定員二一二名、二等七戸收容定員一六五名、三等二六戸、收容定員三一七名計六九四名定員外ニ止宿スルトキハ定員ノ二倍ヲ止宿セシムルコトヲ得、料理屋一等五戸、二等六戸、三等三戸、貸座敷三二戸、娼妓一〇三名檢査一週一回(土曜日)料理店一四戸、藝妓七〇名アリ藝妓ニ對シ健康診斷及檢査ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ
- 五、避病院一收容人員三二名設備完全ニシテ埠頭ヨリ三十二町アリ、開業醫師二八名内患者收容ノ設備アルモノ八收容人員計最少八〇名最大一五〇名
- 六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ井ニハ大多數唧筒ノ裝置アルモ井ヨリ直接船舶ニ對シ給水スルノ設備ヲ有セス下水溝ノ構造トシテ稍完全ヲ缺クモ市内ノ中央部ニ二箇所ノ排水溝ノ設備アリテ市内下水ノ大半之ニ集リ仁井田川及最上川ニ注ク其他ハ直接ニ同川ニ注クヲ以テ市内ニ停滯スルコトナシ又下水溝モ年々改良ヲ加ヘ市内ノ三分ノ一ハ凝砂土ヲ以テ改造セリ、水質檢査成績不明ナルモ海岸地トシテ比較的良好トス
- 七、市内ニ屠場一ヲ有シ冬季ハ一日二頭夏季ハ十日三頭位其ノ質置賜地方ニ比シ稍々良好ヲ缺クモ價格比較的高價ナリ、野菜ハ近隣ノ町村ニ於テ多量ニ生産ス、果物トシテハ酒田町ヨリ少量ノ桃生産スル

モ自家食用ニ過キササルモノトス、清涼飲料水ノ製造所一アリ主トシテ「ラムネ」ヲ製造シ酒田町及附近ノ部落ニ販賣ス

八、乗合馬車五、人力車一二八、艇舟五〇

九、公園日和山公園アリ、酒田町ノ西部日本海ニ面セリ、活動寫眞常設館二、劇場一外ニ演藝館アリ、共同便所三〇、公共團體ノ事業ト目スヘキモノナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ質朴ナルモ奢侈ニ流レ其ノ大半ハ商業ヲ營ミアリ物價ハ比較的高價ナリ

新潟縣

新潟縣佐渡郡兩津町

兩津警察分署(大正六年七月二十日調)

一、戸數一千四百三十一戸 人口六千二百六十一人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ハナケレトモ大正二年度ニ於テ腸窒扶私病一時流行ナシ患者ハ當部内ニ於テ一二九ヲ算スルニ至リ其内兩津町三一トス、地方病トシテハ佝僂病及骨軟化症ハ本郡全島ニ散在セリ明治四十四年十二月療養所設置以來收容患者三八名外來患者三〇〇名ナリ

最近五ケ年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸窒扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	ジリア	ベスト	摘	要
大正元年			二	一				三			
同二年			三一	二				六			
同三年			一〇					七			
同四年			八	一				五			
同五年			九	三				七			

本年二月以來腸窒扶私患者七名、バラチフス一名傳染病院ニ收容セリ

三、兩津警察分署、夷稅關支署、相川區裁判所出張所、高崎專賣局夷出張所、輸出米検査派出所、郵便電信局等アリ又電話設備アリ

四、浴場八軒(内三軒ハ近時改良セルモノ他ハ舊式ナリ)各戸一時ニ約二五—三〇名收容スルヲ得、毎日午後三—四時ヨリ開始スル例ナリ、旅館二等三戸收容概數百二十一名、三等以下十七戸收容概數三六〇名ナリ、普通料理店(等級ヲ附ス程度ニアラス)三戸、妓樓三〇軒、公娼一三五名檢査毎週二回(月、金)遊廓内ニ料理店ナシ、藝妓七名其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、公私立病院ナシ、一町四ヶ村組合傳染病院(避病院)一、收容人員一五名設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、開業醫一〇名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ五名收容人員計二〇名ナリ

六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス然ルニ當兩津町ハ前ニ兩津灣、後ニ加藤湖ヲ有スル爲メ

良水ヲ得ルニ甚タ困難ナリ因テ最良、不良ノ水質検査成績ヲ左ニ示ス、下水モ亦不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ溝渠ノ設備アルモ雨水、汚水、排水ノ流通ニ其要ヲ爲サス裏面ニ到レハ尙甚ダシ、船舶ニ對スル給水設備ナシ

(檢水一リートル中含量ミリグラムヲ示ス)

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭・味	反應	クロール	石灰	アモニアム	硫酸	亞硫酸	硝酸	有機物	適否
井水	大正六年七月十三日	兩津町字福浦	透明	ナシ	中性	四・五	二・〇	ナシ	五・〇	ナシ	ナシ	一・〇	佳良
同	同	同	同	同	同	八・〇〇	二・三・〇	〇・三	八〇・〇	ナシ	二〇・〇	五・三	不良

- 七、屠獸場ハ當署管轄内ニナシ約四里ノ遠隔タル河原田分署内ニ全郡ヲ通シテ一ヶ所ヲ有ス冬季ハ一日四日位ニ四一五頭夏期ハ一日四日ニ六一八頭ヲ屠殺ス一ヶ年平均六〇〇頭位ヲ供給ス其質良好(俗ニ佐渡牛)ニシテ價格ハ普通ナリ、野菜類ニ至リテハ近隣町村ニ於テ多少生産スレトモ新潟ヨリ仰クモノ多シ、清涼飲料水製造所二ヶ所アリ五年度ニ於ケル製造高ラムネ四〇、九〇〇本、サイダ二〇、七五〇本ニシテ其價格一、九八三圓ナリ
- 八、乗合馬車(六人乗)四、人力車二四、艇船九艘
- 九、兩津町ニ假設劇場一ヶ所アルノミニシテ他ニ何等遊戯場、娛樂場及公園、圖書館等ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ普通寧ろ質素ナリ、物價ハ比較的高價ナリ

新潟縣相川警察署(大正六年七月二十日調)

- 一、戸數二千七百七十五戸 人口九千三百六十九人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表 (普通字ハ相川町、太字ハ其他ノ町村)

年次	戊列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年			一								
同二年			七	三							
同三年			〇	六							
同四年			二	三							
同五年			一	二							

- 本年四月中バラチフス患者五名相川町ニ於テ發生傳染病院ニ收容又ハ自宅治療シ全部好轉歸ヲ取レリ爾來續發患者ナシ
- 三、佐渡郡役所、相川警察署、相川稅務署、相川區裁判所及同支部、郵便電信局一、無集配郵便局二、巡查派出所一、新潟測候所相川出張所一、町役場一
 - 四、浴場二十四軒各戸一時ニ約二十名ヲ收容スルヲ得、毎日午後三時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一、二戸、二等四戸、三等十戸ニシテ收容人員概數ハ一等八十名、二等百五十名、三等三百名計五百三十名、料理店一等二戸、二等三戸、三等八戸、藝妓十七名檢微ヲ行ハス、妓樓十軒、公娼二十六名檢微毎

本州北岸及北西岸 新潟縣

週二回(月曜、金曜)其ノ他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、病院ナシ、開業醫十四名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ七名收容人員計九十六名、傳染病院(避病院ヲ云フ)一、收容人員八名設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ海岸ヨリノ距離凡ソ五町ナリ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ木製又ハ石類ヲ以テ開渠ヲ通シ市街ノ中央ヲ流ル、數條ノ小川ニ放流ス

水質検査成績

種	類	井	數	採取年月	採取場所	備	考
住	良	水	一〇	大正二年十一月	相川町		
良	水		三四九	同			
不	良	水	五三三	同			
計			八九二				

七、相川町ハ勿論當署所轄内ニハ屠獸場ナク農作物ニ至リテハ僅ニ田畑アルノミニ付從ツテ收穫少ク野菜ノ供給亦不充分ニシテ附近町村ヨリノ行商販賣ニ依リ漸ク便シ居ルモノ、清涼飲料水ニ至リテハ相川町ハ勿論當署所轄内ニ製造者ナク他部内ノ製造ニ係ルモノヲ販賣シツ、アリ

八、乗合馬車五、人力車八、解舟ナシ

九、公園ナシ、劇場一、共同便所九、公共團體ノ事業トシテ見ルヘキモノナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ質

朴ニシテ奢侈ニ流ル、コトナキモ小成ニ安スルノ癖アリ物價ハ薪炭等低廉ナルモ其ノ他ノモノハ比較的高價ナリ

新潟縣刈羽郡柏崎町

柏崎警察署(大正六年七月十二日調)

一、戸數三千六百五十九戸 人口一萬八千六百六十九人

二、既往五年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	コレラ	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	質扶	ベスト	摘	要
大正元年			三二					四二			
同二年			二〇					四八			
同三年			三六	二八				四九			
同四年			六二	八				三八			
同五年		二	三〇	六				五一			

本年ニ至リ三名ノ腸室扶私患者アルモ何レモ流行性ヲ有セス散漫的ニ發生セリ

三、郵便局電信局アリ、電話設備アリ、巡查派出所アリ、救護所ノ設備ナシ

四、浴場十五戸、旅館十五戸アリ、浴場ハ各戸一時ニ約三十名位ヲ收容スルヲ得、毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館ハ一等三戸收容概數二百五十名、二等六戸三百名、三等六戸二百名計七百五十

名、料理店一等二戸、二等八戸、三等四十戸、妓樓二十戸、公娼六十名檢微一週二回水曜、土曜料理店五十戸、藝妓九十名警察醫ヲシテ健康診斷ヲ行ハシムルモ檢微ヲ行ハス其他私娼ト認ム可キモノナシ

五、私立病院一アリ收容人員二十名ナルモ設備不完全ナリ入院料ハ一等壹圓、二等七十五錢、三等五十錢ナリ避病院一アルモ柏崎町外五ヶ村ノ組合設立ニ係リ收容人員十五名設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、私立柏崎病院ハ柏崎浦濱海岸ヨリ約八丁ニシテ其内三丁位ハ砂漠地ニシテ車馬ノ交通不便ナルモ其他ハ車馬ノ交通自由ナリ、開業醫十七名患者收容ノ設備ヲ有スルモノ六名アリ收容人員五十五人ナリ

六、水道ノ設備ヲ缺キ飲料水ハ悉ク井水ヲ用ヒ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ各街路ノ兩側ニ石材ヲ以テ溝渠ヲ通シ市街外ノ溝渠ニ放流シ市街ノ南西部ヲ流ル、鶴川ニ合シ海ニ注ク市街ノ大部分ハ土地高燥砂地ナルヲ以テ稍々清潔ナリ

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硫酸	硝酸	有機物	飲料適否
井	大正二年九月	本一丁目	清	無	弱アルカリ	二七〇	—	痕跡	僅微	無	—	無	不良
同	同	本六丁目	清	無	弱アルカリ	九〇	—	無	僅微	無	—	無	良
同	同	新花町	清	無	弱アルカリ	一・三	—	痕跡	痕跡	無	—	無	不良

七、市街西北方海濱ニ柏崎町營屠獸場一ヲ有シ供給地ハ柏崎町及長岡市ニシテ一日冬季ハ四、五頭夏季ハ一頭位ノ屠牛ヲナシ其實良好ニシテ價格モ亦從ツテ不廉ニシテ百目三、四十錢平均ナリ野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ隣村ニ於テ多量ニ生産ス

八、解走會社一アリ海運業ニ従事ス、人力車營業者二十四名、同挽子五十七名

九、公園ナシ、劇場二、共同便所六、公設柏崎圖書館一アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ勤儉奢侈ニ流レサルモ狡猾ニシテ信義ヲ缺ク物價ハ比較的高價ナリ

新潟縣中頸城郡直江津町及湊灣續有田村春日新田 直江津警察署(大正六年七月二十一日調)

一、直江津町戸數二千五百六十三戸 人口一萬一千八百七十七人、湊灣續有田村春日新田戸數三百九十七戸 人口千九百九十八人

二、既往七八ヶ年間傳染病流行ナク又地方病トシテ特記スヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	赤痢	腸チフス	チバチフス	發疹チフス	ジリア	コレラ	痘瘡	摘	要
大正元年	—	七	八	—	六	—	—	—	
同二年	—	二	—	—	九	—	—	—	
同三年	三	—	—	—	一〇	—	—	—	
同四年	—	—	—	—	—	—	—	—	
同五年	—	—	—	—	—	—	—	—	

本年ハ一月初發以來(腸チフス患者一名ニテ病院收容)直江津町ニハ患者ノ發生ナシ

三、郵便電信局、高崎專賣支局直江津出張所、移出米検査所、巡查派出所ニケ所

四、

(イ)宿屋 一等 二戸 最大收容 五〇〇名 普通收容 二二五名 坪數 一六八坪

二等 四戸 六七二名 同 三六八名 同 一九三坪

三等 八戸 四七二名 同 二七五名 同 二二九坪

下宿 十三戸 二二六名 同 一一一名 同 一七九坪

一等 一戸 一三〇名 同 八一一名

二等 五戸 二九八名 同 一八六名

三等 四〇戸 九八八名 同 五三一一名

(ハ)妓樓十三戸、公娼五九名ニシテ毎月、金曜ニ於テ檢徴ヲ行フ、藝妓數五十九名ナレトモ健康診斷

ノ規定アルモノナシ當地ハ私娼ト認メラルヘキモノナシ

(ニ)當港ニハ浴場ナシ但シ料理屋ニテ之ヲ兼ヌルモノ一戸其收容人員普通二十四名ニテ毎日正午十二

時開湯其他普通湯屋十五戸ニテ浴槽通常五尺四方二箇ヲ据付ク

五、病院設置ナシ、傳染病院一ヶ所不完全ナレトモ患者收容ニハ差支ナシ、但收容人員八名同病患者ナ

レハ十四名ハ收容シ海濱ニ位ス、開業醫内科診療醫六名内患者收容設備ヲ有スルモノ三戸此收容人員

普通三十七名位ノ設備ヲ有ス、其他齒科、眼科、専門醫師各一名アリ

六、飲料水ハ水道設備ナク過半以上ハ井水ヲ用ユルモ水質粗惡ニシテ飲料不適多ク其他町末端ハ河流水

ヲ用ユル等船舶ニ供給スル設備ナシ、下水溝ハ比較的完全ニシテ町大部分ハ「セメント」蓋ニテ町内數

條ヨリ成リ下方河流ニ放流ス

七、清涼飲料水ハ製造所一ヶ所アルモ極メテ小規模ニシテ夏期三ヶ月間ニテ製品ハ「ラムネ」「サイダー」

ノ二種アルモ其生産額尠シ、蔬菜供給ハ當地ハ勿論附近一帶ハ耕地不足ト又一ノ土地風トシテ多ク畑

作ヲ獎勵セサルト一ハ蠶業振興ニ連レ桑畑植付ケ等ニ阻害サレ常時生産良好ナラサルカ爲メ價格不廉

ニシテ且品質粗ナリ又現今特種ノモノハ遠ク長野東京方面ニ供給ヲ需ムル等一般狀況潤澤ナラス

八、乗合馬車一臺、人力車四三臺、舢舨三七艘、曳舟三艘

九、劇場一、人寄席一、共同便所四ヶ所、住民ノ氣風ハ民心二層ニ別チ上ハ因襲ノ久シキ政争ヲ事トス

ル風止マス下ハ土地ノ關係上即チ當地ハ海陸中樞點タルノ關係上物資及鮮魚ノ集散地タルカ故ニ一般

勞働本意ニ馴致サレ各其勞務ニ親ミ氣風亦質朴ニシテ華ヲ街フノ風ナク寧ロ質素ヲ通性トスルノ多キ

ハ現在狀態ナレトモ物價ノ高値ハ商業上ノ通弊ナリ

新潟縣新潟市 新潟警察署(大正六年七月廿日調)

一、戸數一萬三千五十三戸 人口六萬六千六百二十二

二、既往十數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸窒扶私	チフス	痘瘡	發熱私疹	猩紅熱	實扶	ベスト	摘	要
大正元年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大正二年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大正三年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大正四年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大正五年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大正六年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

同	二年	同	三年	同	四年	同	五年
六	一四	二	一四	一	四	一	一
一六	一六	七	一六	一	七	一	一
一六	一七	七	一六	一	七	一	一
一六	一六	七	一六	一	七	一	一
一六	一六	七	一六	一	七	一	一

本年六月七月腸窒扶私各一名、六月猩紅熱一名傳染病院ニ收容爾來續發患者ナシ

三、縣廳、市役所、地方裁判所、郵便局、稅務署、監獄、巡查派出所、稅關支局等アリ

四、浴場三十七軒各戶一時ニ約廿名ヲ收容スルヲ得、每日正午ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等八戶收

容概數人員三百九十九名、二等二十七戶八百七十八名、三等四十九戶九百五十名計二千二百二十七名、

料理店一等四戶、二等十四戶、三等百八戶計百二十六戶、妓樓八十五軒、公娼四百二十四名檢微ハ娼

妓ヲ甲乙ノ二組ニ區別シ甲組毎週月、木曜日乙組火、金曜日ノ二回トス、料理店百二十六軒、藝妓

二百九十五名ニシテ必要ニ應ジ健康診斷若クハ診斷書ヲ徵ス檢微ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノ

ナシ

五、私立病院六、竹山病院收容人員約五十二名、布川病院約五十名、高橋婦人科病院約十二名、長谷川

病院約四十五名、前田婦人科病院約十六名、阿部眼科病院約十名ニシテ設備何レモ完全ナリ、入院料

一等二圓、二等一圓五十錢、三等一圓廿錢(病院ニ依リ多少増減アリ)其ノ他新潟醫學專門學校附屬醫

院アリ官營トス、傳染病院ハ市營ニシテ一アリ收容人員約卅名ニシテ設備完全ナリ、高橋、阿部病院

ハ埠頭ヨリ約廿町長谷川、前田、布川病院ハ約廿五町竹山病院ハ約廿七町ニシテ車馬ヲ通ス傳染病院
ハ約十八町トス、開業醫廿六名(病院醫除ク)内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ六名收容人員計三十五
名ナリ

六、當市ハ水道ノ設備アリ市ノ多クハ水道水ヲ使用ス然レトモ山ノ手方面水道ノ布設ナキ處ハ井水ヲ使
用シ悉ク水質検査ヲ施行シ不適飲料水ニハ其ノ旨標識シアリ船舶ニ對シ給水ノ設備ハ特ニ有セサルモ
水道水ナレハ給水ニ充分ナリ下水ハ各街路ノ兩側ニ石又ハ木材ヲ以テ造リ市内堀川ニ放流シ信濃川ニ
通ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	ニウム	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
信濃川 濾過水	大正六年 五月中	濾過池	透明	無	弱アルカ リ	六七元	六・二九	無	一五・七	無	無	〇・五	適

七、市内關屋ニ屠場一アリ冬季ハ一日平均三頭、夏季一日平均一頭ノ屠殺ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其實良好
ニシテ價格ハ比較的高價ナリ野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣部落ニ多量ニ生産ス而シテ毎朝市内ニ市ア
リ

八、乘合馬車ナシ、人力車五百六十八臺、舢舨百卅艘アリ

九、白山公園アリ、劇場一、活動寫真館四、共同便所三十五ヶ所、縣立圖書館アリ、公共團體ノ事
業トシテ理髮文庫、積善組合ノ巡回文庫アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流ル、傾向アリ、物價ハ中

富山縣

富山縣射水郡伏木町

伏木警察分署(大正六年七月廿四日調)

- 一、戸數千七百八十四戸 人口八千八百二十四人
- 二、既往十數年間著シキ傳染病ノ流行ナク又地方病トシテ特ニ認ムルモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
虎列刺					四八
赤痢					
實扶 姪利亞	二				一
腸室扶私					
室扶私					
痘瘡					
發疹 室扶私					
猩紅熱					
ペスト					
摘要	一名ハ他管内ニ於テ發病シ 富管内ノ病院ニ入院セル者 其他ノ流行病ナシ 二名共死亡 其他ノ流行病ナシ 内死亡二十七人				

本年七月腸室扶私患者一名發生私宅治療ヲ爲サシメタリ爾來續發患者ナシ

- 三、郵便局一、電信局一、電話設備アリ、巡查派出所一アリ

四、貸座敷十八、公娼三十四人、檢徽一ヶ月六回料理店十戸、藝妓二十名ニシテ時々必要ノ場合ハ何時ニテモ檢徽スルモノナリ、浴場七戸各戸一時ニ六拾人ヲ收容スルコトヲ得、毎日正午開始スルヲ例トス、宿屋一〇戸木賃宿一戸アリテ一、二等ノ區別ナク收容概數七十人三戸、五十人二戸、二十人四戸他八十人以下トス

五、私立病院一收容人員百三人設備完全ナリ入院料一等六十錢、二等五十五錢、三等五十錢但シ本料ハ室、燈火、器具ノ使用及規定ノ藥價料ニシテ其他ハ契約ニ依ル、隔離病舎收容人員三十人設備稍ヤ完全ナリ、前記病院迄埠頭ヨリ約四丁隔離病舎迄三町車馬ヲ通ス、開業醫三名アリ皆患者收容ノ設備アリ收容人員各三十人

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ井水及附近山谷ノ出水ヲ竹樋ニテ引水シ之ヲ使用ス船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ溝ヲ設ケ町ノ各部ヲ通スル公共ノ下水路ヲ經テ町ノ東端射水川ニ放流ス、近年水質ノ検査ヲ施行シタルコトナシ

七、屠獸場ナシ生肉等ハ富山及高岡市ヨリ供給ヲ受ク、清涼飲料水ノ生産ナシ、又果物ノ生産ナク野菜ノ供給潤澤ナラサル方ナリ

八、人力車四、舢舨四十七艘アルノミ

九、共同便所八、其他劇場寄席等ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ他町村ニ比シ甚タ高價ナリ

富山縣射水郡新湊町

富山縣新湊警察署(大正六年七月十五日調)

- 一、戸數三千六百八十三戸 人口一萬九千八百八人
- 二、既往數年間に昨年九月ヨリ虎列刺病流行セリ其他別ニ流行ヲ極メタルコトナシ、地方病トシテハ一昨年來ヨリ「ワイル」氏病一名黃痘病流行セルカ新湊町ハ農業者一部分ニ過キサルモ接續村、作道村片口村ハ最モ流行猖獗ヲ極ム本年ハ未タ一名モ發生セス

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸管扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年			八								
同 二年			八								
同 三年			八								
同 四年			二								
同 五年	二六		二					二			

本年三月實布埤利亞患者一名發生同月中ニ全治其後傳染病患者發生ナシ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查派出所、救難所アリ

四、浴場十三軒各戸一時ニ約二十名(内一軒ハ約三十名)ヲ收容スルヲ得、毎日午前六時開始一、其他ハ午前十時ニ開始ス、旅館一等二戸收容概數四十名、二等四戸同三十名、三等(下宿屋)二戸同十七名合計八十七名外ニ木賃宿三戸同二十名當地ノ旅館ハ比較的劣等ナリ、料理屋一等四戸、二等八戸、三等七

戸、妓樓十四軒、公娼二十名毎月四、九、十四、十九、二十四、二十九各六回檢査ヲ行フ、料理店二軒、藝妓四十二名毎月一回組合醫師ノ健康診斷ヲ受ケ居ルモノニテ必要ニ應シ檢査ヲ命スルコトアリ其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、病院(公私立共)ナシ、避病院ナシ但シ傳染病隔離病舎一アリ收容人員十六名設備稍々完備セリ、開業醫十二名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク堀拔水及井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ稍々完全ニシテ各街路ノ兩側ニ練瓦又ハ漆喰敷ノ開渠ヲ通シ市街ノ中央ヲ流ル、内川ニ放流ス、水質檢査ヲ執行シタルコトナシ依テ成績不明ナリ當地ハ低地ナルヲ以テ水質一般ニ佳良ナラス

七、屠獸場ナシ生肉ハ本縣高岡市及富山市ヨリ請賣ス價格比較的高價ナリ、野菜ハ近隣町村ニ生産少ク各地ヨリ大部分ヲ輸入ス、生魚ハ時期ニ應シ豐富ニシテ價格相當ナリ

八、乗合馬車一、人力車二十七、解船四十一艘アリ

九、公園ナシ、劇場一、其他ノ興行場ナシ、共同便所六、牛乳搾取所三、住民ノ氣風ハ一般ニ素朴ナリ物價ハ相當ナリ

石川縣

石川縣鹿島郡七尾町

本州北岸及北西岸 石川縣

石川縣七尾警察署(大正六年七月十八日調)

- 一、戸數二千五百六十四戸 人口一萬千六百四十四人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	赤痢	腸室扶私	實布埜利亞	摘要
大正元年	五	一〇	五	以外ノ法定傳染病發生ナキニ付之ヲ省略ス
同二年	二	九	三	同
同三年	三	七	八	同
同四年	四	八	六	同
同五年	四	二	七	同

本年二月ヨリ七月十八日ニ至ル間ニ於テ腸室扶私患者二十八名發生シ七尾町私立病院ニ入院セルモ現在四名ノ外全部轉歸爾來續發患者ナシ

三、郵便局アリテ電話ノ設備アリ、鹿島郡役所、七尾警察署、七尾稅務署、七尾稅關支署、七尾區裁判所、金澤監獄七尾出張所、水上巡查派出所等アリ

四、浴場九軒各戸一時ニ八名ヲ收容スルヲ得、毎日午前七時ヨリ開始スルモノ四軒正午時ヨリ開始スルモノ五軒、旅館一等二戸收容概數五十名、二等七戸收容概數百五名、三等十九戸收容概數百三十五名計二百九十名、料理店一等三戸、二等五戸、三等三戸、妓樓二十六軒、公娼五十三名檢微ハ五日毎ニ行

ヒ居レリ藝妓八十五名アリテ毎月三回組合醫師ノ健康診斷ヲ受ク其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院二、私立七尾病院收容人員約二十八名設備完全ナリ、入院料一等一圓五十錢、二等一圓、三等八十錢、私立神明病院收容人員約三十五名設備不完全ナリ入院料前項ト同シ、避病院一收容人員十名設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ埠頭ヨリ八町ヲ去ル、七尾病院ハ埠頭ヨリ約一丁、神明病院ハ約五丁車馬ヲ通ス、開業醫二十二名收容患者ノ設備ヲ有スルモノ五名收容人員計六十名ナリ

六、簡易水道ノ設備アリテカ使用檢數ハ六個ニシテ二百六十戸飲用シ居レリ尙ホ船舶ニ對シテモ給水ノ設備ヲ有ス其ノ他ハ井水ヲ使用ス下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ石材開渠ヲ通シ市街ノ中央ヲ流ル、御拔川及神戸川ニ放流スルモ不完全ナル爲メ常ニ下水滯留シ流通良シカラス、水質ハ概シテ良ナルモ之カ分析記録ヲ存セス

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季十月ヨリ翌年三月頃迄ハ一日平均一頭乃至二頭ニシテ四、五、九月ハ三日毎ニ一頭ノ屠牛ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其質良好ナラス價格モ亦廉價ナリ、六、七、八月ハ更ニ屠牛ヲ爲サス、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近村ニ於テ多量ニ生産ス

八、乗合馬車ナシ、人力車四十七、舢舨三十九艘アリ

九、公園二、劇場及活動寫眞常設館ナシ、寄席二、共同便所ナシ、住民ノ氣風ハ比較的一般ニ奢侈ニ流レ物價亦高價ナリ

石川縣鹿島郡端村字和倉

石川縣七尾警察署(大正六年七月十四日調)

- 一、戸數百四十戸 人口六百二十人

本州北岸及北西岸 石川縣

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	赤痢	病
大正元年	二	以外ニ法定傳染病ノ發生ナキニ付省略ス
二年	一	同
三年	一	同
四年	三	同
五年	一	同

本年五月中腸窒扶私患者七名發生シ七尾町私立七尾病院ニ入院セシモ全部轉歸ス爾來續發患者ナシ

三、郵便局アリテ電話ノ設備アリ、巡查部長派出所及巡查駐在所アリ

四、鑛泉(温泉)共浴場一ヶ所アリテ一時ニ約四十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前六時ヨリ開始スルヲ例トス、鑛泉浴宿(内湯アルモノ)一等四十戸收容概數四百名、二等四戸收容概數二百七十四名、三等九戸收容概數三百六十八名、四等六戸(内湯ナキモノ)收容概數三百六十七名計千四百九名、料理店ナキモ有客間飲食店五戸アリ、妓樓公娼ナシ、藝妓二十二名アリテ毎月三回組合醫師ノ健康診斷ヲ受ク其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院ナシ、端村傳染病院一アリ收容人員ハ二十名ニシテ設備完全ナリ、右傳染病院ハ埠頭ヨリ

約八町ニシテ車馬ヲ通ス、開業醫一名和倉鑛泉組合醫ニシテ患者收容ノ設備ナシ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス、下水ハ不完全ニシテ各戸趣ヲ異ニシ何レモ灣内ニ注入ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井口水	四十年九月七日	和倉	無色透明	無	中性	少量	無	無	少量	無	無	九・九〇〇	適

七、屠獸場ナシ獸肉ハ七尾町ヨリ供給ヲ受ケ獸肉請賣店二軒アリテ之カ需用ニ應ス其ノ質良好ナラスシテ高價ナリ、野菜ハ多少栽培スルモ生産少ナキヲ以テ他町村及金澤市ヨリ供給ヲ受ク

八、人力車二四、艇舟一艘アリ、自動車及乗合馬車ナシ

九、公園、劇場ハナキモ寄席一アリ、常設活動寫眞館、共同便所、圖書閱覽所、圖書館等ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

石川縣鳳至郡穴水町

穴水警察分署(大正六年七月二十日調)

一、戸數千二百二十二戸 人口六百八十人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナク且ツ地方病ト認メラル、モノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	赤痢	腸室扶私實布	姪利亞	摘	要
大正元年	三	一	一	一	以外ニ法定傳染病ノ發生ナキニ付當ラズ
同 二年	一	一	一	一	
同 三年	一	一	一	一	
同 四年	一	一	一	一	
同 五年	三	二	一	一	

本年四月實布姪利亞患者一名發生シタルモ死亡シタリ爾來續發患者ナシ

三、郵便局(電話ノ設備アリ)、町役場、輪島區裁判所穴水出張所、穴水警察分署アリ

四、浴場ハ一軒ニシテ一時ニ二十名内外ヲ收容スルノ設備ヲ有シ毎日午後二時ヨリ開始スルヲ例トス、

旅館ハ上等一戸、中等四戸、下等六戸ニシテ收容概數ハ上等五十名、中等百五十名、下等百二十名計

三百二十名ナリ、料理店一等二戸、二等四戸、三等三戸アリテ藝妓計十七名ヲ抱ヘ居レルカ公娼ナシ

藝妓ハ毎月三回自衛的ニ醫師ノ健康診斷ヲ受ケ居レリ他ニ私娼ナシ

五、病院ハナキモ隔離病舎一アリ其ノ收容概數ハ十二名ニシテ海岸ヨリ十五丁ノ距離ヲ有ス設備稍々完

全ナリ

六、水道ノ設備ナク飲料水ハ井水及河水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス但シ舞鶴鎮守府ニ屬スル

炭庫アリテ該所ニハ專用給水ノ設備アリ、下水ハ不完全ニシテ何レモ町ノ中央ヲ貫流スル小又川及河

内川ニ放流ス

飲料水検査成績 (共同井水)

種類	採取月日	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料水適否
井水	大正六年七月十八日	透明無色	無臭無味	中性	痕跡	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	0.0024	適

七、町内ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日平均一頭内外ノ屠牛(馬)アリ輪島町及近郷ニ供給セルモ夏季ハ殆

ント屠殺セス清涼飲料水ノ製造所一アリテ近郷ニ販賣セルモ冬季ハ休業ス生魚ハ漸ク居住者ノ需用ヲ

充スニ過キス野菜類ニ至リテハ生産力薄弱ニシテ他地方ヨリ移入ス

八、人力車二六、舢舨八、乗合馬車四臺アリ

九、住民ハ一般ニ順朴ニシテ主トシテ農業ニ従事シ傍ラ山林業ヲ爲セルモノ尠ラス、公園劇場等ノ娛樂

場ハ更ニナシ

石川縣鳳至郡輪島町

一、戸數二千五百七十六戸 人口一萬二千八十九人

二、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナキモ傳染病中赤痢ハ主トシテ流行ス最近五ヶ年間ノ傳染病患者發

生表左ノ如シ

本州北岸及北西岸 石川縣

大正二年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大正三年	三七	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大正四年	一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
大正五年	一四	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一

大正六年一月以來傳染病患者ノ發生ナシ

三、輪島區裁判所、同稅務署、鳳至郡役所、輪島郵便局(電話ノ設備アリ)、金澤專賣支局輪島出張所、輪島町役場等アリ

四、浴場九軒各一時ニ八名ヲ收容ス毎日午後二時ヨリ開始スルヲ例トス、宿屋(旅館)一等二戸收容概數八十名、二等六戸收容概數百八十名、三等六戸同百五十名計四百十名、妓樓十四軒、娼妓二十六名檢徵ハ毎月六回、藝妓六十三名、料理屋在住ノ藝妓一、計六十四名ハ毎月三回地方開業醫ノ健康診斷ヲ受ケツ、アリ其他私娼ナシ但シ料理屋十三軒アリ

五、病院ナシ、輪島町傳染病院一アリ、收容人員四十名ヲ定員トス設備相當ニシテ收容ニ支障ナシ、傳染病院ハ輪島町ノ東端ニアリテ車馬ヲ通ス且ツ海岸ヨリ約一町ヲ離ル、開業醫師九名アリテ內患者收容ノ設備ヲ爲スモノニアリテ收容人員約十名ナリ

六、輪島町ニ於テハ水道ノ設備ナク飲料水ハ川水及井水ヲ使用シ船舶ニ對シテハ給水設備ヲ有セス、下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ切石製開渠ヲ通シ市街ヲ横貫スル輪島川ニ放流ス、井水ハ概シテ良

ナリ水質検査ハ行ヒタルコトアルモ記録ナシ

七、屠獸場ナシ、果物ハ柿實ヲ産スルノ外其他ノ生産物極メテ乏シ、野菜ハ潤澤ナラサルヲ以テ近村ヨリ供給ス、清涼飲料水製造業者一アルモ本年ハ未タ製造ニ從事セス

八、乗合馬車六臺、人力車三〇アリ、又舢舨七十三艘アルモ數年前ヨリ休業状態ナリ

九、公園二、劇場及活動寫眞常設館ナシ、寄席二、共同便所ナシ、住民ノ氣風ハ比較的一般ニ奢侈ニ流レ物價亦高價ナリ

福井縣

福井縣坂井郡三國町

三國警察署(大正六年七月三十一日調)

- 一、戶數一千九百六十八戸 人口八千二百人
- 二、已往數年間著シキ傳染病ノ流行及地方病ノ流行無シ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同二年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
同三年	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

本州北岸及北西岸 福井縣

同 四年	一
同 五年	二

本年三月二十一日、三月十五日、五月二十一日、六月十日、六月十五日ニ腸室扶私各一名發生目下避病院ニ收容ノ者ナシ爾來續發患者無シ

三、郡役所、郵便局、警察署、町役場、電話設備アリ

四、浴場十二戸各戸一時ニ男女ヲ通シテ二十名ヲ收容スルコトヲ得毎日午後四時開始ス、旅館一等二戸、收容概數八十名、二等二戸收容概數八十名、三等十二戸收容概數二百四十名合計四百名、妓樓十五戸、公娼三十四名檢査月六回(五日毎)料理店三十戸、藝妓四十四名毎月二回組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢査ヲ行ハス、其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、町立病院一、收容人員三十名入院料等級ナク一日金三十錢、避病院一、收容人員八名設備完全收容ニ支障ナシ、町立病院ハ埠頭ヨリ約十町車馬ヲ通ス、開業醫七名患者收容ノ設備ヲ有スルモノ無シ

六、水道ノ設備無シ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ缺ク下水ハ各街路ノ兩側ニ土管埋渠ヲ通シ市街ノ西南ヲ流ルル笛川及九頭龍川ニ放流セラル

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アモニウム	硫酸	亞硫酸	硝酸	有物	飲料適否
井	大正四年五月四日ヨリ同月五日	井	透明	無臭味	中	二、五二二	微量	有	微量		微量	有物	適
水	大正四年五月十四日ニ至ル	井	濁濁	有臭味	性		無	無	少量		無	有物	不適

七、市外ニ屠獸場無シ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近村ニ於テ多量ニ生産ス

八、乗合馬車無、人力車十八、舢舨十艘アリ

九、公園無、劇場一、活動寫眞館無、共同便所四、公共團體ノ事業無、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

福井縣敦賀郡敦賀町

福井縣敦賀警察署(大正六年七月二十一日調)

一、戸數四千三百四十六名 人口一萬八千八百五十七人

二、既往數年間ニ著シキ傳染病ハ左表ノ如ク齊布利亞、腸室扶私及赤痢等ナルモ其他地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布利亞	ベスト	備考
大正元年	一	五	一三					二七		
同 二年	一	一九						一四		

同	同	同
三年	四年	五年
一	四	六
三	八	一〇
一	一	一
一	一	一
一	一	二
一	六	二
一	一	一

本年六月赤痢疑似患者一名、七月痘疹患者一名、赤痢疑似患者一名、發生傳染病院ニ收容爾來續發患者ナシ

三、郵便局、停車場、水上巡查部長派出所、巡查派出所、郡役所、税關支署、稅務署、區裁判所、小林區署、專賣局出張所、測候所出張所、鐵道院建設事務所、町役場アリ

四、浴場十二軒各戸一時ニ約二百五十人ヲ收容スルヲ得、一軒ハ毎日午前八時ヨリ他ノ十一軒ハ午後一時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等八戸收容概數二百五十人、二等十七戸收容概數四百人、三等十五戸收容概數三百二十人、四等五戸收容概數二十五人、料理屋一等一戸、二等二戸、三等十三戸、四等十七戸、公娼七十九名健康診斷ハ五日毎ニ一回、妓樓六十四軒、料理店三十三軒ノ酌婦ハ各四ヶ月毎ニ一回藝妓七十二名ハ毎月一回組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢微ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、郡立敦賀病院一、收容人員二十四名入院料一等三十錢、二等二十錢、三等十五錢、町立傳染病院一、收容人員八名ニシテ其設備稍完全ナリ、縣立常盤病院一(收容人員十五名)主トシテ娼妓ノ健康診斷治療ヲ施シ密賣淫婦ノ有毒者ナルトキ入院治療ス、以上何レモ設備稍完全セリ、敦賀病院ハ海岸ヨリ約

十二町、傳染病院ハ約十三町、常盤病院ハ約四町トス而シテ傳染病院ハ鐵道線路ニ遮ラレ且道路狹隘ナル爲メ車馬ヲ通スルコト困難ナルモ其他ハ自由ナリトス、開業醫十七名アルモ患者收容ノ設備ナシ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ泉水手堀井鑽井ヲ使用シ船舶ニ對シテハ給水設備ヲ有ス下水ハ稍完全ニシテ其流ハ市街ニ誇ル筈ノ川兒屋川目倉川ニ注ク

水質検査成績表

(本表成績ハ多數検査シタル内最良ト最不良トヲ掲記ス)

種類	採取日	採取場所	清潔色	臭味	反應	クロール	石灰	モニアム	硫酸	亞硫酸	硝酸	有機物	飲料適否
鐵井水	大正五年七月七日	敦賀町三島	透明	ナシ		八八三	五〇	ナシ	痕跡	ナシ	痕跡	ナシ	適
同	同	同	微白濁	ナシ		一〇六五	五〇	ナシ	痕跡	ナシ	痕跡	僅微	適
手堀水	八月九日	同	白濁	微臭		七〇九〇	一五〇	〇・一五	微量	ナシ	痕跡	僅微	不適
同	同	同	透明	ナシ		一〇六五	八〇	ナシ	痕跡	ナシ	痕跡	ナシ	適
泉水	八月四日	同	微白濁	ナシ		三二・五	八〇	ナシ	痕跡	ナシ	痕跡	ナシ	適

七、市外ニ屠獸場ニ有シ一ハ輸入牛屠殺ノミニ使用一ハ冬季ニ於テ一日一頭乃至二頭ノ屠牛ヲ爲スモ夏季ニ至レハ其數ヲ減シ時々豚ノ屠殺アリ生肉トシテ需用ノ三分ヲ充タスニ過キス且ツ品質不良高價ナリ故ニ他ノ七分ハ他府縣ヨリ移入ス又野菜果物ノ供給モ地方ニ於ケル生産力ハ微々タルモノニシテ七分ハ他縣ヨリ仰ク清涼飲料水ハ盛夏ニ於テ一日ニラムネ、サイダ、密柑水等ノ千三百本ヲ製出ス其最大供給能力ハ一萬六千六百本トス

- 八、乗合馬車七、人力車百二十二、艇舟五十二、自動車三アリ
 - 九、松原公園一、劇場一、寄席二、共同便所六、公共團體ノ事業トシテ敦賀文庫ト稱スル圖書館アリ、住民ノ氣風ハ鎖國のニシテ他人ト交際スルニ巧ナラス從テ商家ハ物品ノ販賣ニ熱心ナラサルナリ尙一般ニ奢侈ニ流レ物價比較的高價ナルカ目下低廉問題ニ付テ研究中ナリ
- 福井縣遠敷郡小濱町
- 一、戶數一千九百〇三戸 人口八千三百〇一人
 - 二、地方病トシテ特ニ認ムヘキモノ及傳染病ノ流行等ナキモ昨大正五年近村ニ腸窒扶私及虎列刺等稍々流行セリ

最近五年間傳染病患者發生表

年	次	腸窒扶私實布埤利亞	摘	要
大正元年		一		
大正二年		〇		
大正五年		〇		
大正五年		一		

- 本月實布埤利亞患者一發生シタルモ死去シ其後續發患者ナシ
- 三、郡役所、小濱警察署、小濱稅務署、小濱郵便局、巡查派出所等アリテ電話設備アリ
 - 四、浴場七戸各戸一時ニ約十五人ヲ收容スルヲ得毎日午後三時頃ヨリ開始スルヲ例トス、旅館三十二戸

アリテ各戸平均約十五名計四百八十名ヲ收容スルヲ得、料理店四十九戸、貸座敷業四十四戸、公娼三十四名檢徴五日毎ニ一回藝妓五十名毎月一回保健組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢徴ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ

- 五、私立病院一アリ收容人員十二名設備稍々完入院料二十錢ナリ、避病院目下ナシ、前記私立病院ハ海岸ヲ距ル約八間ノ所ニアリ、開業醫六名内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ一名ニシテ收容人員八名ナリ
- 六、水道ノ設備ナク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側又ハ片側ニ幅約一尺五寸深サ約二尺ノ溝ヲ穿テ海ニ放流ス

水質檢査成績

- 化學的檢査ノ結果(分析成績)不詳ナルカ、適一、四三五、不適四三九アリ
- 七、近村西津村ニ屠畜場一アリ冬期ハ一ヶ月平均十五頭ノ屠牛ヲナシ生肉ヲ供給ス其實良ニシテ價格モ比較的廉價ナリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ附近村落ニ於テ多量ニ生産ス
 - 八、乗合馬車四輛、人力車四十六輛、汽船二隻アリ
 - 九、公園一、寄席一、町立小濱圖書館一アリ、住民ハ一般ニ質朴ナリ

京都府

京都府與謝郡宮津町

本州北岸及北西岸 京都府

宮津警察署(大正六年七月十三日調)

- 一、戸數二千八十三戸 人口八千三百八十人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナク地方病トシテハ十二指腸蟲ナルモ漸次減少ノ傾向アリ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
虎列刺	四	一	一	一	一
赤痢	一	一	一	一	一
腸室扶私	一	一	一	一	一
チバラス	一	一	一	一	一
痘瘡	一	一	一	一	一
チフス	一	一	一	一	一
猩紅熱	一	一	一	一	一
實利亞	一	一	一	一	一
ベスト	一	一	一	一	一
摘	一	一	一	一	一
要	一	一	一	一	一

- 本年一月實布埤利亞患者一名發生死亡、同六月腸チフス患者一名發生避病院ニ收容爾來續發患者ナシ
- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、警察署、巡查派出所アリ、京都地方裁判所宮津支部並ニ區裁判所、監獄分監、稅務署、郡役所、町役場、蠶業取締所、土木工營所、測候所出張所アリ
- 四、浴場五軒各戸一時ニ約三十五名ヲ收容スルヲ得毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等三戸收容概數六百名、二等五戸同七百五十名、三等十六戸同三百五十名計二十四戸千七百名、料理店一等二戸、二等一戸、三等三戸、妓樓四十四軒、公娼四十七名、檢微每一月六回(三、八ノ日)藝妓五十名孰レモ妓樓ニ抱ヘラレ醫師ノ健康診斷又ハ檢微ヲ行ハス他ニ私娼ト認ムヘキモノナシ

- 五、私立宮津病院一、收容人員二十五名設備稍々完全入院料特等二圓、一等一圓五十錢、二等一圓ナリ避病院一、收容人員十五名設備充分ナラサルモ患者收容ニ支障ナシ、宮津病院ハ埠頭ヨリ一町ヲ隔ルノミ交通極メテ便利ナリ、避病院ハ埠頭ヨリ約十町車馬ヲ通ス、開業醫七名何レモ患者收容ノ設備ナシ
- 六、水道ノ設備完全ニシテ給水充分ナリ、船舶ニ對シテモ給水差支ナシ、下水ハ各街路ノ片側若クハ人家ノ裏面等ニ溝渠ヲ設ケ夫レヨリ町ノ中央其他數ヶ所ニ設置セル大溝ヲ通シ海中ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	外觀	臭味	反應	モニア	硬度(石)	硫酸	亞硝酸	硝酸	クロール	飲料適否
上水原水	大正六年七月十一日	上水場	清澄	異状ナシ	微アルカリ性	檢出セス	檢出セス	檢出セス	檢出セス	檢出セス	一・六六	適
堀井戸	同	宮津町	同	同	同	同	同	同	同	同	一・七六	同
上水	同	字波路	同	同	同	同	同	同	同	同	一・三三	同
山水引用	同	同町字	同	同	同	同	同	同	同	同	一・五九	同
堀井戸	同	同町字	同	同	同	同	同	同	同	同	一・八八	同
堀井戸	同	同町字	同	同	同	同	同	同	同	同	一・九二	同
同	同	同所	同	同	同	同	同	同	同	同	二・〇四	同

備考 右含有物ノ量ハ檢水毎拾萬分中ノ「グラム」トス

土地ノ狀況ニ依リ「クロール」量ヲ檢水毎拾萬分中五・〇グラム迄ヲ適トス

- 七、町ノ東端ニ屠獸場一ヲ有シ冬期ハ二日ニ三頭夏期ハ毎日一頭ノ屠牛ヲ爲シ居リシカ本年四月以降其ノ數減少シ三日ニ一頭ヲ屠殺セリ品質良好ナルモ價格騰貴ノ爲メ供給充分ナラス、野菜ノ供給ハ潤澤

ニシテ附近村落ニ於テ多量ニ産出セリ、清涼飲料水製造場一、ラムネ、蜜柑水ヲ製造シ昨今ノ製出高一日二千罐内外ニシテ品質良好供給充分ナリ其他ハ他部ヨリ移入セリ、魚類ハ宮津町漁民附近沿岸漁村ニ於テ多量ニ漁獲シ町民ノ需要ヲ充シ過半ハ他ヘ移出セリ

八、乗合馬車二、人力車三三、通船(鱸太)三〇

九、公園(天橋)一、劇場二、共同便所四、公共團體ノ事業タル文庫又ハ圖書館ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ質素ニシテ物價ハ魚類ヲ除ク外總テ高價ナリ

京都府熊野郡久美濱町

久美濱警察署(大正六年七月十九日調)

一、戸數九百四十戸 人口四千二百七人

二、大正五年八月ヨリ九月ニ亘リ腸室扶私患者十名續發ノ外傳染病ノ流行ナク地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	大正二年	大正三年	大正四年	大正五年
虎列刺					
赤痢					
腸室扶私					一〇
チフス					
痘瘡					
發疹					
室扶私					
猩紅熱					
實布					
ベスト					
摘					
要					

三、郵便電信局、警察署、巡查駐在所、郡役所、町役場アリ

四、浴場ナシ、旅館一等二戸、收容概數七十名、二等二戸同三十名、三等四戸同五十名計百五十名、料理店一等二戸、公娼私娼共ナク淫靡ノ風習更ニナシ

五、私立病院ナシ、避病院三、收容人員三十七名設備充分ナラサルモ收容ニ支障ナシ孰レモ埠頭ヨリ一町乃至五町ニシテ車馬ヲ通ス、開業醫四名患者收容ノ設備ナシ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シテハ給水ノ設備ヲ有セス、下水ハ不完全ニシテ各街路兩側其他ノ溝渠ヲ通シ河又ハ海中ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	外觀	臭味	反應	モニアム	硬度(石)	硫酸	亞硝酸	硝酸	クロール	適否
堀井戸	大正六年七月十四日	熊野郡久美濱町小字糸崎	清澄	異状ナシ	微アルカリ性	檢出セス	痕跡	痕跡	檢出セス	檢出セス	二・五〇	〇・五八〇
同	同	土居町	同	同	同	同	同	同	同	同	二・五〇	〇・二六四
同	同	同郡同村	同	同	同	同	同	同	同	同	一・八〇	〇・八六六
引水	同	字長柄	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

備考 表中含有物ノ量ハ檢水毎拾萬分中ノ「グラム」トス

土地ノ狀況ニ依リ「クロール」量ヲ檢水毎拾萬分中五・〇グラム迄ヲ適トス

七、屠獸場又ハ清涼飲料水製造場ヲ有セス僅ニ兵庫縣豊岡城崎方面ヨリ供給ヲ仰キツ、有リ、果物野菜ノ供給潤澤ナラス附近町村共ニ生産充分ナラス

八、乗合馬車一、人力車七、舳舟二十六艘アリ

九、公園ヲ有スルモ何等ノ設備ナシ、只湊濱松林ニ至リテハ自然ノ風景ニ富ミ小天橋ノ稱有リ、劇場其
他ノ娛樂場、圖書館及共同便所ノ設備ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ質朴ナルモ物價ハ比較的高價ナリ

島根縣

島根縣周吉郡西郷町

西郷警察署(大正六年七月二十四日調)

一、戸數一千三百七十二戸 人口四千九百二人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテハ肺結核百人中三、トラホーム百人中二〇、疥癬
其他皮膚病百人中七、微毒性諸病百人中五ノ割合ナリ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
虎列刺					
赤痢			三		
腸管扶私					
チフス					
痘瘡					
發疹					
室扶私					
猩紅熱					
實布					
坪利亞					
ベスト					
摘					
要					

大正六年六月二十六日腸管扶私患者一名發生傳染病院ニ收容爾來續發患者ナシ

三、島廳、警察署、稅務署、裁判所、蠶業取締支所、町役場、郵便電信局、電話設備アリ

四、浴場十軒各戸一時ニ十五人ヲ收容スルヲ得、毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等二戸收
容概數四十八人、二等二戸同四十二人、三等二十八戸同百五十五人計二百四十五人、料理店二等二戸、
二等二戸、三等一戸、妓樓一アルモ目下公娼ナシ、藝妓二十三名、毎月二回組合醫師ヲシテ檢査ヲ行
ハシム、私娼ト認ムヘキ者十三人アリ漸次減退ノ方ナリ

五、私立病院一、收容人員八名設備完全ナリ入院料等級ヲ定メス一人ニ付室料一日二十錢ヲ徴シ食糧ハ
手賄トス、傳染病院一、收容人員二十名相當設備アリ、私立西郷病院ハ埠頭ヨリ五町ニシテ車馬ヲ通
ス、傳染病院ハ同十町ニシテ内約二町ハ車ヲ通セス、開業醫六人患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ街
路ヲ横斷セル溝渠ノ兩側ニ石ヲ並立シテ港内ニ放流ス、水質檢査成績ハ左ノ如シ

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アモニアム	硫酸	亞硫酸	硝酸	有機物	飲料適否
堀井	大正三年八月廿六日	西郷町東郷町				多量							適
同	同	同											適
同	同	同											不適
同	同	同											適

本州北岸及北西岸 島根縣

七、市外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ三日ニ一頭位ノ屠牛ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其ノ質良好ニシテ價格比較的廉價ナリ野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス

八、營業人力車二、舢舨三艘アリ

九、公園ナシ、劇場ナシ、寄席一、共同便所四、公共團體ノ事業トシテ隱岐圖書館アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ質朴ナルモ華美ヲ好ムノ風アリ物價ハ内地ヨリ總テ二割方高價ナリ

島根縣鏡川郡杵築村

杵築警察分署(大正六年七月十八日—二十三日調)

一、戸數一千〇六十二戸 人口四千四百十三人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナク地方病流行病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	パラチ	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布症	ペスト	瘧	要
大正元年	—	—	二	二	—	—	—	七	—	—	
同二年	—	—	二	—	—	—	—	—	—	—	
同三年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
同四年	—	一〇	二	—	—	—	—	—	—	—	
同五年	二	八	二	三	—	—	—	—	—	—	

本年傳染病發生ナシ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、役場、巡査駐在所アリ、日御崎救難所杵築支所アリ

四、浴場四戸各戸一時ニ約二十人ヲ收容スルヲ得毎日午後五時ヨリ開始ス、旅館三等以下四戸收容概數四十名、料理店三等一戸、飲食店三等以下六戸、妓樓公娼ナシ、私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院ナシ、避病院一、收容人員二十八人、設備完全ニシテ收容ニ支障ナシ避病院ハ埠頭ヨリ約百間車馬ヲ通ス、開業醫師四名患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ

六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス當村ニハ土地ニ高低アリ且砂地ニシテ下水ノ設備ナシ、水質ハ總テ良好ト認メラル曾テ全部ニ對シテ水質試驗ヲナセシコトナク其或部分ニ對シテ個人的ニ検査セルコトアルモ其成績目下明瞭ナラス

七、屠獸場ナシ牛肉類ハ主トシテ鏡川郡今市町ヨリ購入シ一般ノ需要ヲ充シツ、アリ其質良好ノ方ニシテ價格普通ナリ、野菜等ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス、清涼飲料水ハ隣接地杵築町ニ製造所一ヶ所アリ供給ニ不足ヲ生スルコトナシ

八、乗合馬車ナシ、人力車二、舢舨三十三艘アリ

島根縣那賀郡濱田町

濱田警察署(大正六年七月二十三日調)

一、戸數二千八百十三戸 人口一萬〇百二十六人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナキモ肺結核病比較的多シ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	二年	三年	四年	五年
虎列刺	—	—	—	—	—
赤痢	五	四	八	五	一五
腸室扶私	三	一八	五四	二〇	三三
チフス	八	—	—	七	二
痘瘡	—	—	—	—	—
瘰癧	—	—	—	—	—
猩紅熱	—	—	—	—	—
實布	—	—	—	—	—
ベスト	—	—	—	—	—
摘	—	—	—	—	—
要	—	—	—	—	—

本年二月中虎列刺患者二十四人發生本年一月ヨリ七月二十二日迄腸室扶私十八人、實布埤利亞三人發生虎列刺及腸室扶私ハ下山傳染病院ニ收容目下腸室扶私患者二人アリ

三、歩兵第二十一聯隊、郡役所、稅務署、測候所、稅關支所、聯隊區司令部、町役場、蠶業事務所、區裁判所、水產講習所、郵便局、電話設備アリ又巡查派出所、水難救濟所アリ

四、浴場十二軒各戸一時ニ約十五人ヲ收容スルヲ得、毎日午後三時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等六戸、收容概數百二十人、二等十五戸百九十五人、三等四十二戸三百七十人、料理店一等九戸、二等十三戸、三等二十三戸、妓樓六軒、公娼三十名健康診斷每週二回(火、土曜)料理店四十五軒、藝妓六十四人毎月二回醫師ヲシテ自衛檢査ヲ行ハシム其他私娼ト認ムヘキモノ十二人アルモ蔓延ノ狀況ナシ

五、私立病院三、收容人員江木病院三十名、興仁會病院約三十名、濱田病院二十五名設備完全ナリ入院料一等一日三十錢、二等二十錢、三等十五錢、傳染病院一、收容人員二十八名設備完全ニシテ收容支障ナシ、江木病院ハ埠頭ヨリ約八町、興仁會病院ヘ約七町、濱田病院ヘ約十町各病院共車馬ヲ通ス、

開業醫十六名ノ内患者收容ノ設備ヲ有スルモノ二名收容人員二十名計百五名

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水不完全ニシテ各街路ノ片側又ハ兩側ノ汚溝ハ渠ノ設ナキ爲常ニ汚水停滯ス

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正五年九月十五日	濱田町	清	ナシ	微	極微	極微	ナシ	極微	ナシ	ナシ	微量	適
同	同	同	微濁	—	微酸	ナシ	ナシ	微	ナシ	微	極微	多量	否
同	同	同	白濁	—	—	—	—	痕跡	—	—	—	—	—
同	同	同	黃濁	—	—	—	—	著	—	—	—	—	—

七、町外ニ屠獸場一ヲ有シ冬季ハ一日三頭乃至四頭夏季ハ一日一頭ノ屠牛ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其實稍良ナルモ價格ハ比較的高價ナリ野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近村ニ於テ多量生産ス

八、自働車三、乘合馬車四、人力車三十五アリ

九、公園ナシ、劇場二、寄席一、共同便所六、公共團體ノ事業トシテ濱田圖書館アリ、住民ノ氣風一般ニ奢侈ニ流ル、傾アリ物價ハ比較的高價ナリ

鳥取縣

鳥取縣西伯郡境町

境警察署(大正六年七月二十四日調)

- 一、戸數千二百五十一戸 人口五千四百八十六人
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ認ムヘキモノナシ

最近五ケ年間傳染病患者發生表

年次	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	瘰癧	賈利亞	ペスト	瘧	要
大正元年	一	四					一			
大正二年		三					四			
大正三年		一					三			
大正四年		一					三			
大正五年	一	二					一			

本年一月腸室扶私患者一名發生傳染病院ニ收容爾來續發患者ナシ

- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查派出所アリ、測候所アリ、西部遞信局海軍部境出張所アリ、境税關支署アリ

- 四、浴場七軒各戸一時ニ約二十名ヲ收容スルコトヲ得、毎日午後三時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館國稅營業一戸收容概數二十名、一等ナシ、二等二戸收容概數三十名、五等十九戸同百二十名、料理店一等一戸、五等三十四戸、公娼ナシ、酌婦ニシテ公娼の營業ヲナスモノ四十四人、檢査毎週一回(水曜)藝妓八人毎月一回組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢査ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ
- 五、公私立病院ナシ、傳染病院一收容人員二十人設備不完全ナルモ收容ニ差支ナシ傳染病院ハ埠頭ヨリ約三十間車馬通セス、開業醫七人(内齒科醫二人)内收容ノ設備ヲ有スルモノ二人收容人員計五十名
- 六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ石材開渠ヲ通シ海中ニ放流ス

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アム	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正五年七月十日	境小學校	透明	ナシ	中性	微量	微量	ナシ	ナシ	ナシ	ナシ	微量	適
同	同	家庭内	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	甲見熊	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	三郎方	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	細田	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	里見竹	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	次郎方	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

- 七、屠獸場ナク主トシテ米子町ヨリ供給ヲ受ク其ノ質良好ニシテ價格普通ナリ野菜ハ近隣町村及松江市

本州北岸及北西岸 鳥取縣

地方ヨリ供給ヲ受ケ稍潤澤ナリ、清涼飲料水ノ生産者ナク米子町松江市等ヨリ供給ヲ受ケ需用ニ支障ナシ

- 八、乗合馬車ナシ、人力車十一、舢舨百六十艘アリ
- 九、公園ナシ、劇場一、寄席一、共同便所ニアリ、公共團體ノ事業ニ係ル文庫圖書館ナシ、住民ノ氣風ハ地方ニ比スレハ稍奢侈ノ傾キアルモノノ如シ物價ハ普通ナリ

内海沿岸

(四國、九州沿岸ヲ除ク)

大阪府

大阪府大阪市

水上 大阪港内港、大阪水上警察署、築港分署所管
 陸上 其ノ他ノ河川、大阪水上警察署及木津川水上警察分署所管
 東、玉造、西、九條、朝日橋、北、曾根崎、南、難波、天王寺ノ各警察署

(大正六年七月二十八日調)

一、戸數三十一萬七千八百三十九戸 人口百五十萬七千六百六十人
 二、既往數年中大正五年ノ虎列刺及大正六年ノ痘瘡並五年末ヨリ六年ニ亘リテ四十一頭ノペスト鼠一名ノペスト患者ノ發生ヲ除キテハ特記スヘキモノナシ而シテ虎列刺ハ本年一月二十四日以降發生ヒス痘瘡亦現下終熄ノ狀態ニ在リペスト鼠ハ本年五月二十五日發見後其ノ跡ヲ絶テリ、地方病ナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ペスト	摘要
大正元年	一一五	三五一	九六六	一一一	—	—	四五	五二二	—	
同二年	—	一八〇	九八四	一五七	—	—	五五	五一三	—	
同三年	—	二六四	九七一	一五三	二	—	三六	四〇九	—	
同四年	—	五〇八	三六七	三〇三	—	—	三八	五二四	—	
同五年	九七六	五五六	三三四	二八三	四	—	四五	四三三	一	

内海沿岸 大阪府

本年虎列刺十四名、痘瘡九百六十五名アリタリ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、警察署アリ

四、浴場壹千五百拾軒、各戸一時ニ約五十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館四百八拾八戸收容概數壹萬五千人、料理店參百貳拾戸、妓樓壹千參百六拾五軒、公娼六千二百八名檢徽毎五日一回(松島仲ノ町一丁目、二丁目、高砂町一丁目、第一日、高砂町二丁目、花園町、十返町松島一丁目、第二日、難波新地四番町、第三日、難波新地甲部第四日、難波新地三番町、新町第五日)藝妓參千貳百八拾參人年二回組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢徽セス私娼蔓延ノ程度ハ

大正四年度檢舉處罰件數七百五十八件、大正五年度檢舉處罰件數一千百十六件

但シ右件數中ニハ一人ニテ數回檢舉セラレタルモノヲ含ム

五、私立病院七十一、收容人員二千二百〇一名(別添參照)避病院一(大阪市立桃山病院)、收容人員三百九十名設備完全ナリ(埠頭ヨリ約三里車馬ヲ通ス)埠頭ヨリ最近ノ病院(大阪築港病院、小林病院)迄約四丁最遠ノ病院(赤十字病院、天滿療病院)迄約三里其ノ他市内各所ニ散在シ孰レモ車馬ヲ通ス、開業醫師一千四百〇三名アリ患者ノ收容ヲ許サス

私立病院患者收容能力及入院料調

病 院 名	收容人員	病 院 名	收容人員
緒方病院(婦人科)	一〇〇名	東 病 院	二九名
濱 地 病 院	五	高 橋 眼 病 院	二三
私 立 福 井 病 院	五		

病 院 名	收容人員	病 院 名	收容人員
水口産婦人科病院	六	日本海員病院	五八
小林眼科病院	一三	柳 病 院	三五
堀 内 病 院	一三	大阪築港病院	二〇
私立今村病院	一五	宮 内 病 院	七
大阪紅門病院	一七	岩 崎 病 院	七
私立有澤病院	一三	淵 田 病 院	一五
柏原胃腸病院	五	多 屋 病 院	七
日 野 病 院	一〇	木 村 病 院	一〇
私立大阪河野病院	四八	深 澤 病 院	八
二 川 病 院	九	船 場 病 院	一七
高 安 病 院	四二	薄 田 病 院	二三
大阪胃腸病院	二七	濱 田 病 院	七
城 南 病 院	三三	社 團 法 人 實 費 診 療 所 大 阪 支 部 病 院	二〇
山 縣 病 院	三〇	飯 島 病 院	六
大阪慈惠病院	二三〇	心 齋 橋 病 院	一三
小笠原病院	一三	大 阪 宮 本 病 院	五
喜田村眼科病院	五	石 神 病 院	三八
華 中 堂 病 院	七	渡 邊 病 院	五

内海沿岸 大阪府

一三九

大阪精神病院	一二〇	共濟病院	七	土肥婦人科病院	一七
山田病院	一九	長生病院	一八	同生病院	一二〇
日本赤十字社大阪支部病院	二四八	私立大阪癲狂院	一〇八	和田病院	一六
久島病院	七	天滿療病院	一五	合計	二、二〇一

入院料

- 特等 約五圓
- 一等 參圓内外
- 二等 貳圓内外
- 三等 壹圓内外

六、上水道ノ設備アリ船舶ニ對シ給水設備ヲ有ス下水道ハ下水道法ニ依リ漸次改良セラレ完成ニ近キツ、アリテ其ノ汚水ハ市街ヲ流ル、河川ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	濁濁	色	臭味	反應	格魯兒	硫酸	硝酸	亞硝酸	安母尼亞	マンガン	固形物	飲料
上水道水	大正六年七月四日	西區本田	澄明	無色	異常ナシ	弱酸性	六五〇	痕跡	痕跡	檢出セス	檢出セス	二八〇	六五〇	適
同	同	南區東神田	同	同	同	加里性	六五〇	同	同	同	同	二六六	同	同
同	同	町共用檢	同	同	同	同	六〇〇	同	同	同	同	三〇〇	同	同
同	同	西區三軒家上ノ町共用檢	同	同	同	同	六〇〇	同	同	同	同	三〇〇	同	同

七、市内及市外ニ屠場各一ヲ有シ大正六年春期ニハ牛一日平均六十五頭位豚一日平均三頭位大正五年冬期ニハ牛八十七頭位豚十二頭半位ヲ屠殺シ生肉ヲ供給ス肉質良好ニシテ價格亦比較的低廉ナリ、果物及野菜ノ供給ハ極メテ潤澤ナリ、清涼飲料水ノ生産ヲ表示スレハ左ノ如シ(大正五年中)

- リモナーデ 一、二九一、三八〇合
- ソーダ水 九一、五五〇合
- ラムネノ類 三、七一二、二六四合
- サイダー類 三、〇二五、二四八合
- 雜類 五、二七六合
- 計 八、一二六、四一八合

八、人力車五千五百五十四、艇舟二千三百四十六アリ、市内ニハ電車ノ便アリ

九、公園二、劇場四十四、活動寫眞常設館二十九、府立圖書館一アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

大阪府堺市

水上 大阪水上警察署、陸上 堺警察署(大正六年七月二十八日調)

一、戶數一萬三千四百九十八戶 人口七萬一千八十五人

二、大正五年ノ虎列刺及大正四年ノ赤痢患者發生以外既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテハ本市及泉北郡ノ一部ニ流行性腦脊髄膜炎アルモ其ノ數多カラス大正元年以降五年ニ至ル五ケ年中本市ニ於テ該病患者九十名(一年平均十八名)ヲ見タルノミ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	癩疹	猩紅熱	質扶	ベスト	摘	要
大正元年	—	二七	二〇	九	—	—	五	三四	—	—	—
同 二年	—	五	一八	一六	—	—	六	三二	—	—	—
同 三年	—	三九	三〇	一〇	—	—	六	一七	—	—	—
同 四年	—	八〇	三四	一〇	—	—	五	三五	—	—	—
同 五年	三一	三七	二三	一二	—	—	六	一八	—	—	—

本年痘瘡患者二十七名アリタリ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、警察署アリ、水上警察署巡查部長派出所アリ

四、浴場五十五軒、各戸一時ニ約五十名ヲ收容スルコトヲ得、毎日午前四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等九戸收容概數八百五十名、二等六戸同二百名、三等十六戸同二百名、料理店一等十三戸、二等十六戸、三等十七戸、妓樓二百五軒、公娼五百九十一名檢査毎五日一回、藝妓三百二十四名毎年二回組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢査ヲ行ハス

五、私立病院三、收容人員竹村病院八、松島産婦人科病院五、大阪井上病院堺分病院八、設備完全ナリ入院料一等一圓三十錢乃至二圓、二等九十錢乃至二圓、避病院一、收容人員四十名設備略完全ナリ(埠頭ヨリ約十五丁車馬ヲ通ス)前記私立病院三ハ孰レモ埠頭ヨリ約六丁車馬ヲ通ス、開業醫六十二名アリ患者ノ收容ヲ許サス

六、水道ノ設備アリ船舶ニ對スル給水設備ヲ缺ク船舶ハ概ネ大阪港ニ於テ給水ヲ受ケ居ルモノ、如シ、下水ハ市ノ邊隅ニ在リテハ未タ完全ナラスト雖漸次完成シツ、アリ

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁	色	臭味	反應	格魯兒	石灰	アムモニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
上水道	大正六年七月四日	南深江町水栓	澄明	ナシ	異狀ナシ	弱酸性	15000	?	檢出セス	痕跡	檢出セス	痕跡	?	適
同	同	市ノ町水栓	同	ナシ	同	同	15000	?	同	同	同	同	?	同

七、市外神石村ニ屠場ヲ有シ大正六年春期ニハ牛一日平均十一頭位大正五年冬期ニハ牛十六頭位ヲ屠殺シ生肉ヲ供給ス其ノ質良好ニシテ價格モ比較的廉價ナリ果實野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ野菜ハ近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス、清涼飲料水ノ生産額ヲ表示スレハ左ノ如シ(大正五年中)

リモナーデ 八〇、六七三合
 サイダー類 三〇、二二〇合
 ラムネノ類 一九二、〇〇〇合
 計 五七四、八九三合

八、乗合馬車三、人力車百三十五、艇舟三百七十アリ、電車ノ便アリ
 九、公園一、劇場三、活動寫真館一、共同便所五十七、住民ノ氣風ハ大阪市ニ比シ奢侈ノ程度低キカ如シ物價ハ比較的高價ナリ

兵庫縣

兵庫縣神戸市

神戸警察署、兵庫警察署、神戸水上警察署、相生橋警察署、湊川警察署(大正六年七月二十日調)

一、戸數十二萬一千八百五十四戸 人口五十二萬九千八百六十五人(大正五年末現在)
 二、傳染病發生數ハ左表ノ如クニシテ、赤痢、チフスハ年々四季ヲ通シテ發生ヲ見年ニ依リ病勢消長アルモ常ニ散發性ニシテ流行狀態ヲ呈シタルコトナシ、輸入傳染病中「ペスト」ハ往年ノ流行後病勢全ク根絶シタリシカ大正二年中南洋諸島ノ病竈地ヨリ病毒ノ侵襲ヲ被リタルモ僅ニ患者六名ノ發生ヲ見タルノミニシテ幸ニ撲滅ノ功ヲ奏シ爾來全ク其發生ヲ見ス、コレラハ最近兩三年其侵襲ヲ免レタリシカ

昨年中九州地方ヨリ來ル船舶ノ齎ス處トナリ夏秋ニ互リテ激烈ナル流行ヲ呈シタルモ防疫施設ト相俟テ時季寒冷ニ向フニ隨ヒ病勢衰退シテ本年ニ後遺シタル病毒ハ去ル二月迄ニ於ケル四名ノ患者發生ヲ最終トシテ全然終熄セリ、痘瘡ハ既往殆ト十年間其發生ヲ見サリシカ昨年突如トシテ流行ノ端ヲ開キテヨリ緩漫ナル狀態ヲ以テ繼續發生シツツアリ此ハ大都市ノ常トシテ人口動態ノ複雑頻繁ナル爲メ一部未種痘者ノ存在ハ蓋シ本病侵襲ノ隙ヲ與フルニ由ル然レトモ今ヤ全市ヲ通シテ種痘ノ普及ニ銳意セラルヲ以テ漸次病毒殄滅ヲ見ルノ期近キニアルヘシ

年次	虎列刺	赤痢	腸胃扶私	バラチ	痘瘡	發疹	猩紅熱	實扶	瘧疾	要
大正元年	三〇	三三三	三三九	五九	三	二九	一六四			
大正二年	四二二	三三二	一〇九			三六	二三三			
大正三年	九一〇	四一九	一〇三			五三	二三七			
大正四年	一二三四	四七三	一三三			三四	三三〇			
大正五年	五〇一	六一二	四二五	一四一	一九三	二五	二一六			
同六年六月迄	四	八五	九六	二二	四〇七	一九	二二二			

地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

三、縣廳、港務部、海港檢疫所、縣立測候所、警察署五、同派出所九四、同立番所九、神戸市役所

神戸郵便局、神戸三宮郵便局、神戸電信局、神戸三宮電信局、神戸電話局、神戸三宮電話局、神戸鐵道郵便局、神戸税關、大藏省臨時建築課出張所、神戸税務署、神戸地方裁判所、西郡鐵道管理局、輸出植物検査所、神戸監獄、神戸縣隊司令部、鹽海棧監獄出張所、北海道移民取扱所

四、浴場二六一軒、外ニ鑛泉場二每日午前六時前後ヨリ開始、旅館一五七軒、旅館ノ等級ハ其程度難多ニシテ區別シ難シ、料理店三五〇軒、飲食店一、五三三軒、遊廓二、妓樓一一八軒、娼妓一、二八二名、檢査五日毎ニ一回藝妓ニ對スル健康診斷ヲ行ハス、私娼蔓延ノ程度ハ其實際ヲ調査スルコト至難ナリ尤モ密賣淫常習者トシテ計上シタル最近五ケ年間ノ數左ノ如ク累年減少ノ傾向ヲ示シツツアリ是レ一般經濟狀態ニ基因スル處アルヘキモ主トシテ警察取締勵行ノ結果トス(本欄指數ハ凡チ大正五年末現在トス)

大正元年末	二年末	三年末	四年末	五年末
二二四	三三三	一〇六	九二	一〇八

五、縣立病院二、收容力二二五名(内一ハ婦) 官立鐵道病院一、私立病院三〇(産、眼、小兒、耳鼻、精神病等) 其設備ハ病院ニ依リテ等差アリテ一定セス患者收容力ハ海員接濟會病院(八十一名)鐘紡兵庫病院(九十四名)佐野病院(二五)ヲ主ナルモノトシ其他ハ七、八名乃至二十名内外トス各病院ハ埠頭ヨリノ距離遠近アルモ電車、自動車其他ノ車馬ニヨリ交通ノ便アリ、傳染病院一、收容人員二百名設備最モ完全ニシテ模範的ナリ尙傳染病感染ノ疑アル者ヲ收容スヘキ隔離所アリ、市内開業醫四百七十九名(病院規則ニ依ル設備ヲ爲ササル限リ患者收容ヲ許サス)

六、上水道ハ全市ニ普及シ其使用歩合五八%ヲ示セリ他ハ何レモ井水ヲ使用スルモノトス、由來當市上

水ハ人口増加ノ著シキ爲メ夏季ニ際シ雨量少キトキハ水源涸渴シ供給不足スルヲ常トス然レトモ目下
 工事中ノ水源池擴張工事ニシテ完成セハ供給潤澤ナルヘキ見込(本年九月頃完成)ナリ、下水ハ市内各
 主要地ヨリ河川又ハ海岸ニ通スル八大幹線ノ暗渠式下水溝ヲ設ケ各戸ヨリ排出スル汚水ヲ收容ス而シ
 テ當市ハ地勢前面ニ海ヲ控ヘ後ニ山ヲ負ヒ勾配アルヲ以テ汚水ノ停滯ヲ見ルコトナシ

水質検査成績(上水)

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	モニア	硫酸	亞硝酸	硝酸	細菌聚落	飲料適否
上水	大正六年七月十六日	北野浄水池	澄清	無	二〇〇	三九五	—	無	痕跡	無	痕跡	一八	適
同	同	奥平野浄水池	同	同	二五〇	四三〇	—	無	同	同	同	一九	同

七、屠場ハ一ヶ所アリ四季ヲ通シ平均一日五十頭ヲ屠殺ス其屠肉ハ市内ノ需用ニ應スルノ外碇泊艦船又
 ハ附近町村及他府縣ニ供給セララルモノ不尠其肉質良好ナリ、市ノ末端ニ牛乳搾取場數ヶ所アリ供
 給充分ナリ乳質ハ取締ヲ勵行セルヲ以テ概シテ適良ト認ム、生魚ハ附近沿海ノ漁撈ノミヲ以テ需用ヲ
 充タス能ハサルモ隣府縣及長崎其他ノ地方ノトロール生魚ノ移入頗ル多キヲ以テ供給不足ヲ訴フルコ
 トナシ、菜果ハ隣接町村ノ生産品ハ素ヨリ他府縣及遠ク臺灣ヨリ移入スルモノ等不尠、清凉飲料水製
 造所ハ五十二ヶ所アリ就中ラムネ、サイダ類ヲ主トシ其供給潤澤ナリ尙稍高尚ナルモノトシテハ隣郡
 鑛泉地ヨリ移入スル製品亦不尠、要スルニ當市ハ開港地タルノミナラス本縣ニ於ケル中央市場トシテ
 物資ノ集散頗ル頻繁ニシテ各種市場ハ一般ノ需用供給ヲ適當ナラシメツ、アリ

八、自働車(營業用)二二臺、人力車二、九二二輛、自轉車四八六、牛馬荷車七七三輛、荷車一一、五〇
 四輛、汽船(當港ニ席ヲ有スルモノ)二〇五隻、舢舨三、一九三隻、和船六五八隻、發動機船四六隻
 九、公園三(諏訪山、湊川、大倉山)、劇場九、寄席三〇、活動寫真館一一、市立圖書館一、衛生ニ關ス
 ル公益團體一私立神戸市衛生會、兵庫縣結核豫防會アリ物價ハ時局ノ影響ニ依リ騰貴セリ
 兵庫縣武庫郡御影町 御影警察署(大正六年七月十八日調)

一、戶數一千九百六十戸 人口八千六百六十五人
 二、傳染病ハ昨年各地ニ虎列刺病患者發生セシ爲メ其波及ヲ受ケ十六名ノ同病患者ノ發生ヲ見ルニ至レ
 リ然レトモ地方病トシテ特記スヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸窒扶私	チフス	痘瘡	發熱	瘧疾	猩紅熱	斑痧	ペスト	瘧	要
大正元年	—	二	—	五	—	—	—	—	—	—	—	—
同二年	—	六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同三年	—	九	—	九	—	—	—	—	—	—	—	—
同四年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同五年	一六	六	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

本年一月以降六月末ニ至ル間ニ於ケル傳染病患者ハ腸窒扶私五、痘瘡二ニシテ比較的傳染病患者ハ少

數ナリ、而シテ大正五年ニ於テ著シク増加セルハ當地ハ二三年前ヨリ人口ノ激増ニ連レ隨テ交通頻繁ナルヨリ退年増加スルハ數ノ免カレサルモノト認メラル

三、警察署一、巡查派出所一、郵便電信局一アリテ電話ノ設備アリ、神戸區裁判所登記所御影出張所一、町役場一

四、湯屋ハ七戸ニシテ各戸一時ニ十五六名宛ヲ收容シ得、内一ハ午前六時ヨリ開始シ居ルモ他ノ六戸ハ午後一時ヨリ開始スルモノタリ、旅館一等二收容概數六十名、下宿五收容八十名、料理屋十三戸ニシテ收容概數八十名位内八戸ハ仕出料理屋ニシテ遊興客ヲ收容スルモノ五戸ノミタリ公娼ナシ、私娼ナシ

五、官公立病院ナシ、隔離病舎一收容人員二十名設備不完全ナルモ收容ニハ支障ナシ、開業醫師ハ十四名ニシテ患者ヲ收容ノ設備アルモノナシ、齒科醫師ハ三名ニシテ是亦患者ヲ收容スル設備ナシ
六、水質ニ付テハ水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街路ニ沿ヒタル小溝ヲ通シテ皆海ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アモニア	硫酸	亞硫酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正四年九月二十日	御影町掛田	ナシ	ナシ	微弱アルカリ	少量	不檢出	不檢出	不檢出	不檢出	不檢出	痕跡	限定以下
堀抜井水	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

大正四年九月御影町ノ井水全部ニ對シ水質検査ヲ行ヒタルニ其結果左ノ如シ

検査個數一千六百三十内

飲用ニ適スルモノ 一千四百四十四

濾過飲用ニ適スルモノ 五十五

飲用不適ノモノ 四百三十三

七、屠場ナシ肉類ハ神戸ヨリ移入シ汽車電車ノ便アルヲ以テ極メテ新鮮ノモノヲ得ラル又神戸肉ハ本邦ニ於テ品質有名ナル佳良ノモノ、果物類ニ於テモ皆近郷ヨリ移入スルモノニシテ野菜類ノ供給ハ稍ヤ潤澤ナルモ價格ハ比較的高價ナリ、清涼飲料水ラムネ、密柑水ノ製造所一アリテ年内ノ生産高昨年ハラムネ八十一石六斗、密柑水十七石二斗ニシテ其他飲料水ハ阪神地方ヨリ移入シ來ルモノタリ

八、乗合馬車ナシ、人力車三十五、艇舟ナシ

九、公園ナシ、劇場ナシ、活動寫眞常設館ナシ、寄席一アルノミ、共同便所ナシ、文庫及圖書館ナシ、凡テ住民ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ高價ナリ

十、本調査ハ單ニ御影町ノミニ限定シ居レルモ御影町ハ阪神間ニ介在シ殊ニ當町以西ハ殆ント神戸市連續的市街ヲ爲シ居レル爲メ神戸市ノ状態ト變化ナシ

兵庫縣尼崎市

尼崎警察署(大正六年七月十九日調)

一、戸數六千八百七十五戸 人口三萬一千六百十八人

二、

最近五年間傳染病患者發生表

内海沿岸 兵庫縣

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	バラチフス	痘瘡	實布埤利亞	摘要
大正元年	五九	一四	一二	三	一	四	
大正二年	—	三四	一二	三	—	五	
大正三年	—	二六	八	—	—	九	
大正四年	—	一七	一〇八	四	—	五	
大正五年	一二六	一一	二九	—	三	一〇	

地方病ト認ムルモノナシ

- 三、尼崎郵便局、尼崎東町郵便局、尼崎西町郵便局、神戸區裁判所尼崎出張所、神戸税關監視員出張所、鐵道院尼崎驛、尼崎市役所、巡查派出所四、電信電話アリ
- 四、浴場十九軒各戸一時ニ六十名ヲ收容シ得、毎日午前六時開始午後十二時迄ヲ例トス、旅館五軒一等二戸百名、二等一戸五十名、三等二戸四十名ヲ收容シ得、料理屋十九軒一等三戸、二等五戸、三等五戸、四等六戸、藝妓二十三名アリ健康診断ハ行ハス、私娼ト認ムヘキモノ現下ナシ
- 五、私立病院三收容人員五十名、入院料特等一日三圓五十錢、一等二圓、二等一圓二十五錢、院内ノ設備稍整頓シ居レリ、傳染病院一收容人員三十五名、常設院長一名、看護婦一名、事務員一名アリ院内稍完全セリ、中馬病院ハ埠頭ヨリ約十町、向島病院ハ七町、阪本病院ハ十七町但シ埠頭ヨリ市内ニ通スル交通極メテ不便ナルモ車馬ノ交通ニ支障ナシ、開業醫二十一名患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ
- 六、當市ハ目下水道起工中ニシテ市内ハ全部井水ヲ使用セリ、船舶ニ對シ給水設備トシテ八ヶ所ノ井戸

ヲ充テアルモ何レモ飲料ニ適セス、一般飲料ニ供シツ、アル本光寺井水ノ水質検査ノ成績ハ多量ノクロールヲ含有スルモ稍飲料ニ適スルノミ、下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ヨリ稻川、左門殿川ニ放流シ港口ニ流出セリ

七、屠場ナシ、野菜ハ近隣村落ヨリ集マルモノ及大阪市ヨリ供給ヲ受ケツ、アルモ潤澤ナラス唯供給ヲ充スノミ

八、乗合馬車ナシ、人力車五十臺、艇ナシ

九、當港灣ハ水心淺ク、船舶ノ交通極メテ困難ノ状態ニアリ、當市ハ大小工場約百ヲ算スルニ至リ從テ荷物ノ集散頗ル多ク諸種ノ設備等尤モ急務トシ市當局等ニ於テ目下港灣改築其他計畫中

兵庫縣明石郡明石町

明石警察署(大正六年七月十日調)

一、戸數六千九百七十一戸 人口三萬〇八百四十五

二、既往數年中大正四年ニ於テ腸室扶私、赤痢大猖獗ヲ極メ同五年中ニ於テハ虎列刺大ニ流行シ慘狀ヲ呈セリ其ノ他地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布埤利亞	ベスト	摘要
大正元年	九	四	四	—	—	—	—	—	—	
同 二年	—	五	七	—	—	—	—	九	—	

同	三年	一	二〇	二四	一	一	一	七	一
同	四年	一	一九二	三一	八	一	一	一	一
同	五年	九二	六	一八	一	一	三	一	一

- 三、區裁判所出張所一、警察署一、稅務署一、郡役所一、停車場一、公證人役場一、町役場一、郵便局
- 二、電話ノ設備アリ、巡查派出所四、(區裁判所出張所ハ本年九月頃明石區裁判所トナル筈ナリ)
- 四、浴場二十五軒各戸一時ニ約三十人宛ヲ收容スルヲ得、午後三時ヨリ開始スルヲ例トス、内四戸ハ朝湯ヲナシ居レリ、旅館一等七戸收容各戸概數四十名、二等十三戸收容各戸概數三十名、三等三十一戸收容各戸概數十五名、料理屋一等六戸、二等十六戸、三等四十七戸(此收容概數千六百六十人)貸座敷營業者十四戸、公娼百二十七名五日毎ニ檢査ス藝妓檢番三、藝妓置屋數二十二戸、藝妓數百一名、藝妓免許前醫師ノ健康診斷ヲ受ケシムルモ毎月ハ檢査ヲ行ハス其他私娼ト認ムルモノナシ然レトモ各飲食店等ノ雇女ハ賈淫ノ行爲往々アルヲ嚴重取締ヲ爲スカ故ニ格別蔓延ノ傾向ナシ
- 五、私立病院一收容人員(港病院)十七名設備稍完全入院料一等一圓三十錢、二等一圓、三等八十錢、避病院一收容人員二十名設備ハ不完全ナルモ收容ニハ支障ナシ、明石港ヨリ約十丁車馬ヲ通ス、港病院ヨリ海岸ヘ約三丁車馬ヲ通ス、開業醫二十七名内(患者收容ノ設備ヲ有スルモノ一名收容人員十七名即チ港病院ナリ)
- 六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シテハ給水設備ヲ有セス下水ハ完全ニシテ町

内地中ヲ縱横ニ貫通シ港内港外ニ放流ス

水質檢査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	モニアム	硫酸	亞硝酸	硝酸	有機物	飲料適否
掘井戸	大正六年七月十日	明石町内大藏谷	透明	無	弱アルカリ性	微量	無	無	微量	無	無	微量	適
同	同	同町内大明石村	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

- 七、町内ニ屠場ヲ有シ居ルモ數丁隔リタル山麓ニアリ冬季ハ毎日二三頭夏季ハ隔日一頭宛屠牛ヲ爲ス町内ニ魚市場二ヶ所アリ魚類ノ供給豊富ニシテ質良好ナリ、青物市場ハ町内ニ二ヶ所ヲ有シ野菜類ノ供給潤澤ニシテ附近村落ニ於テ生産ス、清涼飲料水製造所ハ町内ニ一ヶ所アリ一ヶ年ラムネ製造高約二十萬本サイダー約四萬本ニシテ明石加古美囊ノ三郡ニ販路ヲ有シ何レモ適品ナリ
 - 八、乗合馬車八、人力車二〇五、巡航船六、解船一五
 - 九、遊園地一、學校六、諸工場三九、劇場二、寄席三、公會堂一、電燈會社一、瓦斯會社一、明石文庫ト稱スル圖書館一、共同便所二二アリ、住民ハ勞働者多ク殊ニ近來諸物價比較的高ク氣風ハ一般ニ奢侈ニ流ル、ノ嫌ナシ
- 兵庫縣津名郡洲本町
- 一、戸數四千二百七十七戸 人口一萬七千六百〇一人
 - 二、昨大正五年虎列刺病流行シ五十七名ノ患者ヲ出シタルモ其他ニ流行シタルコトナク地方病トシテ特

内海沿岸 兵庫縣

ニ認ムヘキモノモ亦ナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸炎扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年	六	三五	一三					二			
同二年		五	二					一四			
同三年		四二	六	一				一			
同四年		二〇	一一	五				六			
同五年	五七	四三	一四		一		二	六			

本年六月赤痢一、同月腸炎扶私一、六月迄ニ實布埵利亞七、痘瘡一ヲ發生避病舎ニ收容爾來續發患者ナシ

三、洲本區裁判所、神戸監獄洲本分監、洲本稅務署、津名郡役所、洲本郵便局(電信電話ノ設備アリ)洲本警察署、同外通町巡查派出所、洲本町役場等アリ

四、浴場十八軒各戸約二十名ヲ收容スルヲ得、毎日午後二時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等四戸收容概數百七十名、二等十一戸、同二百四十九名、三等十四戸、同百七十一名計五百九十名、料理店一等五戸、二等十一戸、三等九戸、飲食店百二十六戸、妓樓十八軒、公娼四十八名檢徽毎月六回(但シ五日毎)料理店二十五軒、藝妓四十五名アリ但シ檢徽ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノ四アリ

五、病院ナシ、避病舎一、收容人員二十名、設備不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、但シ附近ニ縣營細菌検査所アリ、避病舎ハ埠頭ヨリ約十町アリテ車馬ヲ通ス、開業醫二十三名

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シテノ給水設備ハ不完全ナルモノ一アリ、下水ハ稍々完全ニシテ各街路ノ兩側ニ混凝土開渠ヲ通シ市外ヲ流ル、河川及港灣ニ放流ス

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	クロール	石灰	アモニア	硫酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正四年四月	洲本町ノ内船場町	清	無	アルカリ性	多量		無	少量	無	少量	以下適
井水	同	同町ノ内漁師町	同	同	中性	同		同	痕跡	同	同	不適

七、屠畜場一ヲ有シ冬季ハ一日二―三頭夏季ハ一ヶ月約五―六頭ノ屠牛ヲ爲シ生肉ヲ供給ス其質良好ニシテ價格モ亦比較的廉價ナリ又時々馬、豚等ヲ屠殺スルコトアリ、野菜ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣村落ニ於テ多量ニ生産ス、夏季清涼飲料水製造所二ヶ所アルモ供給不足ノ爲メ他ヨリ移入ス

八、人力車九十三、棧橋二アリ、舢舨トシテ無之モ必要ニ應シ二十艘位アリ

九、公園一、劇場一、寄席一、共同便所七、公共團體ノ事業トシテ津名郡立圖書館一アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

兵庫縣津名郡岩屋町

一、戸數一千五百六十戸 人口七千五百三十七人

兵庫縣岩屋警察分署(大正六年七月十九日調)

二、大正五年九月二日ヨリ同年十月二十七日迄ノ間ニ於テ岩屋町内ニ虎列刺患者六十五名發生ス其他地方病トシテナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年			三	七一							
同二年				二							
同三年			一	一〇							
同四年				一三							
同五年	六五			二三							

本年五月二十一日腸室扶私患者一人發生六月八日死亡目下ナシ、其他傳染病患者更ニナシ

三、岩屋郵便局(電話ノ設備アリ)、岩屋警察分署、岩屋町役場、大阪衛戍病院岩屋分院等アリ

四、浴場九戸一時ニ約四十名ヲ收容スルコトヲ得、毎日午後三時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等三戸、收容概數百二十名、二等二戸四十名、三等六戸百二十名計二百八十名、料理店一等三戸、二等二戸、藝妓置屋一戸、藝妓數八名、雇仲居置屋一戸、雇仲居三名、公娼ナシ、其他私娼ト認ムルモノナシ

五、私立病院ナシ、避病舎一收容人員三十五名、設備完全ニシテ收容ニ支障ナシ、開業醫五名アルモ收容ノ設備ナシ

六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ用フ船舶ニ對シ給水ノ設備ナシ下水ハ完全ナルモノナシ甚シキ所ニ於テハ街路ニ放流スル處アリ

水質検査成績

種類	採取月日	採取場所	清濁色	臭味	反應	コロイド	石灰	モニアム	硫酸	亞硫酸	硝酸	有機物	飲料適否
井水	大正四年八月十五日	自宅	清	ナシ	弱アルカリ	多		ナシ	少	ナシ		以下	不合格
同	同	同	同	同	同	少		同	同	同		同	合格

大正六年八月十五日採取検査ヲ爲シタルモノニシテ井戸數三百十一ニシテ合格井水五十九ヶ所不合格二百五十二ヶ所ナリ

七、屠獸場ナシ、野菜ハ明石町ヨリ供給スルト浦村、釜口村等ノ附近村落ヨリ運ヒ來ルモノアルヲ以テ不自由ヲ感スルコトナシ

八、乗合馬車二臺、人力車六臺、艇舟六隻アリ

九、公園ト稱スルモノナキモ當町ニ繪島、大和島等アリ淡路島中最モ風光ノ地タルヲ以テ夏氣中阪神地方人士多數來遊セリ、劇場一、寄席(工事中)一、住民ハ一般漁民ニシテ性朴直ナリ物價ハ比較的高價ナリ

兵庫縣津名郡由良町

一、戸數一千八百七戸 人口一萬五十四人

由良警察分署(大正六年七月十三日調)

二、明治四十一年八月一日部内由良町ノ内四丁目市原マツ百斯篤病ニ罹リタルヲ初發トシテ同年十一月二十八日迄ノ間ニ患者續發百十一名ニ及ヒタルモ當時理想的消毒豫防ニ努メタル結果遂ニ終熄シタルモノニシテ其系統神戸市ニアリタル如シ而シテ地方病トシテ特ニ認ム可キモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チバラス	痘一瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年			一								
同二年			四								
同三年		五	三								
同四年			三								
同五年	三四	一									

三、由良要塞司令部、洲本警察由良分署、和歌山憲兵分隊由良分遣所、重砲兵第三聯隊第三大隊、由良郵便局、由良町役場アリ、電話設備トシテハ軍用、警察用、由良電燈會社専用、私設電話及當町長、郵便局長其他有志相謀リ既ニ其筋へ請願ヲ了シ最近架設スル等ナル特設電話アリ、巡查派出所、救難所ナシ

四、浴場十ヶ所アリ各戸一時ニ男女合シテ約三十名ヲ收容スルヲ得、毎日午後三時ヨリ午後十二時迄ヲ入浴時間トス、旅館ハ一等三戸(料理屋兼業)收容概數ハ宿屋取締規則ノ最少限度三疊ニ對スル二人ノ

割合ヲ以テセハ二百十名、二等三戸(兼業)同八十名、三等三戸(水賃宿ト俗稱スルモノ)同四十名計三百三十名、料理屋ハ一等三戸(宿屋兼業)二等四戸(内二戸宿屋兼業)三等八戸ナリ、公娼妓樓ナシ而シテ料理屋十五軒藝妓置屋二軒ニシテ現在藝妓十名酌婦十九名アリ時々組合醫師必要ニ應シ健康診断ヲ行ヒ居ルモ特種ノ事情ナキ限リ檢査ヲ行ハス

五、深山衛成分病院アルモ勿論軍人外ハ收容セス他ニ病院トシテナク、避病院一收容力約八名設備稍々不完全ナルモ收容ニ支障ナシ海岸ヨリ約三丁ヲ距ツ

六、由良町ハ概シテ井水ノ水質不良ナルカ爲メ不完全ナルモ當町ノ内宮ノ谷及禪寺谷ヲ水源トシテ鐵管ヲ以テ水道ヲ布設シ各町ニ一ヶ所乃至二ヶ所ノ放水口アリ町民ハ辛フシテ飲料水ノ供給ヲ得ルモ貯水ノ設ケナキ故ニ夏期降雨久シクナキ場合ニハ飲料水ヲ得ルニ汲々タリ、下水ハ町費ヲ以テ漸次改造ヲ加ヘツ、アルモ未タ完全ヲ期スル能ハス石材ヲ以テ溝ヲナシ由良港内ニ放流ス、水質檢査ハ成績不明ナルモ大正四年七月檢査ニ依レハ檢査總數三百十二(井水)中、適七十、不適二百三十、要濾過十二、船舶給水ノ便ナシ

七、當町ヲ距ル約二里ノ洲本町ニ屠場ニアルモ夏期ノ如キハ全ク請賣スルモノナク冬秋季ト雖モ一時ニ貫目以上ノ生肉ヲ得ルコト困難ナリ魚類ハ漁業者多キモ生魚出買船ト稱スルモノアリテ海上ニテ賣買ヲナシ大阪方面ニ輸送ス故ニ比較的拂底且高價ナリ、野菜ノ供給潤澤ナラス元來當町附近ハ生産力頗ル振ハス爲ニ需用ヲ充タス能ハス和歌山市方面ヨリ供給ヲ仰キツ、アルノ現況ニシテ供給不便歎ラス

八、人力車九臺、舢舨十艘アリ

九、公園ナシ、劇場一アリ、住民ノ氣風一般ニ奢侈ニ流レントスル傾アリ故ニ概シテ物價高價ナル方

廣島縣

廣島縣佐伯郡嚴島町

嚴島警察分署(大正六年七月十二日調)

一、戸數七百八十二戸 人口三千六百四十二名

二、既往數年間著シキ流行病ナシテ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸室扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年											
同二年											
同三年			一								
同四年			二								
同五年	二	八	二四	一							

本年六月迄腸室扶私患者七名發生隔離病舎ニ收容爾來續發患者ナシ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ

四、浴場一軒一時ニ約三十名ヲ收容スルヲ得、毎日午前六時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館特等二戸收容概數二百六十五名、一等四戸百五十三名、二等九戸百十六名、三等二十戸百六十七名、四等(木賃)三戸十七名計七百十八名、料理店特等二戸、一等四戸、二等六戸、三等七戸、妓樓四戸、公娼二十二名檢徴五日目毎ニ一回、藝妓置屋六軒、藝妓二十六名、毎月二回組合醫師ノ健康診斷ヲ受クルモ檢徴ヲ行ハス其他私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院ナシ隔離病舎一收容人員十名設備不完全ナルモ收容ニ支障ナク、海岸ヨリ約一丁ヲ距ル、開業醫二名何レモ患者收容ノ設備ナシ

六、水道ノ設備ヲ缺ク飲料水ハ悉ク井水又ハ川水ヲ使用シ、船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス、下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ開渠ヲ通シ市街ノ一方ニ面セル海岸ニ放流ス、水質檢査ヲナシタルコトナシ

七、屠獸場ノ設備ナシ、野菜果物ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産移入シ居レリ、清涼飲料水ノ製造所ナキモ廣島市其他ヨリ供給潤澤ナリ

八、車馬ノ設備ナシ、艇舟六十六艘アリ

九、公園一、劇場、活動寫真常設館ノ設備ナシ、共同便所六、公共團體事業ノ設備ヲ缺ク、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

廣島縣尾道市

尾道警察署(大正六年七月十九日調)

一、戸數六千四百四十五戸 人口二萬四千二百八十八人

大正五年十二月末日現在

二、大正五年虎列刺、赤痢(疫痢ヲ含ム)腸室扶私流行セルモ著シキ流行病ナク且地方病トシテ特ニ認ム

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸炎扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	質布	ベスト	摘	要
大正元年	一	三	九	一	一	一	一	五	一		
同二年	一	二	五	一	一	一	一	七	一		
同三年	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
同四年	一	一	一	一	一	一	一	四	一		
同五年	二六	九	二二	一	一	一	一	四	一		

本年三月迄實布埤利亞患者二名發生シタル外傳染病患者發生セス

- 三、郵便電信局、電話設備アリ、巡查派出所、水上巡查見張所、市役所、稅務署、尾道區裁判所、廣島專賣支局尾道出張所、尾道分監、尾道診療院、御調郡役所等アリ
- 四、浴場二十軒各戸一時ニ約二十名ヲ收容スルヲ得、毎日正午十二時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等十七戸收容概數二百三十八人、二等三十四戸收容概數四百八十八人、三等五十八戸收容概數六百十八人計百九戸千二百六十四人、料理店一等十二戸、二等二十五戸、三等四十六戸、妓樓七十三軒、公娼百七人五日毎ニ一回檢査、料理店八十三軒、藝妓八十五人、藝妓ノ檢査及健康診斷ヲ行ハス、私娼ナシ
- 五、私立病院ナシ、尾道傳染病院一、一等使用料一日一圓、二等使用料一日五十錢、三等使用料ナシ收

- 容人員一等四人二等四人三等二十一人設備完全、埠頭ヨリ尾道傳染病院迄約十町車馬ヲ通ス、開業醫三十八名患者收容ノ設備ヲ有ス(但六七名ハ入院設備ナシ)收容人員約二百人
- 六、水道ノ設備ヲ缺ク、飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス、船舶ニ對シ給水ノ設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ各街路ノ兩側ニ土管又ハ開渠ヲ通シ川若クハ海岸ニ放流ス、水質檢査ヲ行ヒタルコトナシ
- 七、屠獸場ナシ、野菜、果實ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産ス、清涼飲料水製造所一ヶ所ニシテ殆ント他ヨリ輸入ヲ受ケ居ルモ供給上不足ナシ
- 八、乗合馬車四、人力車三八、舢舨一五艘アリ
- 九、公園ナシ、劇場一、常設興行場二、共同便所一六、市設圖書館一アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ高價ナリ

廣島縣廣島市宇品町

宇品警察分署(大正六年七月二十日調)

- 一、戸數千九百七十七戸 人口六千四百五十人
- 二、既往數年間著シキ流行病ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸炎扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	質布	ベスト	摘	要
大正元年	一	一	一	一	一	一	一	一	一		
同二年	一	一	一	一	一	一	一	二	一		

大正三年	一	二	一	一	一	一	一
同四年	一	一	一	一	一	一	一
同五年	六	四	四	一	一	一	一

本年五月實布埜利亞患者一名發生爾來患者ナシ

三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、巡查派出所、水難救濟會宇品救護所、陸軍運輸本部、同糧秣支廠宇品驛、憲兵分遣所、税關監視署アリ

四、浴場十軒各戸一時ニ約三十名ヲ收容スルヲ得、毎日午後一時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等四戸收容概數平均九十五名、二等六戸收容概數平均六十名、三等三十七戸平均二十五名計千六百六十五名、妓樓公娼共ニナシ、藝妓一人健康診斷又ハ檢徴ヲ行ハス、私娼三十名位一ヶ月三回組合醫師ノ檢徴ヲ受ク其人員ハ殆ント増減ナク別ニ蔓延ノ狀況ナシ、料理屋二等一戸三等ナシ

五、當宇品町ハ廣島市内ニ在リ宇品町トシテハ開業醫師二名アルノ外病院、避病院ナキモ宇品埠頭ヨリ約一里内外ノ地ニ於テ別紙記載ノ病院アリ

病院調査

名稱	公私立別	所在地	醫師ノ數	病室數及收容人員ノ數	日等	二付	三入	隊料
立私	小久保病院	天神町	三	二種病室 收容人員	一三三	七〇〇	六五〇	五〇〇
立私	堀田眼科病院	大手目五地	三	三種病室 收容人員	三六〇	一、五〇〇	九〇〇	八五〇
立私	久保病院	天神町	三	二種病室 收容人員	一三三	七〇〇	六五〇	五〇〇

立私	博愛病院	下中町	三	三種病室 收容人員	三〇〇	五〇〇	四五〇	四〇〇
立私	波病院	立町	三	三種病室 收容人員	五〇〇	七〇〇	六〇〇	四五〇
立私	田邊外科病院	尾道町四三三	三	三種病室 收容人員	三〇〇	五五〇	四五〇	三五〇
立市	船入病院	船入町官有地	四	四種病室 收容人員	五八〇	四五〇	四五〇	三五〇
立私	中西産科	大手町五丁	三	四種病室 收容人員	二〇〇	七〇〇	五〇〇	五〇〇
立私	婦人科	目六三三	三	二種病室 收容人員	二〇〇	七〇〇	五〇〇	五〇〇
立私	澄川内科病院	同六丁目一	二	二種病室 收容人員	二〇〇	八〇〇	六〇〇	六〇〇
立私	江口病院	中島本町	三	三種病室 收容人員	三三〇	八〇〇	六五〇	六〇〇
立私	廣島病院	水主町	二	八種病室 收容人員	二二三	七〇〇	六五〇	四五〇
立私	水野病院	水主町三一	二	三種病室 收容人員	二五〇	八〇〇	六〇〇	六〇〇

備考 船入病院ニ於ケル入院料記載ナキハ同院ハ廣島市ノ避病院ニシテ入院料ヲ徴セサルニ依ル

六、當宇品町ハ廣島市内ニ在リテ悉皆水道上水ヲ供給シツ、アルモノニシテ井水並河水等ヲ使用スル事ナク而モ水道上水ハ水源豊富ニシテ市民ハ勿論宇品港ニ出入スル船舶ニ對シ總テ常市ノ上水ヲ供給シ居レリ又下水道ノ設備アリ、大正三年九月宇品町全部ノ井水二百五十二個ニ對シ水質試験ヲ行ヒタルニ右總數ノ内飲料ニ適スルモノ十四個適セサルモノ二百三十八個アリ其飲料ニ適スルモノハ何レモ元宇品町ニ屬セリ

七、當宇品町ハ廣島市内ニアル新開地ニシテ生糧品トシテ特記スヘキモノナキモ市内ニハ市營ノ屠獸場一ヶ所ヲ有シ屠牛數毎日三十頭内外ニシテ大正五年中ノ總數ハ一萬八千六百九十一頭其他同年中ニ於

ケル屠畜數ハ馬百頭、羊一頭、豚三百七十八頭ニ及ヒ生肉ハ善良ノモノヲ豊富ニ供給シ價格ハ大阪地方ニ比シ二割乃至三割廉價ナリ野菜ノ如キハ其豊富ナルコト本市特有ニシテ近隣町村ヨリ多量ニ生産シ神戸、大阪地方ヘモ移出スルコトアリ、清涼飲料水ハ宇品町ニハナキモ市内ニハ多數ノ製造業者アリテ市外各地ニ供給シツ、アリ

八、人力車四十輛(廣島市全般ニ涉リテハ約八百輛)船舟約百艘アリ

九、公園一、劇場、活動寫眞館ナシ、共同便所五ハ當宇品町内ニ存スルモ之亦廣島市トシテハ更ニ四ヶ所ニ公園アリ、公共團體並私設ノ事業トシテハ觀古館一、廣島高等師範學校圖書館一、其他市内ニ於テハ第五師團司令部内大本營跡及比治山御便殿等ノ特別遺跡アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流ル、ノ模様ナシ殊ニ宇品住民ノ如キハ最モ質素ノ風アリ

廣島縣佐伯郡玖波村

大竹警察分署(大正六年七月十七日調)

一、戸數五百七十五戸 人口二千九百九十七人

二、既往五年間著シキ傳染病及流行病ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
虎列刺	一				
赤痢					
腸管扶私					
チフス					
痘瘡					
發疹					
瘧疾					
猩紅熱					
實布					
埜利亞					
ベスト					
摘					
要					

年次	同三年	同四年	同五年
同			
同			
同			

本年傳染病患者ナシ

三、玖波郵便局、廣島區裁判所出張所、玖波驛、玖波村役場、玖波尋常小學校、巡查駐在所アリ、電話設備ナシ

四、湯屋一軒一時ニ約十名ヲ收容スルヲ得、毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等二戸收容概數四十三名、二等二戸十九名、三等四戸十七名、計七十九名、料理店一等二戸、二等一戸、理髮店五戸、妓樓公娼藝妓等ナク又私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院ナシ、避病院ナシ、隔離病舎一收容人員二十名、設備完全ナリ、埠頭ヨリ約五丁車馬ヲ通ス、開業醫二名患者收容ノ設備ナシ

六、水道ノ設備ナシ、飲料水ハ悉ク井水ヲ使用ス、船舶ニ對シ給水ノ設備ナシ、下水ハ不完全ニシテ道路ノ兩側ヲ流レ海ニ通ス、水質検査ヲナシタルコトナシ

七、屠獸場一ヲ有シ冬季夏季共ニ隔日ニ一頭ノ屠牛ヲ爲スヲ例トスルモ饑饉其他ノ要求アルトキハ一日三十頭ヲ屠殺スルコトヲ得其質良好ニシテ價格モ比較的廉價ナリ、野菜及果實等ノ供給ハ潤澤ニシテ近隣町村ニ於テ多量ニ生産、清涼飲料水製造者ナキモ近キ山口縣岩國町及廣島市ヨリ供給シ、ツアリ

- 八、乗合馬車ハ隣村ニアリテ一日二輛二回ノ往復アリ、人力車、舢舨ナシ
- 九、公園ナシ、劇場、活動寫眞、共同便所、公共團體ノ事業ナシ、住民ノ氣風ハ質素ニシテ物價比較的
他町村ヨリ廉價ナリ、人力車設備ナキモ隣村小方村ニ四輛アリテ毎日玖波驛ニ往復ス
- 廣島縣沼隈郡鞆町
一、戸數二千七百四十八戸 人口一萬五百二十二(現住者)
- 二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナク其他流行病地方病等ナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸管扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年	二	一	二								
同二年											
同三年											
同四年											
同五年	六	三	一								

- 本年五月痘瘡患者五名發生シタルモ全治シ現患ナシ其他傳染病ナシ
- 三、郵便電信局アリ、電話設備アリ、警察分署、水難救濟會救難所アリ
- 四、浴場五各戸一時ニ約二十名ヲ收容スルヲ得、毎日正午ヨリ開始スルヲ例トス、旅館一等一戸收容概

- 數三十名、二等一戸收容概數二十名、三等五戸收容概數七十名、其他十三戸收容概數三百名、計二十戸四百二十名、料理屋一等二戸、二等二戸、三等二戸、妓樓八軒、公娼二十人、檢査五日目毎ニ一回、藝妓八名(檢査ヲ行ハス)其他私娼ト認ムヘキモノナシ
 - 五、病院ナシ、隔離病舎一收容人員六、不完全ナルモ收容ニ支障ナシ、埠頭ヨリ約九丁車通セス、開業醫五患者ノ收容設備ヲ有スルモノ一收容人員五名
 - 六、水道ノ設備ナシ、飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水不完全ナリ、水質檢査ヲ行ヒタルコトナシ
 - 七、屠場ナシ、魚類ノ供給潤澤生鮮ニシテ比較的廉價ナリ、野菜多量ナラス
 - 八、乗合馬車ナシ、人力車八、舢舨四艘アリ
 - 九、公園一、劇場一、共同便所二、其他ナシ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流ルルモ物價ハ比較的廉價ナリ
- 廣島縣御調郡糸崎町 三原警察署(大正六年七月十四日調)
- 一、戸數千三百五十九戸 人口五千三百三十八人 内連摺部落ハ五百八十戸 二千五十人
 - 二、既往數年間著シキ傳染病流行ナク且流行病ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	虎列刺	赤痢	腸管扶私	チフス	痘瘡	發疹	猩紅熱	實布	ベスト	摘	要
大正元年	二										

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同
同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同

本年六月十日以降痘瘡患者五名發生シ傳染病院ニ收容シタルモ目下何レモ治癒シ現患者ナシ

三、郵便局アリ、電信事務ハ取扱フモ電話設備ナシ、巡查部長派出所、(水上警察事務兼)及駐在所ハ東安下庄及西安下庄ニ各一ヶ所アリ

四、浴場七軒アリ各戸一時ニ約二十名ヲ入浴セシムルヲ得、毎日午後四時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館

一等一戸收容五十名位、三等五戸收容概數百名、四等二戸收容概數二十名、計百七十名、料理屋二、等一戸、二等三戸、三等三戸アリ、妓樓(貸座敷ヲ指ス)ナシ、公娼ナシ、藝妓六名現在ス、料理店ノ内五戸ハ何レモ一名乃至三名ノ酌婦現在シ其數十二名ナリ、以上旅館、料理屋、藝妓、酌婦其他理髮店等公衆ニ接スル營業ニ對シテハ毎月十七日町内在任醫師ヲシテ輪番ニ健康診斷ヲ行ハシムルモ檢査ヲ行ハス、私娼ト認ムヘキモノナシ

五、私立病院ナシ、傳染病院一、收容人員六十名位設備稍々完全ニシテ收容ノ支障ナシ、傳染病院ハ安下庄町波止ヨリ約四丁ニシテ交通上不自由ナラサルモ同町ニハ人力車及馬車ノ營業者ナシ、開業醫五名ナルカ患者收容ノ設備ヲ有スルモノナシ而シテ別ニ内外科其他專門ヲ標榜セルモノナシ

六、上水道ノ設備ナク僅ニ簡易水道ヲ設ケ之ニ依ル戸數約六十九アリ、本年三月町内水質試驗ノ際現在飲用水ハ七四五個ニシテ内井六九〇打抜二六、寬九、泉水六、横穴六、川流四、池水二、水道(簡

易水道)ニナリ、船舶ニ對スル給水設置ナシ(目下大島汽船會社ハ自己所有汽船ニ對シ給水スルノ目的ニテ横穴ヲ穿チ六十尺深サ十二尺位ノ水溜ヲ築造シ土管ニヨリ海岸ニ流通スル設備ヲナシツ、アリ茲二十日位ニテ完成ノ見込ナリ一晝夜ノ出水景約十一、二噸ニシテ同會社ノ消費景約五噸ナリ、下水ハ不完全ニシテ不規律ニ街路ノ幾部分兩側ニ形式的溝ヲ穿テアルモ排水充分ナラス、本年三月水質試驗ノ結果(總數七四五ニ對シ)飲用ニ適スルモノ二五七、濾過シテ飲ムヘキモノ一二六、濾過煮沸シテ飲ムヘキモノ二、煮沸シテ飲ムヘキモノ二、飲用ニ適セサルモノ三五八而シテ本月七日帝國第二艦隊司令部醫務室(軍艦榛名)ニテ近ク使用セントスル大島汽船會社專用横穴水質試驗ノ檢査成績左ニ

種類	採取日	採取場所	清潔色	臭味	反應	クロール	石灰	アモニア	硫酸	亞硝酸	有機物	飲料適否	硝酸
横穴水	七月六日	安下庄町	無	無	中性	一リットル中二四ミリ	無	無	僅少	無	少量	適	無

七、屠場ナシ秋ノ末期ヨリ冬乃至翌春ノ中程迄久賀町屠場ニ於テ隔日位屠牛ス其頭數月二十頭位ナルモ安下庄町ニ移入スル生肉ハ、約其六分ノ一位ナリ其質稍々可ナリ價格比較的安價、野菜ノ供給ハ不足勝ニシテ夏季ハ尤モ甚タシク茄子、南瓜、瓜等ハ他縣及ヒ他郡ヨリ補充シ芋、人參、牛蒡等亦大部分他ノ補充ヲ受ク果實中柑橘類潤澤ナレト澁柿亦尠カラズ桃、梨、林檎等ハ大部分移入ス其移入先ハ他縣ニシテ比較的廉ニ柑橘ハ殊ニ然リトス、清涼飲料水中ラムネ及蜜柑水製造家一戸アリ品質可價普通ナリ以上ハ何レモ供給力充分ニシテ不時ノ用ニ應スルコトヲ得ヘキモノナリ

八、乗合馬車、人力車ナシ、艇船六艘アリ然レトモ不時ノ際ハ漁船又ハ傳馬船等ヲ襲用シ海運上支支ヲ

生スルカ如キコトナシ

九、公園、劇場、活動寫真常設館、共同便所等ノ設備ナシ、安下庄尋常高等小學校ニ附屬セル安下庄圖書館アリ其他公共團體ノ事業中見ル可キモノナシ、住民ハ一般ニ氣風質素ニシテ殊ニ他郷人ヲ愛睦スル風アリ排他主義等ナシ是レ即チ出稼者ノ多數ナルヨリ來リタル影響ト認ム、物價ハ比較的高價ナル方ナリ

山口縣玖珂郡麻里布村

岩國警察署(大正六年七月十一日調)

一、戸數百二十九戸 人口四百四十八人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行ナシ地方病トシテ特ニ認ムヘキモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
虎列刺	一				
赤痢	七				
腸管扶私	三				
チフス					
痘瘡					
發疹					
瘧疾					
猩紅熱					
實利亞					
ベスト					
捕					
要					

大正五年十月以後傳染病患者ノ發生ナシ

- 三、郵便局一アリ、電話設備アリ(警察電話)巡查駐在所經濟組合アリ
- 四、浴場三軒、各戸一時二十二名ヲ收容スルヲ得、毎日午後五時ヨリ開始スルヲ例トス、旅館三等四戸收容概數一戸平均十五名計六十名、料理屋二等二戸(内一戸ニハ藝妓一名抱(居レリ)各戸共收容概數一時二十五名、公娼ナシ、私娼ナシ)
- 五、病院避病院ナシ、開業醫師一名患者收容設備ナシ、麻里布村隔離病舎ハ室木ニアリ新港口ヨリ距離十五丁此間縣道ニテ車馬ノ便可ナリ
- 六、飲料水ハ井水及川水(谷川)ヲ使用シ水質良、水道ノ設ナシ尙ホ船舶ニ對シ給水設備ナシ、下水ノ設備ハ不完全ニシテ市街ノ裏側ヨリ海中ニ放流ス、最近水質検査セシコトナシ
- 七、屠獸場ナシ、清涼飲料水製造業者ナシ、野菜ハ近隣町村ニ生産シ稍々潤澤ナリ
- 八、乗合馬車ナシ、人力車四、舢舨九艘アリ
- 九、公園ナシ、劇場其他活動寫真常設館ナシ、共同便所ナシ、文庫又ハ圖書館ナシ、住民ノ氣風ハ中等以下ノモノ十中ノ八位ニシテ奢侈ニ流レサルモ諸物價ハ比較的高價ナリ

山口縣玖珂郡柳井町大字柳井津町

柳井警察署(大正六年七月二十四日調)

一、戸數二千二百五十戸 人口九千九百七十五人

二、既往數年間著シキ傳染病ノ流行セシハ昨大正五年中ノ虎列刺病ナリ地方病トシテ特ニ認ム可キモノナシ

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
虎列刺	1	1	1	1	1
赤痢	1	1	1	1	1
腸瘻扶私	3	6	8	4	7
チフス	1	1	1	1	1
痘瘡	1	1	1	1	1
發疹	1	1	1	1	1
猩紅熱	1	1	1	1	1
實布	1	1	1	1	1
ベスト	1	1	1	1	1
摘	1	1	1	1	1
要	1	1	1	1	1

本年五月腸瘻扶私二名發生シタルモ全治シ目下バラチフス一名、赤痢疑似一名傳染病院ニ收容爾來續發患者ナシ

三、郵便局アリ、電信電話設備アリ

四、浴場十三戸アリ各戸共ニ一時ニ約二十人ヲ收容ス而シテ毎日午後二時開始ス、旅館トシテ一等ノモ
ノ二戸アリ收容概數二十名、二等旅館八戸約八十五人ヲ收容ス、三等木賃宿ヲ加ヘ二十七戸アリテ概
數七十五名ヲ收容ス、一等料理屋三戸、二等七戸、三等三戸アリ、妓樓十五戸アリ、公娼七十五名、
毎週木曜日檢査、藝妓置屋五戸アリテ藝妓二十一人アリ保健組合ナルモノヲ設ケアリテ毎月一回醫師
ノ健康診斷ヲ受クルモ檢査ヲ行ハス、本年七月中ヨリ洗滌ヲ行フ事トナシ目下準備中其他私娼ト認ム
可キモノナシ

五、私立病院ナキモ開業ノ醫師十三名アリ内患者收容設備ヲ有スルモノ十一アリテ約七十名ヲ收容ス、
傳染病院一アリテ收容人員三十名設備完全ニシテ收容ニ支障ナシ海岸ヨリノ距離約十一町アリ車馬ヲ

通ス

- 六、水道ノ設備ナシ飲料水ハ悉ク井水ヲ使用シ船舶ニ對シ給水設備ヲ有セス下水ハ不完全ニシテ街路ノ
兩側ヲ通ルモノモアリ片側ヲ通スル個所モアリ町ノ中央ヲ流ル、河川ニ流放ス
- 七、町外ニ屠獸場ヲ有セス玖珂郡高森村及廣島市ヨリ購求ナスモ價格ハ比較的高價ナリ野菜ノ供給ハ潤
澤ニシテ近隣ノ村落ニ於テ多量ニ生産シ最モ充分ニ需用ニ滿ツ清涼飲料水製造所二ヶ所アリテ一ヶ月
密柑水九石二斗、ラムネ、サイダー計八十石ヲ製造販賣シ稍々盛況ナリ
- 八、乗合馬車六臺、人力車五十三臺アリ、舢舨ナキモ通船營業者十七人アリ
- 九、公園ナシ、劇場二、活動寫眞常設館ナシ、共同便所三アリ、大日本武徳會柳井分會文庫及ヒ柳井町
文庫アリ、住民ノ氣風ハ一般ニ奢侈ニ流レ物價ハ比較的高價ナリ

山口縣熊毛郡室積町

一、戶數千七百七十九戸 人口七千九百六十四人

室積警察分署(大正六年七月二十三日調)

最近五年間傳染病患者發生表

年次	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
虎列刺	1	1	1	1	1
赤痢	1	1	1	1	1
腸瘻扶私	1	1	1	1	1
チフス	1	1	1	1	1
痘瘡	1	1	1	1	1
發疹	1	1	1	1	1
猩紅熱	1	1	1	1	1
實布	1	1	1	1	1
ベスト	1	1	1	1	1
摘	1	1	1	1	1
要	1	1	1	1	1